

# 米に関するマンスリーレポート

(平成28年4月号)



棚田の風景



桜

## 【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

## 【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあります。

# 平成28年産飼料用米

## 配合飼料4団体から 生産者へのメッセージ

協同組合日本飼料工業会  
くみあい飼料工場会  
全国酪農業協同組合連合会  
日本養鶏農業協同組合連合会

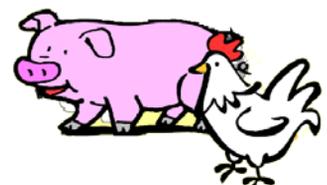
我が国の畜産業の発展に向け、安定した国産飼料原料を確保することは最大の課題であり、畜産生産者・飼料メーカーともに、国産飼料用米の生産拡大への期待が高まっている状況にあります。

こうしたなか、稲作生産者の皆様のご尽力により、国産飼料用米は26年産の18万トンから27年産の42万トンまで生産が拡大し、私ども4団体の飼料メーカーも飼料原料として使用させていただいているところです。

また、国産飼料用米が28年産でさらに生産拡大することを見越し、一部の飼料工場において設備投資を行うなどにより使用可能数量は4団体で120万トン程度まで受入可能となりました。

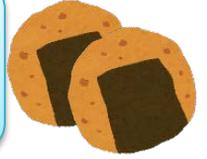
現在、稲作生産者の皆様は、28年産の作付品目を何にするかご検討中のところと思います。国産飼料用米は、私ども4団体の飼料メーカーにおいて十分に利用できる体制にあること、また、飼料に多く使用される輸入とうもろこしの代替として食料自給率を高める飼料原料として大きな期待があることをご理解いただき、安心して28年産でも国産飼料用米の生産に取り組んでいただくようお願いいたします。

私どもは、輸入とうもろこしの代替原料として国産飼料用米の活用と安定取引に取り組んでいくとともに、今後も稲作生産者と畜産生産者の経営発展がはかれるよう、国産飼料用米の使用を通して地域水田農業の活性化に貢献してまいります。



# 加工用米の生産拡大

## 加工用米の生産拡大に向けた 生産者へのメッセージ



全国加工用米需要者団体協議会  
全国味噌工業協同組合連合会  
全国餅工業協同組合  
全国穀類工業協同組合  
全国菓子工業組合連合会  
日本酒造組合中央会  
（一社）日本冷凍食品協会  
（一社）日本即席食品工業協会  
全国米菓工業組合

私どもは、日本人の主食であるお米を主原料に、古来から、わが国の気候風土を生かし、それぞれの土地の人々の知恵や技術などを駆使した伝統的な食品である米菓、和菓子、味噌、日本酒、穀粉などの製造・販売を行っています。

また、国民の主食としてのごはんの需要は、人口減少や高齢化、食の多様化が進展する中で、残念ながら、近年では平均すると毎年8万トン程度ずつ減少しています。

こうした中、ごはんとしてだけでなく、お米の加工品として、国民に豊かさを提供していき、また、海外にも目を向け、知恵と技術が凝縮された伝統的な食品・食文化を世界に発信していくため、輸出拡大についても、積極的に取り組んでいるところです。

国民の国産米志向がますます高まっている中で、国産米の安定調達に向け、計画的な生産が可能な加工用米に取り組んでまいりたいと考えています。

私どもは、お米とは切っても切れない関係にあり、稲作生産者の皆様方のご協力なくしては、日本食品・食文化の伝統継承はあり得ません。

稲作生産者の皆様方には、このような事情をお察しいただき、是非とも加工用米の生産拡大に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

今後とも稲作生産者の皆様方と共に発展していけることを願っています。

# 目次

I	米の需給・契約・販売	
1	主食用米等の需給見通し	
(1)	全国の平成27/28年及び平成28/29年の需要見通し（推計値）	1
(2)	平成27/28年及び平成28/29年の主食用米等の需給見通し	2
(3)	政府備蓄米の運営	3
(4)	民間流通における6月末在庫量の推移	3
(5)	平成28年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入入札の結果	6
2	契約・販売情報	
(1)	産地別契約・販売状況（速報）	7
(2)	産地別事前契約数量	11
II	米の在庫情報	
(1)	全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成21年7月末～平成28年2月末）（速報）	13
(2)	産地別民間在庫の状況（前年同月比）	15
(3)	平成26・27年産の産地別民間在庫の推移 （うるち米、平成27年7月末から平成28年2月末）（速報）	16
III	米の価格情報	
1	相対取引価格・数量	
(1)	相対取引価格（年産別）	24
(2)	価格帯別分析結果	25
(3)	相対取引価格・数量（平成27年産米、産地品種銘柄別、平成28年2月分）	26
(4)	スポット価格の状況	29
2	米の先物取引価格の推移	31
IV	主食用以外（輸出を含む）	
1	27年産米の作付状況	
(1)	27年産米の用途別作付面積（生産量）	32
(2)	主食用以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）	32
(3)	新規需要米の用途別認定状況	33
2	加工米及び新規需要米の取組状況概要 26米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）	33
3	飼料用米の需要量	34
4	コメ・コメ加工品の輸出量及び金額について コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について	35 36
V	支援事業等	
(1)	水田活用の直接支払交付金	37
(2)	米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）	39
(3)	主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業	41
VI	消費動向	
(1)	米の消費動向（米穀機構による調査）	43
(2)	購入数量の推移（家計調査）	44
(3)	小売店における精米販売	45
(4)	消費者物指数計の推移	46
(5)	小売物価統計の推移	47
(6)	小売価格の推移（POSデータ）	48
VII	MA米（一般・SBS）の動向	
(1)	MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	49
(2)	加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成27年度）	50
(3)	SBS輸入米の見積合わせ結果（平成27年度）	50
VIII	その他	
(1)	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成28年3月分）	51
(2)	水稻うるち玄米の検査結果	53
(3)	平成27年産水稻の作付面積及び収穫量	54

# I 米の需給・契約・販売

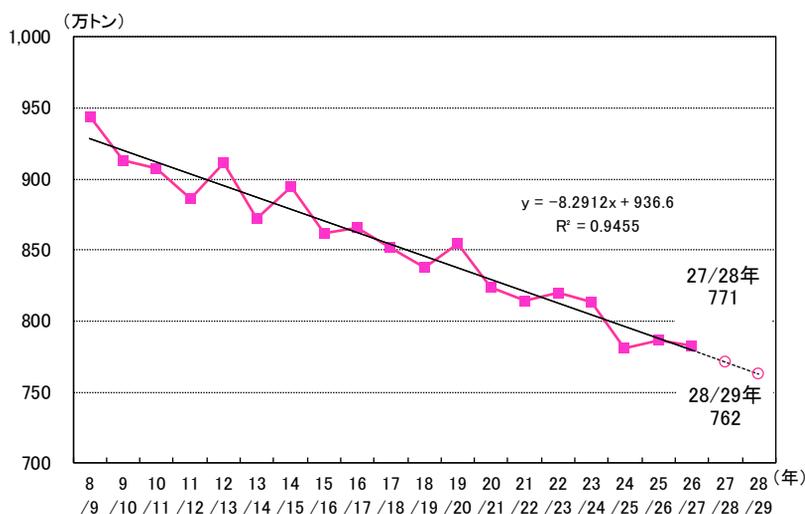
## 1 主食用米等の需給見通し（米の基本指針(平成27年11月30日)）

- 主食用米等の需要量は、近年のトレンドとして、毎年概ね8万トン減少。
- 平成27/28年及び平成28/29年の需要見通しについて、平成8/9年から平成26/27年までの需要実績を用いてトレンドで算出すると、平成27/28年は771万トン、平成28/29年は762万トンと見通す。

### (1) 全国の平成27/28年及び平成28/29年の需要見通し（推計値）

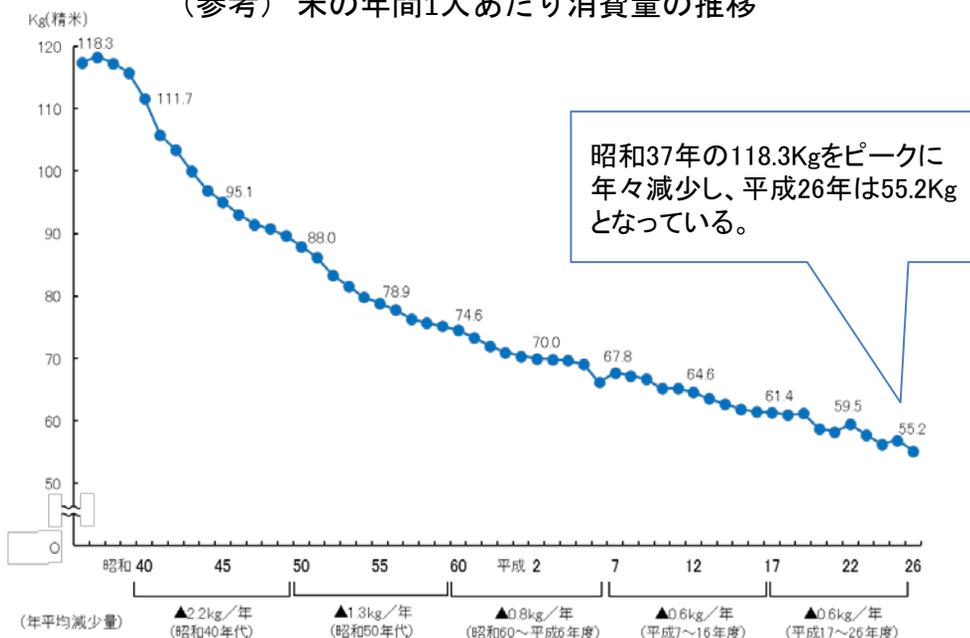
(単位:万トン)

年	x	需要量(y)
8/9	1	943.8
9/10	2	912.9
10/11	3	907.3
11/12	4	885.9
12/13	5	911.5
13/14	6	872.1
14/15	7	894.7
15/16	8	861.6
16/17	9	865.4
17/18	10	851.7
18/19	11	837.5
19/20	12	854.5
20/21	13	823.6
21/22	14	814.1
22/23	15	820.0
23/24	16	813.3
24/25	17	781.1
25/26	18	786.6
26/27	19	782.5
27/28	20	770.8 (推計値)
28/29	21	762.4 (推計値)



注：平成27/28年の標記は、平成27年7月から翌年6月までの1年間を表します。

### (参考) 米の年間1人あたり消費量の推移



資料：農林水産省「食料需給表」

注：1人1年当たり供給純食料の値である。

## (2) 平成27/28年及び平成28/29年の主食用米等の需給見通し

### 平成27/28年の主食用米等の需給見通し

「平成27/28年の主食用米等の需給見通し」については、以下のとおり。

- 平成27年6月末民間在庫量 (実績) 226万トン ①
- 平成27年産主食用米等生産量 (実績) 744万トン ②
- 平成27/28年主食用米等需要量 (見通し) 763万トン ※ ③
- 平成28年6月末民間在庫量 (見通し) 207万トン ④=①+②-③

※ 平成27/28年については、相対取引価格が上昇傾向にあることから、需要量に及ぼす影響を踏まえ、トレンドにより算出した771万トンから8万トン低い763万トンと見通す。

### 平成28/29年の主食用米等の需給見通し

「平成28/29年の主食用米等の需給見通し」については、表のとおりです。

			(単位: 万トン)	
平成28年6月末民間在庫量	A	207		207
平成28年産主食用米等生産量	B	743 ※1 (生産数量目標)		735 ※2 (自主的取組参考値)
平成28/29年主食用米等供給量計	C=A+B	950		942
平成28/29年主食用米等需要量	D	762		762
平成29年6月末民間在庫量	E=C-D	188		180

※1 **生産数量目標**：主食用米の需要に応じた生産を推進する観点から、近年のトレンドとして需要が毎年概ね8万トン減少していることを勘案し、平成27年産米の生産数量目標751万トンから8万トンを控除した743万トンと設定。

#### 【生産数量目標の推移】

(単位: 万トン)

年産	21	22	23	24	25	26	27	28
生産数量目標	815	813	795	793	791	765	751	743
前年差	0	▲2	▲18	▲2	▲2	▲26	▲14	▲8

※2 **自主的取組参考値**：仮にこれだけ生産すれば、平成29年6月末の民間在庫量が近年では低位の水準になるものとして、735万トンと設定。

#### 【民間在庫量(6月末)の推移】

(単位: 万トン)

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
民間在庫量	212	216	181	180	224	220	226

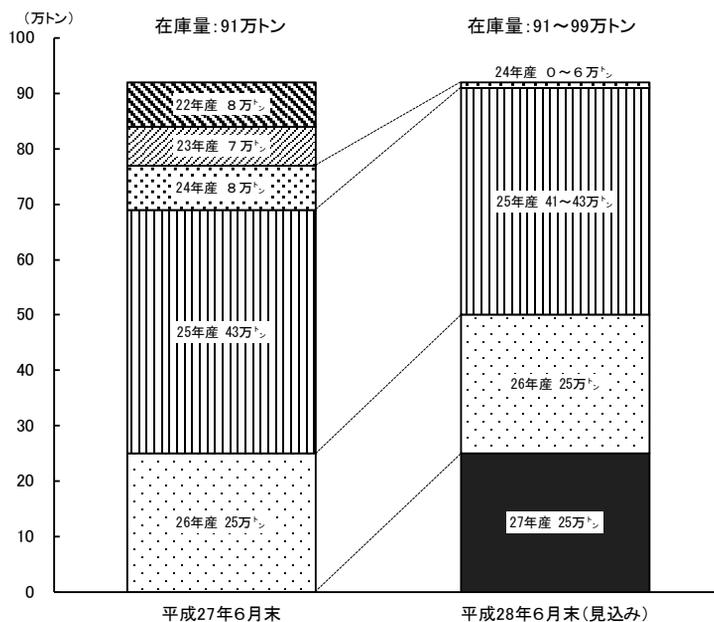
### (3) 政府備蓄米の運営

#### 平成27/28年の備蓄運営、政府備蓄米の在庫状況

##### 平成27/28年の備蓄運営

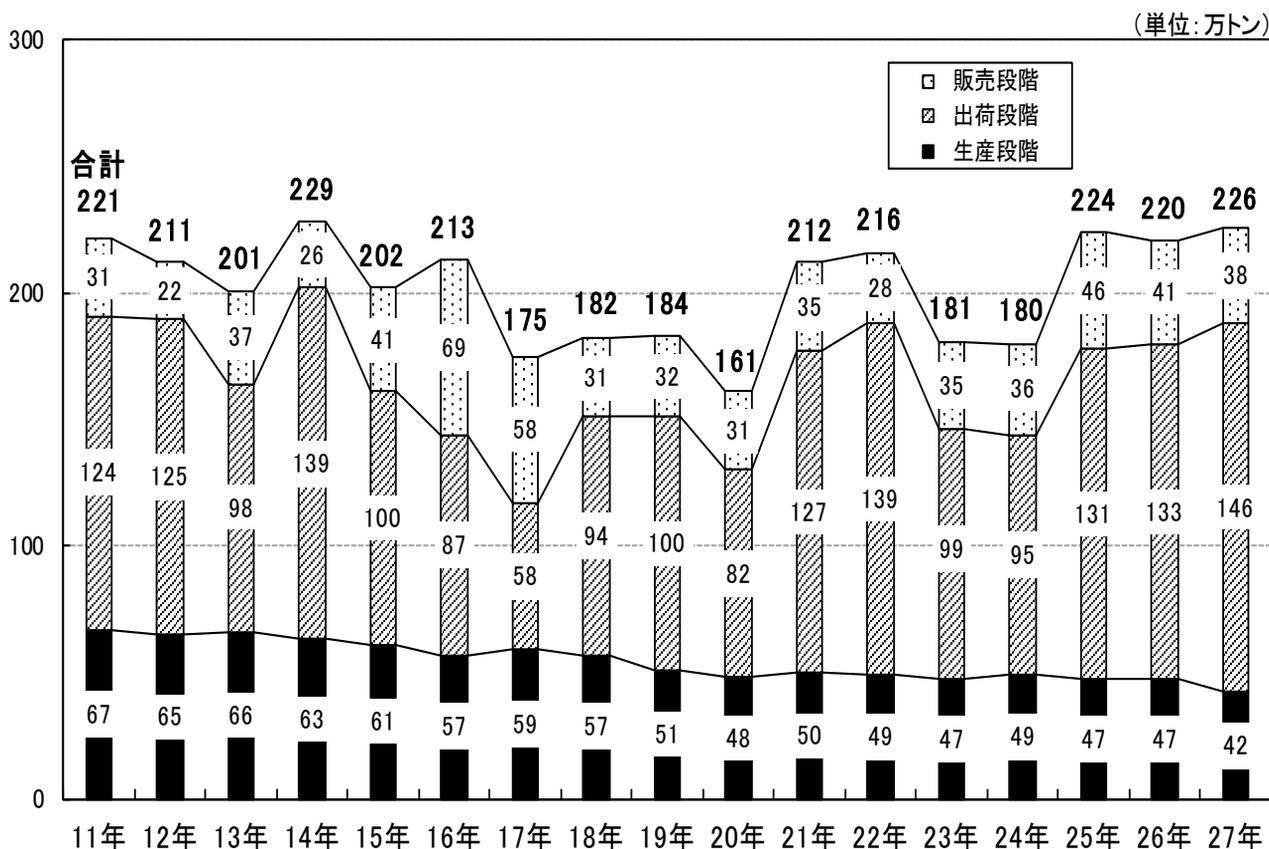
(単位: 万トン)

平成27年6月末備蓄量	A	91
平成27年産米買入契約数量	B	25
平成27/28年非主食用販売量	C	17~25
平成28年6月末備蓄量	D=A+B-C	91~99



注: 国産うるち玄米の数量である。

### (4) 民間流通における6月末在庫量の推移



注: 1 うるち玄米及びもち玄米の値である。

2 各年の民間在庫量において、

① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。

② 平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。

③ 平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。

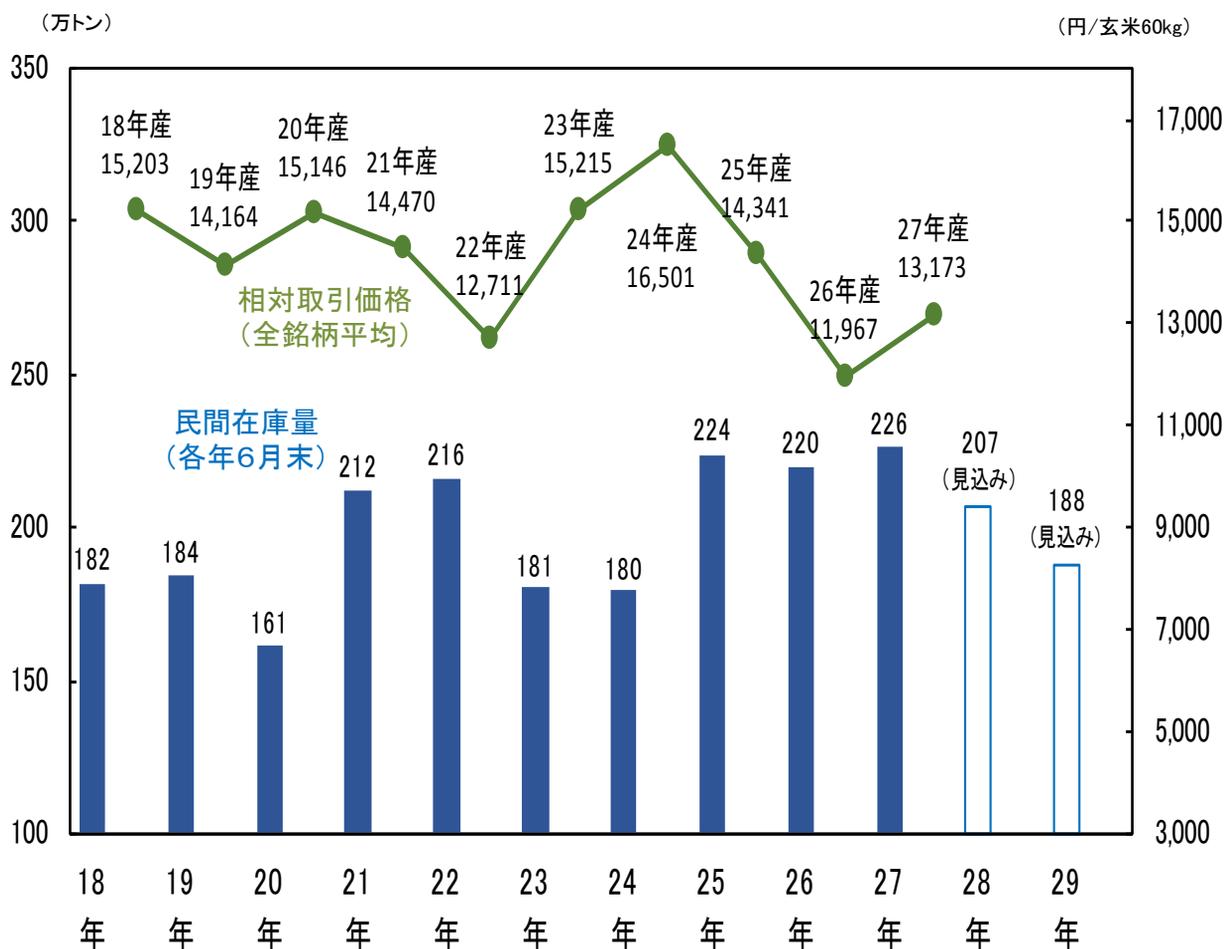
なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」(平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」)を基に算出した在庫量から精米在庫量(推計)を控除した玄米在庫量である。

3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。

4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## (参考) 相対取引価格と民間在庫量

- 相対取引価格は、その年々の需給状況により変動しているが、6月末における民間在庫量（生産、出荷、販売段階における在庫量）の水準もその要因の一つ。



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月（27年産は平成28年2月）までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

表 平成28年産米の都道府県別の生産数量目標等

都道府県	27年産生産数量目標 のシェア(注1)	28年産生産数量目標		28年産自主的取組参考値	
			面積換算値		面積換算値
全国計	100%	743万トン	140万ha	735万トン	139万ha
北海道	547,330 / 7,510,000	541,500トン	100,464ha	535,669トン	99,382ha
青森	242,460 / 7,510,000	239,877トン	41,075ha	237,294トン	40,633ha
岩手	271,210 / 7,510,000	268,321トン	50,342ha	265,432トン	49,800ha
宮城	348,620 / 7,510,000	344,906トン	65,077ha	341,193トン	64,376ha
秋田	417,540 / 7,510,000	413,092トン	72,093ha	408,644トン	71,317ha
山形	344,500 / 7,510,000	340,830トン	57,282ha	337,160トン	56,666ha
福島	339,550 / 7,510,000	335,933トン	61,980ha	332,316トン	61,313ha
茨城	337,370 / 7,510,000	333,776トン	63,698ha	330,182トン	63,012ha
栃木	298,690 / 7,510,000	295,508トン	54,724ha	292,326トン	54,134ha
群馬	75,670 / 7,510,000	74,864トン	15,155ha	74,058トン	14,991ha
埼玉	151,270 / 7,510,000	149,659トン	30,543ha	148,047トン	30,214ha
千葉	246,490 / 7,510,000	243,864トン	45,582ha	241,239トン	45,091ha
東京	770 / 7,510,000	762トン	185ha	754トン	183ha
神奈川	14,400 / 7,510,000	14,247トン	2,890ha	14,093トン	2,859ha
新潟	521,290 / 7,510,000	515,737トン	95,507ha	510,184トン	94,479ha
富山	185,650 / 7,510,000	183,672トン	34,203ha	181,695トン	33,835ha
石川	123,630 / 7,510,000	122,313トン	23,567ha	120,996トン	23,313ha
福井	125,460 / 7,510,000	124,124トン	23,916ha	122,787トン	23,658ha
山梨	27,430 / 7,510,000	27,138トン	4,961ha	26,846トン	4,908ha
長野	194,000 / 7,510,000	191,933トン	30,907ha	189,867トン	30,574ha
岐阜	111,270 / 7,510,000	110,085トン	22,558ha	108,899トン	22,315ha
静岡	82,920 / 7,510,000	82,037トン	15,746ha	81,153トン	15,576ha
愛知	134,970 / 7,510,000	133,532トン	26,338ha	132,094トン	26,054ha
三重	143,510 / 7,510,000	141,981トン	28,396ha	140,453トン	28,091ha
滋賀	160,450 / 7,510,000	158,741トン	30,645ha	157,032トン	30,315ha
京都	75,930 / 7,510,000	75,121トン	14,701ha	74,312トン	14,542ha
大阪	26,220 / 7,510,000	25,941トン	5,241ha	25,661トン	5,184ha
兵庫	180,440 / 7,510,000	178,518トン	35,420ha	176,596トン	35,039ha
奈良	41,690 / 7,510,000	41,246トン	8,040ha	40,802トン	7,954ha
和歌山	34,850 / 7,510,000	34,479トン	6,965ha	34,108トン	6,891ha
鳥取	66,110 / 7,510,000	65,406トン	12,725ha	64,702トン	12,588ha
島根	90,000 / 7,510,000	89,041トン	17,493ha	88,083トン	17,305ha
岡山	158,550 / 7,510,000	156,861トン	29,821ha	155,172トン	29,500ha
広島	129,970 / 7,510,000	128,585トン	24,586ha	127,201トン	24,321ha
山口	108,760 / 7,510,000	107,601トン	21,349ha	106,443トン	21,120ha
徳島	58,540 / 7,510,000	57,916トン	12,219ha	57,293トン	12,087ha
香川	70,240 / 7,510,000	69,492トン	13,926ha	68,744トン	13,776ha
愛媛	73,920 / 7,510,000	73,133トン	14,685ha	72,345トン	14,527ha
高知	50,070 / 7,510,000	49,537トン	10,769ha	49,003トン	10,653ha
福岡	182,470 / 7,510,000	180,526トン	36,178ha	178,582トン	35,788ha
佐賀	138,420 / 7,510,000	136,945トン	26,386ha	135,471トン	26,102ha
長崎	62,850 / 7,510,000	62,180トン	12,981ha	61,511トン	12,842ha
熊本	189,310 / 7,510,000	187,293トン	36,368ha	185,277トン	35,976ha
大分	117,690 / 7,510,000	116,436トン	23,148ha	115,183トン	22,899ha
宮崎	93,600 / 7,510,000	92,603トン	18,632ha	91,606トン	18,432ha
鹿児島	111,070 / 7,510,000	109,887トン	22,751ha	108,704トン	22,506ha
沖縄	2,860 / 7,510,000	2,830トン	916ha	2,799トン	906ha

注1：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（平成26年11月）において、平成27年産米の都道府県別のシェアを固定し、当該シェアで按分して平成28年産米の都道府県別の生産数量目標及び自主的取組参考値とする旨を公表済み。

注2：端数処理の結果、合計値は一致しない。

# (5) 平成28年産政府備蓄米の都道府県別優先枠及び買入札の結果

(単位:トン)

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入札の結果 落札数量				28年産 落札合計数量
		第1回 平成28年 1月29日実施	第2回 2月10日実施	第3回 2月23日実施	第4回 3月8日実施	
北海道	11,757	0	11,757	0		11,757
青森	17,177	17,177	0	0		17,177
岩手	7,200	7,200	0	0		7,200
宮城	9,900	368	9,532	0		9,900
秋田	21,343	21,343	0	0		21,343
山形	12,707	12,707	0	0		12,707
福島	20,000	19,459	541	0		20,000
茨城	990	229	761	0		990
栃木	7,470	2,817	3,954	0		6,771
群馬	10	10	0	0		10
埼玉	432	432	0	0		432
千葉	1,100	1,100	0	0		1,100
東京						
神奈川						
新潟	22,133	22,133	0	0		22,133
富山	9,822	9,822	0	0		9,822
石川	3,970	30	3,940	0		3,970
福井	1,985	160	1,825	0		1,985
山梨						
長野	655	655	0	0		655
岐阜	495	10	485	0		495
静岡	33	0	33	0		33
愛知	724	0	723	0		723
三重	542	542	0	0		542
滋賀	1,099	123	976	0		1,099
京都						
大阪						
兵庫	217	30	0	0		30
奈良						
和歌山						
鳥取	883	10	873	0		883
島根	71	71	0	0		71
岡山	2,133	2,133	0	0		2,133
広島	201	0	0	0		0
山口	227	0	0	0		0
徳島	555	10	488	57		555
香川						
愛媛	241	10	57	12		79
高知	15	0	0	15		15
福岡	219	10	209	0		219
佐賀	539	0	539	0		539
長崎	30	0	30	0		30
熊本	408	0	61	347		408
大分	220	220	0	0		220
宮崎						
鹿児島						
沖縄						
都道府県別 枠計	157,500	118,811	36,784	431		156,026
指定無し	67,500	67,500	0	0	1,474	68,974
合計	225,000	186,311	36,784	431	1,474	225,000

## 2 契約・販売情報

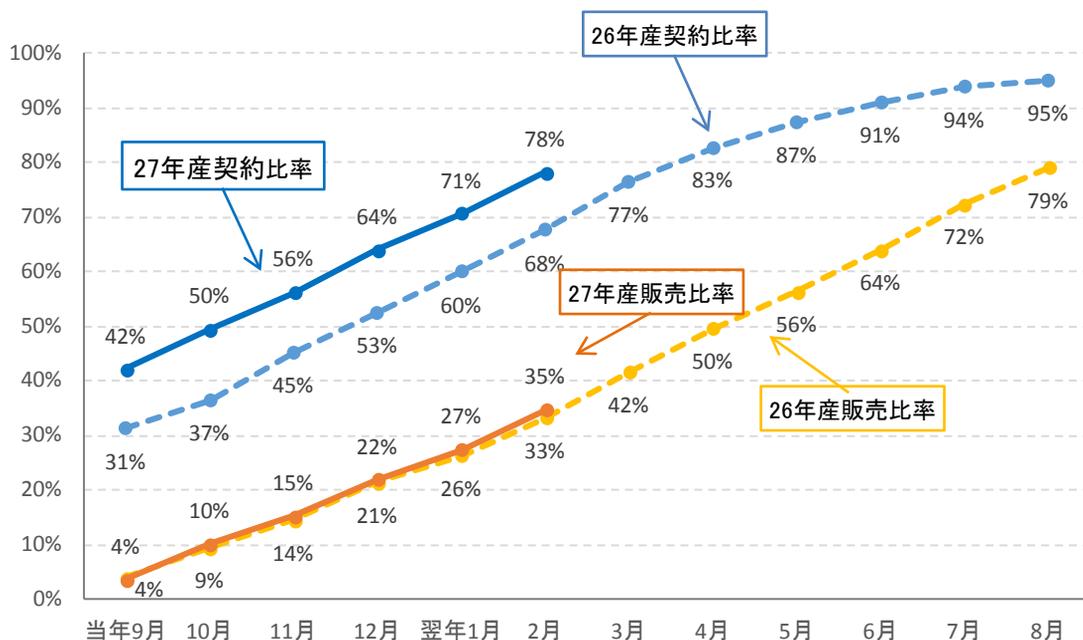
### (1) 産地別契約・販売状況(速報)

- 平成28年2月末現在の平成27年産米の集荷状況は、主食用米の生産量が前年産より44万トン減少したこと等から、前年産の同時期より▲35万トンの303万トン。
- 契約数量は、事前契約が前年より多く結ばれたこと及び平成27年産米の需給状況を反映し、前年産の同時期の契約比率に比べ+10%の237万トン。
- 販売数量は、前年産の同時期の販売比率に比べ+2%の106万トン。

#### 【参考】

生産数量	788万トン	(前年産比	: ▲44万トン)
集荷数量	303万トン	(前年同期比	: ▲35万トン)
契約数量	237万トン	( //	: + 4万トン)
販売数量	106万トン	( //	: ▲ 8万トン)

#### 契約・販売比率の推移(平成26・27年産)



注：平成26年産は、各月末時点の契約・販売数量を平成27年10月末の集荷量で除して算出した最終実績ベース。

平成27年産は、各月末時点の契約・販売数量を平成28年2月末の集荷量で除して算出した直近ベースのため、今後、集荷数量の増加に伴い契約・販売比率に変動が生じる可能性がある。

平成27年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成28年2月末現在）

集荷・契約・販売数量①（北海道から千葉まで）

	集荷数量 ① (玄米千トン)	契約数量 ② (玄米千トン)	契約比率 ②/①	販売数量 ③ (玄米千トン)	販売比率 ③/①	参考：前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
						集荷数量	契約数量	販売数量
<b>北海道</b>	<b>389.2</b>	<b>303.5</b>	<b>+ 78%</b>	<b>140.0</b>	<b>+ 36%</b>	+ 2%	▲ 7%	+ 4%
(ななつぼし)	178.3	143.3	+ 80%	62.6	+ 35%	+ 12%	▲ 6%	+ 0%
(きらら397)	59.2	46.8	+ 79%	16.4	+ 28%	▲ 36%	▲ 38%	▲ 31%
(ゆめぴりか)	81.5	62.2	+ 76%	28.6	+ 35%	+ 23%	+ 18%	+ 11%
<b>青森</b>	<b>147.8</b>	<b>133.9</b>	<b>+ 91%</b>	<b>37.8</b>	<b>+ 26%</b>	▲ 10%	+ 52%	▲ 4%
(まっしぐら)	94.2	87.1	+ 92%	19.5	+ 21%	▲ 12%	+ 40%	▲ 21%
(つがるロマン)	48.9	42.6	+ 87%	14.8	+ 30%	▲ 12%	+ 73%	+ 10%
<b>岩手</b>	<b>162.3</b>	<b>130.7</b>	<b>+ 81%</b>	<b>42.9</b>	<b>+ 26%</b>	+ 9%	+ 25%	+ 23%
(ひとめぼれ)	129.9	101.5	+ 78%	30.4	+ 23%	+ 11%	+ 29%	+ 15%
(あきたこまち)	21.6	20.3	+ 94%	6.5	+ 30%	+ 6%	+ 20%	+ 12%
(いわてっこ)	4.0	3.5	+ 89%	0.7	+ 18%	▲ 30%	▲ 30%	▲ 37%
<b>宮城</b>	<b>177.5</b>	<b>149.3</b>	<b>+ 84%</b>	<b>42.4</b>	<b>+ 24%</b>	▲ 17%	+ 1%	▲ 2%
(ひとめぼれ)	147.1	122.9	+ 84%	32.6	+ 22%	▲ 16%	▲ 2%	▲ 7%
(ササニシキ)	10.8	8.6	+ 80%	3.0	+ 28%	▲ 13%	+ 18%	▲ 2%
(つや姫)	10.8	9.9	+ 92%	4.2	+ 39%	...	...	...
<b>秋田</b>	<b>270.8</b>	<b>167.3</b>	<b>+ 62%</b>	<b>90.6</b>	<b>+ 33%</b>	▲ 16%	+ 3%	▲ 5%
(あきたこまち)	221.2	129.8	+ 59%	79.7	+ 36%	▲ 7%	▲ 5%	▲ 4%
(めんこいな)	10.6	5.7	+ 54%	1.8	+ 17%	▲ 27%	+ 122%	▲ 4%
(ひとめぼれ)	23.9	21.4	+ 89%	4.9	+ 20%	▲ 13%	+ 26%	▲ 12%
<b>山形</b>	<b>210.2</b>	<b>131.1</b>	<b>+ 62%</b>	<b>55.4</b>	<b>+ 26%</b>	▲ 10%	+ 8%	+ 5%
(はえぬぎ)	131.8	74.9	+ 57%	27.2	+ 21%	▲ 14%	+ 8%	+ 15%
(つや姫)	31.8	20.2	+ 64%	12.8	+ 40%	+ 7%	▲ 3%	▲ 10%
(ひとめぼれ)	20.7	13.6	+ 66%	6.6	+ 32%	▲ 10%	▲ 21%	+ 19%
<b>福島</b>	<b>137.6</b>	<b>105.4</b>	<b>+ 77%</b>	<b>37.7</b>	<b>+ 27%</b>	▲ 9%	▲ 6%	▲ 21%
(コシヒカリ中通り)	41.8	29.3	+ 70%	10.3	+ 25%	▲ 11%	▲ 30%	▲ 41%
(コシヒカリ会津)	41.9	34.3	+ 82%	12.3	+ 29%	+ 1%	+ 19%	+ 52%
(コシヒカリ浜通り)	5.3	4.3	+ 81%	0.9	+ 17%	▲ 32%	▲ 13%	▲ 40%
(ひとめぼれ)	29.7	25.3	+ 85%	7.3	+ 25%	▲ 13%	+ 6%	▲ 39%
(天のつぶ)	9.0	7.2	+ 81%	2.6	+ 29%	...	...	...
<b>茨城</b>	<b>78.6</b>	<b>79.4</b>	<b>+ 101%</b>	<b>28.7</b>	<b>+ 37%</b>	▲ 24%	▲ 16%	▲ 21%
(コシヒカリ)	62.1	63.1	+ 102%	20.3	+ 33%	▲ 21%	▲ 12%	▲ 16%
(あきたこまち)	10.4	11.0	+ 106%	6.3	+ 60%	▲ 23%	▲ 14%	▲ 21%
(ゆめひたち)	0.8	0.4	+ 51%	0.2	+ 24%	▲ 55%	▲ 73%	▲ 67%
<b>栃木</b>	<b>141.2</b>	<b>110.9</b>	<b>+ 79%</b>	<b>24.9</b>	<b>+ 18%</b>	▲ 23%	▲ 10%	▲ 45%
(コシヒカリ)	120.3	96.1	+ 80%	21.0	+ 17%	▲ 16%	▲ 6%	▲ 45%
(あさひの夢)	9.2	6.6	+ 72%	1.1	+ 12%	▲ 61%	▲ 43%	▲ 45%
(なすひかり)	6.7	4.1	+ 62%	1.4	+ 22%	▲ 35%	▲ 28%	▲ 58%
<b>群馬</b>	<b>18.6</b>	<b>12.9</b>	<b>+ 69%</b>	<b>1.8</b>	<b>+ 10%</b>	▲ 29%	▲ 42%	▲ 65%
(あさひの夢)	11.3	7.6	+ 67%	0.7	+ 6%	▲ 34%	▲ 50%	▲ 73%
(ゆめまつり)	4.6	4.0	+ 87%	0.7	+ 15%	...	...	...
(ゴロピカリ)	0.2	0.1	+ 80%	0.0	+ 13%	▲ 85%	▲ 63%	▲ 70%
<b>埼玉</b>	<b>21.5</b>	<b>18.4</b>	<b>+ 85%</b>	<b>6.2</b>	<b>+ 29%</b>	▲ 24%	+ 7%	+ 1%
(彩のかがやき)	10.3	8.2	+ 80%	3.6	+ 35%	▲ 28%	▲ 21%	▲ 7%
(コシヒカリ)	7.0	6.3	+ 90%	1.7	+ 24%	▲ 2%	+ 57%	+ 20%
(キヌヒカリ)	1.4	1.1	+ 82%	0.4	+ 25%	▲ 24%	+ 175%	+ 14%
<b>千葉</b>	<b>92.8</b>	<b>80.8</b>	<b>+ 87%</b>	<b>46.2</b>	<b>+ 50%</b>	▲ 22%	▲ 21%	▲ 16%
(コシヒカリ)	50.8	42.0	+ 83%	20.8	+ 41%	▲ 15%	▲ 23%	▲ 23%
(ふさこがね)	16.5	14.0	+ 85%	8.8	+ 53%	▲ 42%	▲ 39%	▲ 27%
(ふさおとめ)	20.9	20.6	+ 98%	13.6	+ 65%	▲ 14%	+ 12%	+ 28%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。  
 2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。  
 3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。  
 4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。  
 5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。  
 6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。  
 7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。  
 8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないもの。  
 9 「参考：前年同月比」の「…」は、26年産では調査の対象銘柄でなかったこと等から、27年産米との比較が出来ないもの。

集荷・契約・販売数量②(東京から鳥取まで)

	集荷数量 ① (玄米千ト)	契約数量 ② (玄米千ト)	契約比率 ②/①	販売数量 ③ (玄米千ト)	販売比率 ③/①	参考:前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
						集荷数量	契約数量	販売数量
東京	-	-	-	-	-	...	...	...
神奈川	2.7	1.4	+ 51%	1.4	+ 51%	+ 9%	+ 2%	+ 2%
山梨	5.9	1.8	+ 30%	1.8	+ 30%	+ 2%	▲ 7%	▲ 7%
(コシヒカリ)	5.2	1.6	+ 30%	1.6	+ 30%	+ 4%	▲ 2%	▲ 2%
(あさひの夢)	0.2	0.1	+ 29%	0.1	+ 29%	▲ 19%	+ 30%	+ 30%
長野	68.4	47.1	+ 69%	24.6	+ 36%	+ 0%	+ 9%	+ 11%
(コシヒカリ)	53.0	36.3	+ 68%	17.3	+ 33%	+ 1%	+ 10%	+ 15%
(あきたこまち)	8.7	5.2	+ 60%	3.5	+ 40%	▲ 7%	▲ 1%	+ 19%
静岡	9.6	5.6	+ 58%	5.6	+ 58%	▲ 5%	▲ 10%	▲ 10%
(コシヒカリ)	6.3	3.8	+ 60%	3.8	+ 60%	▲ 5%	▲ 21%	▲ 21%
(きぬむすめ)	1.1	0.7	+ 62%	0.7	+ 62%	...	...	...
(あいちのかおり)	1.1	0.4	+ 39%	0.4	+ 39%	▲ 7%	▲ 8%	▲ 8%
新潟	254.8	238.2	+ 93%	109.4	+ 43%	▲ 12%	+ 19%	▲ 9%
(コシヒカリ一般)	141.1	131.7	+ 93%	52.9	+ 38%	▲ 8%	+ 19%	▲ 12%
(コシヒカリ魚沼)	21.9	17.8	+ 81%	12.2	+ 56%	▲ 30%	▲ 8%	▲ 19%
(コシヒカリ岩船)	12.0	11.7	+ 97%	4.9	+ 40%	▲ 11%	+ 17%	▲ 6%
(コシヒカリ佐渡)	15.1	14.7	+ 97%	6.6	+ 44%	▲ 5%	+ 4%	▲ 6%
(こしいぶき)	42.5	41.7	+ 98%	19.6	+ 46%	▲ 24%	+ 33%	▲ 2%
富山	105.0	75.9	+ 72%	44.5	+ 42%	▲ 5%	+ 11%	▲ 2%
(コシヒカリ)	87.5	61.6	+ 70%	35.7	+ 41%	▲ 5%	+ 7%	▲ 8%
(てんたかく)	9.1	7.3	+ 79%	4.6	+ 51%	▲ 9%	+ 26%	+ 21%
石川	32.7	23.0	+ 70%	5.7	+ 18%	▲ 10%	▲ 14%	+ 3%
(コシヒカリ)	22.2	16.3	+ 73%	4.1	+ 18%	▲ 11%	▲ 8%	+ 1%
(ゆめみづほ)	7.7	5.6	+ 72%	0.8	+ 11%	▲ 7%	▲ 13%	+ 38%
福井	64.0	55.4	+ 87%	31.2	+ 49%	▲ 3%	+ 29%	▲ 7%
(コシヒカリ)	30.5	27.2	+ 89%	13.3	+ 44%	▲ 1%	+ 26%	▲ 21%
(ハナエチゼン)	19.1	15.4	+ 81%	11.8	+ 62%	▲ 10%	+ 2%	▲ 6%
岐阜	28.7	16.0	+ 56%	10.1	+ 35%	▲ 17%	▲ 23%	▲ 6%
(ハツシモ)	13.3	5.7	+ 43%	3.0	+ 22%	▲ 21%	▲ 31%	▲ 7%
(コシヒカリ)	7.9	4.8	+ 60%	3.5	+ 44%	▲ 2%	▲ 31%	▲ 1%
(あきたこまち)	2.4	2.2	+ 89%	1.8	+ 72%	▲ 17%	▲ 10%	▲ 19%
愛知	35.4	26.5	+ 75%	13.7	+ 39%	▲ 14%	+ 94%	+ 0%
(あいちのかおり)	17.5	12.2	+ 70%	5.2	+ 30%	▲ 16%	+ 209%	+ 32%
(コシヒカリ)	11.4	9.9	+ 87%	5.2	+ 46%	▲ 14%	+ 56%	▲ 18%
(大地の風)	1.5	1.2	+ 80%	0.9	+ 58%	▲ 15%	+ 45%	+ 5%
三重	31.0	23.9	+ 77%	12.1	+ 39%	▲ 3%	▲ 15%	+ 1%
(コシヒカリ一般)	17.0	13.5	+ 79%	6.5	+ 38%	+ 1%	▲ 15%	▲ 9%
(コシヒカリ伊賀)	7.0	4.2	+ 60%	2.5	+ 36%	▲ 1%	▲ 15%	+ 19%
(キヌヒカリ)	2.8	2.6	+ 91%	0.8	+ 29%	▲ 1%	▲ 10%	+ 77%
滋賀	61.2	62.8	+ 103%	27.9	+ 45%	▲ 2%	+ 16%	▲ 12%
(コシヒカリ)	22.8	23.3	+ 102%	11.2	+ 49%	▲ 1%	+ 19%	▲ 16%
(キヌヒカリ)	13.4	13.7	+ 102%	5.8	+ 44%	▲ 13%	▲ 4%	▲ 25%
(日本晴)	7.0	7.1	+ 101%	1.7	+ 25%	+ 0%	+ 34%	+ 14%
京都	13.8	13.8	+ 100%	6.0	+ 43%	▲ 7%	▲ 2%	▲ 9%
(コシヒカリ)	7.6	7.6	+ 100%	3.1	+ 41%	▲ 14%	▲ 13%	▲ 24%
(キヌヒカリ)	3.7	3.7	+ 100%	1.7	+ 45%	+ 8%	+ 18%	+ 20%
大阪	-	-	-	-	-	...	...	...
兵庫	41.8	31.1	+ 74%	21.6	+ 52%	+ 2%	+ 5%	▲ 3%
(コシヒカリ)	10.7	7.7	+ 72%	5.3	+ 50%	▲ 9%	▲ 9%	▲ 20%
(ヒノヒカリ)	4.9	2.3	+ 46%	1.5	+ 31%	▲ 2%	+ 2%	+ 3%
(キヌヒカリ)	4.4	2.8	+ 64%	2.2	+ 50%	▲ 6%	+ 1%	+ 14%
奈良	10.0	10.0	+ 100%	3.2	+ 31%	+ 3%	+ 3%	+ 5%
(ヒノヒカリ)	8.0	8.0	+ 100%	2.3	+ 28%	+ 7%	+ 7%	+ 1%
(コシヒカリ)	0.5	0.5	+ 100%	0.3	+ 49%	▲ 16%	▲ 16%	▲ 20%
和歌山	1.8	1.8	+ 100%	0.5	+ 27%	+ 24%	+ 24%	+ 8%
鳥取	21.9	13.8	+ 63%	8.1	+ 37%	▲ 18%	▲ 9%	▲ 21%
(ひとめぼれ)	7.8	5.8	+ 74%	3.0	+ 39%	▲ 24%	▲ 9%	▲ 28%
(コシヒカリ)	6.8	4.1	+ 61%	3.1	+ 47%	▲ 17%	▲ 24%	▲ 20%
(きぬむすめ)	6.8	3.5	+ 51%	1.6	+ 23%	...	...	...

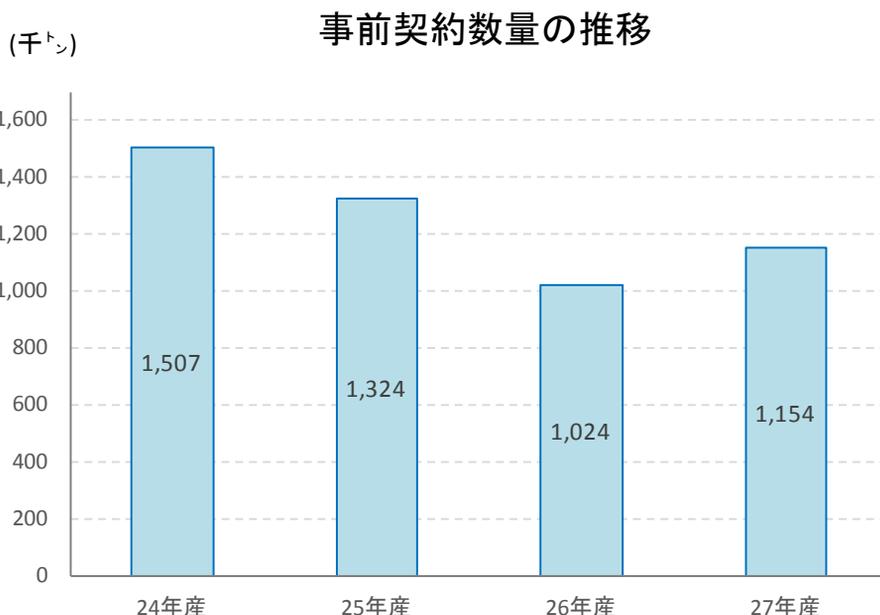
集荷・契約・販売数量③(島根から沖縄まで、全国計)

	集荷数量 ① (玄米千ト)	契約数量 ② (玄米千ト)	契約比率 ②/①	販売数量 ③ (玄米千ト)	販売比率 ③/①	参考: 前年同月比 (26年産の同時期との比較)		
						集荷数量	契約数量	販売数量
<b>島 根</b>	30.2	24.8	+ 82%	12.2	+ 40%	▲ 20%	+ 12%	▲ 2%
(コシヒカリ)	14.5	11.0	+ 76%	5.9	+ 41%	▲ 26%	▲ 15%	▲ 25%
(きぬむすめ)	10.4	8.7	+ 83%	2.9	+ 28%	▲ 16%	+ 69%	+ 39%
(ハナエチゼン)	1.4	1.3	+ 94%	1.0	+ 67%	▲ 22%	+ 19%	+ 5%
<b>岡 山</b>	18.8	16.1	+ 86%	7.3	+ 39%	▲ 37%	▲ 22%	▲ 9%
(アケボノ)	4.1	3.4	+ 82%	1.0	+ 24%	▲ 53%	▲ 30%	+ 1%
(あきたこまち)	1.9	2.0	+ 102%	1.0	+ 53%	▲ 39%	▲ 16%	+ 2%
(ヒノヒカリ)	2.2	1.8	+ 81%	0.6	+ 27%	▲ 42%	▲ 53%	▲ 39%
<b>広 島</b>	33.6	32.4	+ 96%	14.6	+ 44%	▲ 8%	+ 2%	▲ 6%
(コシヒカリ)	14.8	14.4	+ 97%	6.4	+ 43%	▲ 6%	+ 6%	▲ 6%
(あきろまん)	3.8	4.6	+ 121%	1.4	+ 36%	▲ 26%	+ 8%	▲ 7%
(ヒノヒカリ)	2.7	2.7	+ 101%	0.8	+ 30%	▲ 17%	+ 1%	▲ 21%
<b>山 口</b>	34.5	25.5	+ 74%	11.1	+ 32%	▲ 6%	+ 9%	+ 8%
(コシヒカリ)	10.5	8.2	+ 78%	3.9	+ 37%	▲ 5%	+ 6%	▲ 21%
(ひとめぼれ)	8.0	5.8	+ 73%	2.9	+ 36%	▲ 15%	+ 5%	+ 57%
(ヒノヒカリ)	7.2	5.5	+ 77%	2.2	+ 30%	▲ 7%	+ 20%	+ 25%
<b>徳 島</b>	5.3	2.9	+ 54%	2.3	+ 44%	▲ 49%	▲ 66%	▲ 62%
(コシヒカリ)	3.4	1.8	+ 55%	1.6	+ 48%	▲ 53%	▲ 71%	▲ 67%
(キヌヒカリ)	1.4	0.8	+ 53%	0.5	+ 32%	▲ 31%	▲ 34%	▲ 17%
<b>香 川</b>	24.5	12.5	+ 51%	7.9	+ 32%	▲ 10%	▲ 5%	▲ 12%
(ヒノヒカリ)	10.7	5.9	+ 56%	3.4	+ 32%	▲ 23%	▲ 11%	▲ 10%
(コシヒカリ)	7.5	3.9	+ 52%	2.9	+ 38%	▲ 5%	▲ 12%	▲ 16%
<b>愛 媛</b>	13.5	6.1	+ 45%	5.9	+ 44%	▲ 6%	▲ 52%	▲ 5%
(コシヒカリ)	4.5	2.4	+ 53%	2.4	+ 52%	+ 0%	▲ 46%	▲ 12%
(ヒノヒカリ)	2.5	1.2	+ 49%	1.2	+ 48%	▲ 23%	▲ 59%	+ 21%
(あきたこまち)	1.9	0.8	+ 43%	0.8	+ 41%	▲ 12%	▲ 62%	▲ 24%
<b>高 知</b>	6.0	3.5	+ 59%	3.3	+ 56%	▲ 21%	▲ 38%	▲ 34%
(コシヒカリ)	4.7	2.5	+ 52%	2.3	+ 49%	▲ 22%	▲ 46%	▲ 41%
(ヒノヒカリ)	0.1	0.0	+ 41%	0.0	+ 40%	+ 13%	▲ 27%	▲ 29%
<b>福 岡</b>	54.2	36.3	+ 67%	17.2	+ 32%	▲ 2%	▲ 4%	+ 1%
(夢つくし)	16.3	12.7	+ 78%	6.8	+ 42%	▲ 5%	+ 28%	+ 4%
(ヒノヒカリ)	18.0	9.1	+ 51%	3.8	+ 21%	▲ 6%	▲ 36%	▲ 3%
(元気つくし)	16.4	12.3	+ 75%	5.5	+ 34%	...	...	...
<b>佐 賀</b>	44.4	31.0	+ 70%	12.3	+ 28%	+ 6%	+ 6%	▲ 9%
(夢しずく)	12.6	9.1	+ 72%	4.1	+ 33%	▲ 4%	+ 8%	+ 2%
(さがびより)	13.7	8.5	+ 62%	2.9	+ 21%	+ 15%	▲ 3%	▲ 24%
(ヒノヒカリ)	11.3	8.3	+ 73%	2.3	+ 20%	+ 13%	+ 16%	▲ 1%
<b>長 崎</b>	11.1	3.9	+ 35%	3.7	+ 33%	+ 11%	+ 3%	+ 1%
(にこまる)	4.1	1.4	+ 33%	1.3	+ 31%	+ 8%	▲ 12%	▲ 15%
(ヒノヒカリ)	3.7	1.1	+ 29%	1.0	+ 27%	+ 18%	+ 21%	+ 24%
(コシヒカリ)	1.7	0.8	+ 49%	0.8	+ 48%	+ 0%	▲ 9%	▲ 9%
<b>熊 本</b>	37.2	30.8	+ 83%	15.8	+ 43%	▲ 17%	▲ 3%	▲ 4%
(ヒノヒカリ)	16.5	11.7	+ 71%	5.9	+ 36%	▲ 14%	▲ 5%	+ 2%
(森のくまさん)	7.2	5.5	+ 76%	2.1	+ 29%	+ 0%	▲ 14%	▲ 30%
(コシヒカリ)	6.0	7.7	+ 129%	4.4	+ 73%	▲ 21%	+ 10%	▲ 7%
<b>大 分</b>	15.0	9.8	+ 65%	4.2	+ 28%	▲ 13%	▲ 25%	▲ 10%
(ヒノヒカリ)	11.0	6.5	+ 59%	2.3	+ 21%	▲ 11%	▲ 26%	+ 0%
(ひとめぼれ)	0.8	0.7	+ 84%	0.3	+ 35%	▲ 26%	▲ 34%	▲ 35%
<b>宮 崎</b>	15.1	15.1	+ 100%	11.4	+ 75%	▲ 27%	▲ 27%	▲ 27%
(コシヒカリ)	8.8	8.8	+ 100%	8.8	+ 100%	▲ 34%	▲ 34%	▲ 31%
(ヒノヒカリ)	5.3	5.3	+ 100%	2.1	+ 40%	▲ 9%	▲ 9%	▲ 6%
<b>鹿児島</b>	14.5	14.5	+ 100%	7.9	+ 54%	▲ 24%	▲ 24%	▲ 33%
(ヒノヒカリ)	6.8	6.8	+ 100%	2.0	+ 30%	▲ 15%	▲ 15%	▲ 37%
(コシヒカリ)	3.2	3.2	+ 100%	3.2	+ 100%	▲ 34%	▲ 34%	▲ 34%
(あきほなみ)	2.7	2.7	+ 100%	1.0	+ 37%	▲ 13%	▲ 13%	+ 16%
<b>沖 縄</b>	1.6	1.6	+ 100%	1.5	+ 96%	▲ 7%	▲ 7%	▲ 9%
<b>全 国 ①</b>	3,035	2,374	+ 78%	1,056	+ 35%	▲ 10%	+ 2%	▲ 7%
参 考	前年同月(26年産)②	3,383	2,333	+ 69%	1,140	+ 34%		
	前年同月差(①-②)	▲ 348	41	+ 9ポイント	▲ 84	+ 1ポイント		

## (2) 産地別事前契約数量

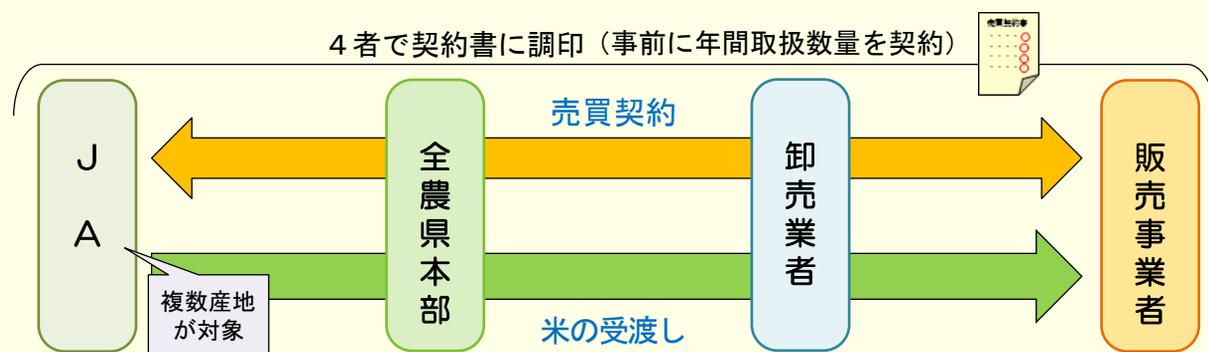
- 事前契約数量は、2年続けて減少していたが、平成27年産米では、前年産に比べ13万トン多い115万トンという水準。集荷数量に対する事前契約数量の比率は38%。

〔 事前契約数量とは、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたもの。 〕



### 大手量販店におけるPBブランドの安定的な原料確保に向けた取組事例

- 年間7万トンのプライベートブランド商品（PB商品）の米を販売するA販売事業者においては、必要な銘柄を安定的に確保するため、16道府県のJA、全農県本部及び卸売業者等と播種前の2～3月頃に4者契約を結び、年間取扱数量を事前に契約。
- なお、取引価格については、出来秋の全農相対取引価格を基準に決定。



産地別事前契約数量 (累計、うるち米、平成28年2月末現在) (速報)

単位: 玄米千トン

	平成24年産			平成25年産			平成26年産			平成27年産(平成28年2月末現在)		
	集荷数量 ①	うち事前契約分 ②	事前契約比率 ②/①	集荷数量 ③	うち事前契約分 ④	事前契約比率 ④/③	集荷数量 ⑤	うち事前契約分 ⑥	事前契約比率 ⑥/⑤	集荷数量 ⑦	うち事前契約分 ⑧	事前契約比率 ⑧/⑦
北海道	407.4	226.1	56%	389.9	167.0	43%	398.0	161.0	40%	389.2	147.4	38%
青森	123.6	43.3	35%	165.1	46.9	28%	169.6	26.1	15%	147.8	45.8	31%
岩手	163.3	85.3	52%	148.8	82.3	55%	150.2	47.7	32%	162.3	70.9	44%
宮城	203.8	105.6	52%	196.2	141.7	72%	216.3	111.3	51%	177.5	108.6	61%
秋田	297.7	148.7	50%	319.5	102.6	32%	303.9	68.5	23%	270.8	80.1	30%
山形	235.0	75.5	32%	259.0	56.9	22%	242.7	52.8	22%	210.2	34.8	17%
福島	157.4	50.4	32%	173.9	27.9	16%	153.3	20.0	13%	137.6	35.1	25%
茨城	98.0	60.1	61%	107.8	39.0	36%	109.8	46.0	42%	78.6	53.2	68%
栃木	164.7	59.0	36%	191.8	43.1	22%	184.0	36.8	20%	141.2	61.2	43%
群馬	27.9	-	-	26.9	-	-	26.3	-	-	18.6	-	-
埼玉	19.7	6.7	34%	23.1	5.9	25%	28.5	3.2	11%	21.5	5.8	27%
千葉	104.9	33.6	32%	111.0	20.0	18%	123.8	31.3	25%	92.8	37.6	40%
東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2.2	-	-	2.1	-	-	2.4	-	-	2.7	-	-
山梨	6.1	-	-	6.3	-	-	5.9	-	-	5.9	-	-
長野	74.8	39.1	52%	77.8	42.0	54%	69.9	22.0	31%	68.4	21.5	31%
静岡	9.6	-	-	7.9	-	-	10.2	-	-	9.6	-	-
新潟	345.0	190.8	55%	306.0	144.4	47%	292.4	122.3	42%	254.8	144.6	57%
富山	103.0	48.3	47%	111.6	53.8	48%	111.6	36.2	32%	105.0	29.5	28%
石川	38.2	31.1	82%	38.2	29.4	77%	36.6	14.2	39%	32.7	11.9	36%
福井	71.7	41.9	58%	72.0	56.3	78%	65.2	7.8	12%	64.0	7.3	11%
岐阜	38.9	18.8	48%	39.6	17.0	43%	34.4	15.3	44%	28.7	9.9	34%
愛知	40.3	7.9	20%	43.5	7.8	18%	41.1	-	-	35.4	10.6	30%
三重	31.0	19.1	62%	39.0	20.0	51%	31.3	15.9	51%	31.0	17.4	56%
滋賀	73.2	41.7	57%	77.2	40.6	53%	67.2	25.7	38%	61.2	38.6	63%
京都	17.7	10.6	60%	17.3	8.0	46%	15.5	7.2	47%	13.8	6.1	44%
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	42.4	-	-	42.6	-	-	41.1	-	-	41.8	-	-
奈良	8.4	-	-	8.6	-	-	9.7	-	-	10.0	-	-
和歌山	1.4	1.4	98%	1.3	1.3	98%	1.4	1.4	99%	1.8	1.5	86%
鳥取	29.3	7.5	25%	29.0	10.6	37%	27.0	6.9	25%	21.9	5.7	26%
島根	48.2	19.9	41%	39.3	21.8	56%	43.5	11.3	26%	30.2	18.8	62%
岡山	31.5	-	-	31.9	-	-	30.1	10.0	33%	18.8	-	-
広島	45.3	-	-	41.6	1.9	5%	36.9	1.9	5%	33.6	24.5	73%
山口	47.1	22.1	47%	42.9	22.9	53%	37.0	20.5	55%	34.5	22.9	66%
徳島	15.0	-	-	14.3	-	-	10.3	-	-	5.3	-	-
香川	32.1	19.3	60%	31.7	19.1	60%	28.3	13.2	46%	24.5	12.2	50%
愛媛	15.6	-	-	15.2	-	-	14.6	-	-	13.5	-	-
高知	9.2	-	-	8.8	-	-	7.6	-	-	6.0	1.2	20%
福岡	54.1	23.7	44%	54.2	25.7	47%	56.9	25.0	44%	54.2	27.8	51%
佐賀	42.4	20.4	48%	40.8	23.8	58%	42.7	23.8	56%	44.4	24.3	55%
長崎	11.2	-	-	11.6	-	-	10.9	-	-	11.1	-	-
熊本	49.1	25.7	52%	49.3	23.9	48%	45.1	22.9	51%	37.2	23.3	63%
大分	18.0	1.1	6%	18.6	1.6	9%	17.9	1.0	5%	15.0	1.1	7%
宮崎	23.0	19.8	86%	23.0	18.7	81%	20.8	14.7	71%	15.1	13.2	87%
鹿児島	19.8	-	-	21.9	-	-	19.0	-	-	14.5	-	-
沖縄	1.7	-	-	1.7	-	-	1.7	-	-	1.6	-	-
全 国	3,400	1,507	44%	3,520	1,324	38%	3,436	1,024	30%	3,035	1,154	38%

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3 24年産は、25年産の報告対象業者から26年2月末時点で聞き取った数量、25年産及び26年産は生産年の翌年10月末時点、27年産は28年2月末時点の数量である。

4 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5 事前契約分とは、3の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

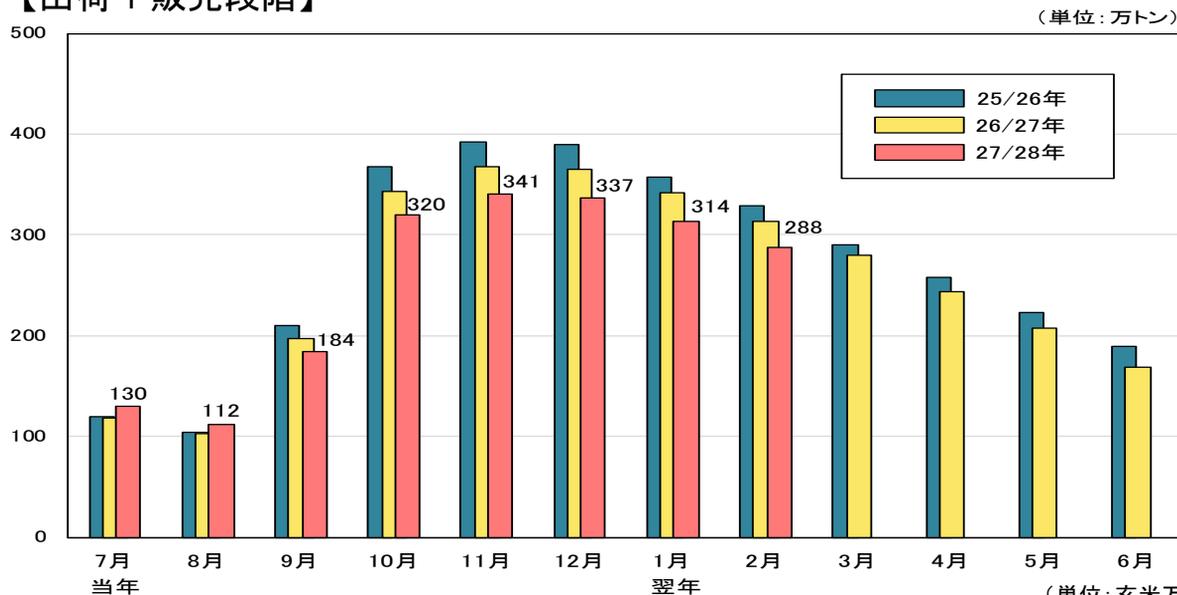
7 「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

## Ⅱ 米の在庫情報

### (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成21年7月末～平成28年2月末）（速報）

- 平成27/28年の平成28年2月末の出荷及び販売段階における在庫は、前年同月より▲26万トンの288万トンと減少。
  - 平成21/22年以降では、平成23/24年に次ぐ低い水準。
- ※ 都道府県別在庫量は、16頁以降参照。

#### 【出荷＋販売段階】



(単位：玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	113	93	164	349	380	372	347	320	267	228	191	154
対前年差	+47	+44	+30	+24	+29	+26	+25	+26	+10	+7	▲4	+6
21年産米	2	14	107	297	333	335	316	293	246	213	180	146
1年古米(20年産)	106	76	52	42	35	27	22	18	12	8	6	4
22/23年	118	102	212	351	372	363	339	304	238	200	156	118
対前年差	+5	+9	+48	+1	▲8	▲8	▲8	▲15	▲29	▲29	▲34	▲36
22年産米	0	16	145	290	314	315	297	268	208	174	135	99
1年古米(21年産)	112	81	60	52	49	41	35	29	24	20	16	13
23/24年	83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
1年古米(22年産)	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
1年古米(23年産)	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	320	341	337	314	288				
対前年差	+11	+9	▲13	▲24	▲27	▲29	▲29	▲26				
27年産米	0	13	112	260	289	296	282	262				
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19				

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
 4 期間については、27/28年であれば、27年7月～28年6月である。  
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。  
 6 26年産米は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。  
 7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

## 【出荷段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11
21年産米	1	11	96	275	309	308	291	271	225	191	162	130
1年古米(20年産)	90	61	36	21	15	11	9	7	5	3	2	2
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	±0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
22年産米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
1年古米(21年産)	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23年産米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1年古米(22年産)	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24年産米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1年古米(23年産)	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	291	273	249				
対前年差	+12	+11	▲8	▲16	▲20	▲21	▲22	▲21				
27年産米	0	11	100	236	262	267	254	234				
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14				

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位: 玄米万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22
対前年差	▲3	+4	+8	+10	+9	+1	±0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5
21年産米	0	3	11	22	24	27	24	23	22	22	18	16
1年古米(20年産)	17	14	16	21	20	15	13	11	7	5	4	3
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	-▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
22年産米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
1年古米(21年産)	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	±0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39				
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5				
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28				
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5				

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## (2) 産地別民間在庫の状況 (前年同月比)

平成27年産(平成28年2月末)

【出荷+販売段階】

(単位:千トン)

産地	27年産 (H28.2末)	26年産 (H27.2末)	前年 同月比
北海道	305.5	305.3	100%
青森	133.9	143.5	93%
岩手	129.9	127.4	102%
宮城	160.3	194.6	82%
秋田	210.1	232.8	90%
山形	187.1	210.3	89%
福島	164.2	150.9	109%
茨城	98.7	117.9	84%
栃木	138.3	161.6	86%
群馬	23.9	31.7	75%
埼玉	21.7	31.0	70%
千葉	85.1	112.1	76%
東京	0.0	0.0	
神奈川	1.8	1.6	112%
新潟	185.7	206.8	90%
富山	73.8	72.5	102%
石川	49.3	47.5	104%
福井	41.3	39.7	104%
山梨	4.5	4.4	103%
長野	54.9	57.5	95%
岐阜	21.1	26.6	79%
静岡	10.1	10.2	99%
愛知	28.6	33.2	86%
三重	29.5	34.4	86%

産地	27年産 (H28.2末)	26年産 (H27.2末)	前年 同月比
滋賀	48.4	46.2	105%
京都	16.7	10.5	158%
大阪	1.9	1.6	119%
兵庫	29.8	26.8	111%
奈良	7.6	7.3	104%
和歌山	1.8	1.5	123%
鳥取	26.0	28.1	92%
島根	20.0	29.8	67%
岡山	37.9	41.7	91%
広島	26.1	26.4	99%
山口	26.1	29.7	88%
徳島	6.0	9.0	67%
香川	17.1	19.3	89%
愛媛	10.9	10.9	100%
高知	6.2	5.1	122%
福岡	53.5	52.8	101%
佐賀	34.8	30.7	114%
長崎	9.0	10.1	89%
熊本	38.8	41.0	95%
大分	16.9	18.1	94%
宮崎	10.8	9.9	108%
鹿児島	17.1	17.3	99%
沖縄	0.1	0.1	181%
全国計	2,624	2,828	93%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

注2：出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上)である。

注3：販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

(3) 平成26・27年産の産地別民間在庫の推移  
(うるち米、平成27年7月末から平成28年2月末) (速報)

産地別民間在庫の推移① (北海道から秋田)

(単位: 玄米千トン)

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷+販売段階	124.8	91.8	119.3	326.2	373.9	384.0	358.1	319.7				
	27年産米	0.0	0.0	58.7	276.9	335.2	355.2	338.0	305.5				
	1年古米(26年産)	122.8	90.4	59.6	48.5	38.0	28.2	19.8	13.9				
	出荷段階	96.2	67.8	94.9	269.0	316.1	323.5	305.1	272.3				
	27年産米	0.0	0.0	51.1	239.2	293.6	307.9	293.7	263.9				
	1年古米(26年産)	95.6	67.5	43.5	29.6	22.4	15.5	11.4	8.4				
	販売段階	28.6	24.0	24.5	57.3	57.8	60.4	53.0	47.4				
	27年産米	0.0	0.0	7.5	37.7	41.6	47.3	44.3	41.6				
	1年古米(26年産)	27.2	22.9	16.1	18.9	15.6	12.7	8.4	5.5				
青森	出荷+販売段階	71.6	54.7	64.5	143.9	151.1	161.7	150.7	142.7				
	27年産米	0.0	0.0	25.4	116.1	129.5	145.6	138.3	133.9				
	1年古米(26年産)	69.5	53.1	38.0	26.8	20.9	15.5	11.9	8.5				
	出荷段階	56.6	43.4	55.4	129.5	137.4	147.8	139.1	131.6				
	27年産米	0.0	0.0	24.9	110.1	122.3	136.7	130.3	125.2				
	1年古米(26年産)	56.6	43.3	30.5	19.4	15.1	11.1	8.8	6.4				
	販売段階	14.9	11.3	9.1	14.4	13.7	13.9	11.6	11.2				
	27年産米	0.0	0.0	0.5	6.0	7.2	8.9	8.0	8.7				
	1年古米(26年産)	12.9	9.8	7.5	7.4	5.8	4.4	3.1	2.1				
岩手	出荷+販売段階	57.6	44.3	42.7	133.2	149.2	164.2	154.2	140.4				
	27年産米	0.0	0.0	9.9	105.7	126.2	146.6	140.5	129.9				
	1年古米(26年産)	56.2	43.4	32.4	27.0	22.7	17.3	13.4	10.3				
	出荷段階	51.7	39.6	39.0	122.8	137.6	152.4	143.9	131.0				
	27年産米	0.0	0.0	9.4	99.7	118.4	138.4	132.8	122.6				
	1年古米(26年産)	51.4	39.4	29.4	22.9	19.1	13.9	10.9	8.3				
	販売段階	5.9	4.7	3.7	10.4	11.6	11.7	10.3	9.5				
	27年産米	0.0	0.0	0.4	6.1	7.7	8.1	7.7	7.3				
	1年古米(26年産)	4.8	4.0	3.0	4.1	3.6	3.4	2.5	2.0				
宮城	出荷+販売段階	113.9	95.8	123.2	214.5	208.1	193.6	183.2	176.1				
	27年産米	0.0	0.0	46.3	146.8	151.6	156.1	159.1	160.3				
	1年古米(26年産)	110.2	93.4	75.3	66.3	55.3	36.5	23.1	14.8				
	出荷段階	99.9	85.2	113.9	198.1	191.1	175.5	168.8	162.0				
	27年産米	0.0	0.0	44.8	140.3	143.9	145.7	149.8	150.2				
	1年古米(26年産)	99.4	84.8	68.8	57.6	47.0	29.8	19.0	11.8				
	販売段階	14.0	10.7	9.3	16.4	17.1	18.1	14.4	14.1				
	27年産米	0.0	0.0	1.5	6.5	7.7	10.4	9.3	10.1				
	1年古米(26年産)	10.8	8.6	6.5	8.8	8.3	6.7	4.1	3.1				
秋田	出荷+販売段階	129.8	99.6	144.7	284.1	281.4	271.7	251.3	238.1				
	27年産米	0.0	0.0	70.1	221.6	228.5	228.1	216.4	210.1				
	1年古米(26年産)	104.8	81.1	60.5	51.9	45.1	37.4	30.9	24.7				
	出荷段階	110.7	83.8	130.3	264.1	260.9	250.0	233.7	220.9				
	27年産米	0.0	0.0	68.3	212.4	217.6	215.1	204.4	197.8				
	1年古米(26年産)	93.6	72.1	53.7	46.0	39.7	32.7	27.6	21.6				
	販売段階	19.2	15.7	14.5	19.9	20.5	21.7	17.6	17.2				
	27年産米	0.0	0.0	1.8	9.2	10.8	13.0	12.0	12.3				
	1年古米(26年産)	11.2	9.0	6.9	5.9	5.5	4.6	3.3	3.2				

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上)である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

4 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、26年産米と1年古米(26年産)の合計と一致しない場合がある。

(お知らせ)

平成26年2月から平成27年6月までの産地別民間在庫の推移については、農林水産省ホームページに掲載しています。

(ホーム > 組織・政策 > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等)  
【<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>】

## 産地別民間在庫の推移②（山形から埼玉）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷＋販売段階	109.3	87.7	102.4	228.2	244.2	242.9	230.4	210.0				
	27年産米	0.0	0.0	32.7	172.7	197.4	206.6	203.0	187.1				
	1年古米(26年産)	104.9	84.2	66.6	53.0	44.7	34.6	25.9	21.7				
	出荷段階	96.9	77.9	93.1	212.9	227.3	224.9	215.4	194.7				
	27年産米	0.0	0.0	31.8	164.9	188.4	196.1	193.5	176.5				
	1年古米(26年産)	95.8	77.1	60.6	47.6	38.7	28.7	21.9	18.2				
	販売段階	12.4	9.9	9.3	15.3	16.9	18.0	15.0	15.3				
	27年産米	0.0	0.0	0.8	7.7	9.0	10.5	9.5	10.7				
	1年古米(26年産)	9.1	7.1	6.0	5.4	6.0	5.9	4.0	3.5				
福島	出荷＋販売段階	60.5	42.3	42.9	175.2	193.7	191.2	177.6	174.5				
	27年産米	0.0	0.1	13.8	145.9	169.4	172.2	162.6	164.2				
	1年古米(26年産)	58.4	40.7	28.1	28.6	23.8	18.6	14.7	10.0				
	出荷段階	47.9	32.2	33.7	148.2	164.1	161.8	150.6	135.1				
	27年産米	0.0	0.0	12.6	134.2	152.5	152.9	143.6	130.2				
	1年古米(26年産)	47.1	31.6	21.0	13.9	11.5	8.8	7.0	4.8				
	販売段階	12.6	10.1	9.2	27.1	29.7	29.4	27.0	39.4				
	27年産米	0.0	0.0	1.3	11.7	16.9	19.3	19.0	34.0				
	1年古米(26年産)	11.2	9.1	7.2	14.8	12.3	9.8	7.7	5.2				
茨城	出荷＋販売段階	51.4	53.4	128.0	137.3	135.7	126.2	120.1	108.4				
	27年産米	0.0	16.2	99.1	120.2	118.3	112.0	107.9	98.7				
	1年古米(26年産)	46.0	32.6	24.8	13.6	14.9	12.7	11.3	9.1				
	出荷段階	33.3	33.9	91.6	99.4	96.1	90.2	85.0	78.6				
	27年産米	0.0	9.9	75.1	92.4	90.2	84.7	79.6	73.3				
	1年古米(26年産)	33.2	23.9	16.4	6.9	5.8	5.6	5.4	5.3				
	販売段階	18.1	19.5	36.4	37.9	39.7	36.0	35.1	29.8				
	27年産米	0.0	6.4	23.9	27.8	28.1	27.4	28.4	25.4				
	1年古米(26年産)	12.8	8.7	8.4	6.7	9.1	7.2	5.9	3.8				
栃木	出荷＋販売段階	94.4	77.6	135.8	168.7	175.4	178.5	165.9	155.3				
	27年産米	0.0	0.0	76.2	123.4	141.5	152.0	144.9	138.3				
	1年古米(26年産)	87.6	72.7	56.8	43.8	32.9	25.9	20.5	16.8				
	出荷段階	81.3	67.3	123.0	150.6	157.4	160.1	150.7	139.4				
	27年産米	0.0	0.0	70.8	112.7	129.7	138.6	133.1	124.9				
	1年古米(26年産)	78.4	65.2	51.3	37.4	27.5	21.3	17.5	14.5				
	販売段階	13.1	10.2	12.8	18.1	18.0	18.5	15.1	15.9				
	27年産米	0.0	0.0	5.4	10.7	11.8	13.4	11.8	13.4				
	1年古米(26年産)	9.3	7.5	5.6	6.3	5.4	4.6	3.0	2.3				
群馬	出荷＋販売段階	12.4	10.1	8.4	10.5	15.1	26.7	27.0	26.0				
	27年産米	0.0	0.0	0.5	4.7	10.3	23.4	24.3	23.9				
	1年古米(26年産)	11.0	9.0	7.0	5.1	4.3	3.0	2.4	1.9				
	出荷段階	9.8	6.6	5.4	7.6	12.1	23.9	24.5	23.9				
	27年産米	0.0	0.0	0.4	4.4	9.5	22.1	23.1	22.8				
	1年古米(26年産)	9.0	6.6	5.0	3.2	2.7	1.8	1.4	1.1				
	販売段階	2.6	3.5	3.0	2.9	3.0	2.8	2.5	2.1				
	27年産米	0.0	0.0	0.1	0.3	0.9	1.3	1.3	1.1				
	1年古米(26年産)	2.0	2.4	2.0	1.9	1.6	1.2	1.0	0.8				
埼玉	出荷＋販売段階	15.6	12.6	16.3	28.4	33.9	32.6	29.4	26.5				
	27年産米	0.0	0.4	7.0	19.4	26.3	25.8	23.6	21.7				
	1年古米(26年産)	15.5	12.2	9.3	9.0	7.5	6.7	5.7	4.9				
	出荷段階	14.1	11.1	14.4	23.4	29.3	27.6	25.3	22.8				
	27年産米	0.0	0.1	6.2	16.8	23.5	22.9	21.2	19.2				
	1年古米(26年産)	14.1	11.0	8.2	6.6	5.7	4.7	4.1	3.6				
	販売段階	1.5	1.5	1.9	5.0	4.6	4.9	4.1	3.7				
	27年産米	0.0	0.3	0.8	2.6	2.8	2.9	2.5	2.5				
	1年古米(26年産)	1.4	1.2	1.1	2.4	1.8	2.0	1.6	1.3				

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

産地別民間在庫の推移③（千葉から静岡）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	36.3	89.8	150.9	143.9	136.1	122.2	113.5	95.9				
	27年産米	0.0	61.9	127.9	124.9	116.6	108.0	99.4	85.1				
	1年古米(26年産)	35.1	27.5	22.6	18.6	19.2	14.0	13.9	10.7				
	出荷段階	30.6	82.1	139.7	132.1	121.5	107.7	97.5	82.7				
	27年産米	0.0	58.5	119.8	116.7	109.0	99.1	90.8	77.6				
	1年古米(26年産)	30.2	23.4	19.8	15.3	12.4	8.5	6.7	5.1				
	販売段階	5.7	7.8	11.1	11.8	14.7	14.5	16.0	13.2				
	27年産米	0.0	3.4	8.1	8.2	7.6	8.8	8.6	7.5				
	1年古米(26年産)	4.8	4.0	2.7	3.3	6.9	5.4	7.2	5.6				
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	出荷段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
神奈川	出荷+販売段階	0.4	0.3	0.4	2.9	2.8	2.6	2.3	1.9				
	27年産米	0.0	0.0	0.3	2.9	2.8	2.6	2.2	1.8				
	1年古米(26年産)	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	出荷段階	0.4	0.3	0.4	2.9	2.8	2.6	2.2	1.8				
	27年産米	0.0	0.0	0.3	2.9	2.8	2.6	2.2	1.8				
	1年古米(26年産)	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
山梨	出荷+販売段階	2.2	1.7	1.6	4.7	5.1	5.4	5.0	4.6				
	27年産米	0.0	0.0	0.4	3.7	4.3	5.3	4.9	4.5				
	1年古米(26年産)	2.1	1.6	1.2	0.9	0.8	0.1	0.1	0.1				
	出荷段階	1.9	1.5	1.4	4.3	4.6	4.9	4.5	4.2				
	27年産米	0.0	0.0	0.4	3.5	3.8	4.8	4.5	4.2				
	1年古米(26年産)	1.9	1.4	1.0	0.8	0.7	0.1	0.0	0.0				
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5				
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.5	0.4	0.4				
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1				
長野	出荷+販売段階	21.5	14.9	23.1	58.3	73.7	69.5	62.3	55.9				
	27年産米	0.0	0.0	14.2	52.2	69.1	66.7	60.7	54.9				
	1年古米(26年産)	21.0	14.5	8.6	5.9	4.5	2.8	1.5	1.1				
	出荷段階	18.0	11.8	20.4	53.5	67.7	62.5	55.8	48.8				
	27年産米	0.0	0.0	13.6	49.1	64.4	60.7	55.5	48.7				
	1年古米(26年産)	17.8	11.7	6.8	4.3	3.2	1.8	0.2	0.1				
	販売段階	3.6	3.1	2.7	4.8	6.0	7.0	6.5	7.1				
	27年産米	0.0	0.0	0.7	3.1	4.7	6.0	5.2	6.2				
	1年古米(26年産)	3.2	2.8	1.8	1.6	1.2	1.0	1.3	1.0				
静岡	出荷+販売段階	2.7	4.0	13.2	17.8	17.4	15.9	12.1	10.4				
	27年産米	0.0	2.3	12.2	17.2	17.0	15.5	11.8	10.1				
	1年古米(26年産)	2.5	1.6	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1				
	出荷段階	1.9	2.6	9.1	13.0	13.1	12.2	9.1	7.8				
	27年産米	0.0	1.4	8.5	12.9	13.1	12.1	9.1	7.8				
	1年古米(26年産)	1.9	1.2	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.8	1.4	4.1	4.8	4.3	3.7	3.1	2.6				
	27年産米	0.0	0.9	3.7	4.3	3.9	3.4	2.8	2.3				
	1年古米(26年産)	0.6	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1				

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移④（新潟から愛知）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	67.5	43.7	188.0	288.0	277.0	247.5	223.7	198.5				
	27年産米	0.0	0.4	161.7	265.1	255.2	229.1	207.9	185.7				
	1年古米(26年産)	66.0	42.1	25.5	22.2	21.1	17.8	15.3	12.6				
	出荷段階	57.8	34.7	175.0	266.1	251.1	218.5	198.0	175.7				
	27年産米	0.0	0.3	153.2	249.4	236.7	206.5	187.7	167.4				
	1年古米(26年産)	56.8	33.5	21.2	16.3	14.0	11.6	10.0	8.2				
	販売段階	9.7	9.0	13.0	21.9	25.9	29.1	25.7	22.8				
	27年産米	0.0	0.0	8.4	15.7	18.5	22.6	20.2	18.3				
	1年古米(26年産)	9.2	8.6	4.2	5.9	7.1	6.2	5.3	4.3				
富山	出荷＋販売段階	22.6	16.4	72.2	104.6	102.3	94.0	85.2	75.7				
	27年産米	0.0	0.6	61.2	96.1	96.9	89.8	82.7	73.8				
	1年古米(26年産)	21.8	15.1	10.6	8.2	5.1	3.9	2.3	1.6				
	出荷段階	18.6	12.2	66.8	96.9	95.2	86.8	79.3	70.5				
	27年産米	0.0	0.4	58.1	91.6	92.4	84.5	78.0	69.5				
	1年古米(26年産)	18.5	11.8	8.7	5.3	2.8	2.3	1.2	1.0				
	販売段階	4.1	4.2	5.4	7.7	7.1	7.2	5.9	5.1				
	27年産米	0.0	0.3	3.1	4.5	4.5	5.3	4.6	4.2				
	1年古米(26年産)	3.2	3.3	1.9	2.9	2.4	1.6	1.1	0.7				
石川	出荷＋販売段階	19.9	18.1	61.7	71.9	69.4	62.7	57.8	51.1				
	27年産米	0.0	3.6	50.4	63.2	62.3	58.8	55.3	49.3				
	1年古米(26年産)	19.3	14.1	11.0	8.5	6.9	3.6	2.4	1.7				
	出荷段階	17.0	15.2	44.6	52.3	51.0	47.5	45.0	39.7				
	27年産米	0.0	2.5	34.8	45.2	45.7	44.7	43.0	38.4				
	1年古米(26年産)	16.8	12.5	9.7	7.0	5.2	2.7	1.9	1.3				
	販売段階	2.8	2.9	17.1	19.6	18.4	15.2	12.9	11.4				
	27年産米	0.0	1.1	15.6	18.0	16.5	14.2	12.3	10.9				
	1年古米(26年産)	2.5	1.6	1.3	1.5	1.7	0.9	0.5	0.4				
福井	出荷＋販売段階	15.4	14.1	42.1	63.4	59.4	56.1	51.4	44.2				
	27年産米	0.0	2.3	33.0	56.1	53.1	51.4	47.7	41.3				
	1年古米(26年産)	14.5	11.1	8.7	7.0	6.2	4.5	3.6	2.9				
	出荷段階	11.6	10.4	36.9	56.0	52.8	50.2	46.4	39.7				
	27年産米	0.0	1.4	29.4	50.4	47.9	46.5	43.4	37.2				
	1年古米(26年産)	11.6	8.9	7.5	5.6	5.0	3.6	3.1	2.5				
	販売段階	3.7	3.7	5.3	7.4	6.6	5.9	5.0	4.5				
	27年産米	0.0	0.9	3.6	5.7	5.2	4.9	4.4	4.1				
	1年古米(26年産)	2.9	2.2	1.2	1.4	1.2	0.9	0.6	0.4				
岐阜	出荷＋販売段階	16.4	15.4	15.3	20.4	24.0	30.0	27.4	24.6				
	27年産米	0.0	1.8	4.4	11.8	16.8	24.5	23.0	21.1				
	1年古米(26年産)	14.6	12.1	9.5	7.4	6.1	4.7	3.7	2.8				
	出荷段階	13.4	12.7	12.3	16.5	20.5	25.6	23.4	21.3				
	27年産米	0.0	1.6	3.8	10.0	15.1	21.6	20.3	18.9				
	1年古米(26年産)	13.0	10.9	8.5	6.5	5.5	4.1	3.2	2.4				
	販売段階	3.0	2.7	3.0	3.9	3.4	4.4	4.0	3.4				
	27年産米	0.0	0.2	0.6	1.8	1.8	2.9	2.8	2.3				
	1年古米(26年産)	1.6	1.2	1.0	0.9	0.7	0.6	0.5	0.4				
愛知	出荷＋販売段階	15.5	13.4	16.4	26.7	34.2	36.3	34.1	31.5				
	27年産米	0.0	1.9	8.4	20.8	29.1	32.1	30.5	28.6				
	1年古米(26年産)	14.3	10.8	7.6	5.5	4.8	4.0	3.4	2.9				
	出荷段階	13.3	11.3	14.3	23.6	30.0	31.8	30.1	27.8				
	27年産米	0.0	1.5	7.3	18.5	25.9	28.3	27.1	25.2				
	1年古米(26年産)	13.0	9.6	6.8	5.0	4.0	3.3	2.8	2.5				
	販売段階	2.2	2.1	2.1	3.1	4.2	4.5	4.0	3.7				
	27年産米	0.0	0.4	1.1	2.3	3.2	3.8	3.4	3.3				
	1年古米(26年産)	1.3	1.2	0.7	0.6	0.8	0.6	0.6	0.4				

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑤（三重から奈良）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	7.7	14.7	38.3	44.0	41.4	37.9	34.2	30.5				
	27年産米	0.0	9.3	34.1	40.1	38.8	36.3	33.0	29.5				
	1年古米(26年産)	7.6	5.3	4.1	3.7	2.5	1.5	1.1	0.9				
	出荷段階	6.2	12.2	35.3	40.5	38.1	34.8	31.3	27.6				
	27年産米	0.0	7.9	31.8	37.9	36.3	33.6	30.4	27.0				
	1年古米(26年産)	6.2	4.4	3.5	2.6	1.8	1.2	0.9	0.7				
	販売段階	1.5	2.5	3.1	3.5	3.3	3.1	3.0	2.8				
	27年産米	0.0	1.4	2.3	2.2	2.5	2.6	2.6	2.6				
	1年古米(26年産)	1.4	0.9	0.6	1.1	0.7	0.4	0.3	0.2				
滋賀	出荷＋販売段階	18.5	15.2	53.9	59.6	57.7	57.5	53.3	50.6				
	27年産米	0.0	2.1	45.0	54.1	52.3	53.6	50.2	48.4				
	1年古米(26年産)	16.8	12.0	8.1	4.9	4.8	3.7	3.0	2.1				
	出荷段階	15.3	12.1	50.4	55.0	52.9	52.3	48.9	46.8				
	27年産米	0.0	1.9	43.5	51.3	49.1	49.6	46.8	45.4				
	1年古米(26年産)	14.7	9.7	6.6	3.5	3.6	2.7	2.1	1.4				
	販売段階	3.2	3.2	3.5	4.6	4.8	5.2	4.4	3.8				
	27年産米	0.0	0.1	1.5	2.8	3.2	4.0	3.4	3.0				
	1年古米(26年産)	2.2	2.2	1.4	1.3	1.2	1.0	0.9	0.7				
京都	出荷＋販売段階	4.6	3.5	8.0	12.1	13.1	12.6	18.1	17.2				
	27年産米	0.0	0.0	5.6	10.7	11.9	11.7	17.4	16.7				
	1年古米(26年産)	4.6	3.4	2.3	1.4	1.1	0.9	0.7	0.5				
	出荷段階	4.0	3.0	7.2	9.8	10.9	10.8	16.5	15.7				
	27年産米	0.0	0.0	5.2	9.7	10.9	10.7	16.4	15.7				
	1年古米(26年産)	4.0	3.0	2.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0				
	販売段階	0.7	0.5	0.8	2.4	2.1	1.9	1.6	1.5				
	27年産米	0.0	0.0	0.4	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0				
	1年古米(26年産)	0.6	0.4	0.3	1.3	1.0	0.8	0.6	0.5				
大阪	出荷＋販売段階	0.6	0.5	0.6	1.0	1.2	2.4	2.4	2.0				
	27年産米	0.0	0.0	0.3	0.8	1.1	2.3	2.3	1.9				
	1年古米(26年産)	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1				
	出荷段階	0.5	0.3	0.4	0.9	1.1	2.2	2.0	1.7				
	27年産米	0.0	0.0	0.3	0.7	1.1	2.1	1.9	1.6				
	1年古米(26年産)	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				
	販売段階	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3				
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.3				
	1年古米(26年産)	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0				
兵庫	出荷＋販売段階	10.6	7.6	20.6	33.3	44.4	42.6	35.9	30.5				
	27年産米	0.0	0.0	15.7	31.9	43.2	41.6	35.0	29.8				
	1年古米(26年産)	10.4	7.4	4.7	1.3	1.1	0.9	0.7	0.6				
	出荷段階	8.9	5.9	18.4	29.8	40.1	38.3	31.7	26.7				
	27年産米	0.0	0.0	14.8	29.8	40.1	38.3	31.7	26.7				
	1年古米(26年産)	8.9	5.9	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	1.7	1.7	2.3	3.5	4.2	4.3	4.2	3.9				
	27年産米	0.0	0.0	1.0	2.2	3.1	3.3	3.3	3.1				
	1年古米(26年産)	1.5	1.5	1.1	1.2	1.0	0.8	0.7	0.6				
奈良	出荷＋販売段階	2.5	1.7	1.7	6.5	10.3	9.5	9.5	8.6				
	27年産米	0.0	0.0	0.8	6.1	9.9	9.1	8.4	7.6				
	1年古米(26年産)	2.3	1.5	0.8	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1				
	出荷段階	2.1	1.3	1.3	5.4	8.9	8.2	7.6	6.9				
	27年産米	0.0	0.0	0.8	5.2	8.9	8.2	7.6	6.9				
	1年古米(26年産)	2.1	1.3	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.4	0.4	0.4	1.2	1.4	1.3	1.9	1.7				
	27年産米	0.0	0.0	0.1	0.9	1.0	1.0	0.8	0.7				
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1				

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑥（和歌山から山口）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	1.0	0.8	1.4	2.1	2.3	2.5	2.4	2.2				
	27年産米	0.0	0.0	0.8	1.6	1.8	2.1	2.0	1.8				
	1年古米(26年産)	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3				
	出荷段階	0.5	0.4	1.0	1.7	1.7	1.6	1.4	1.3				
	27年産米	0.0	0.0	0.8	1.4	1.5	1.4	1.4	1.3				
	1年古米(26年産)	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0				
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	0.9	1.0	0.9				
	27年産米	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.7	0.5	0.5				
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.3				
鳥取	出荷＋販売段階	10.2	7.3	8.8	20.8	23.8	28.6	27.8	26.3				
	27年産米	0.0	0.0	4.7	17.8	21.9	27.5	27.3	26.0				
	1年古米(26年産)	9.5	6.8	3.7	2.6	1.7	0.9	0.5	0.2				
	出荷段階	7.8	5.2	6.9	17.9	21.3	26.0	24.3	21.9				
	27年産米	0.0	0.0	4.2	16.4	20.5	25.7	24.2	21.9				
	1年古米(26年産)	7.5	5.0	2.5	1.4	0.8	0.3	0.1	0.0				
	販売段階	2.4	2.1	1.9	2.8	2.4	2.5	3.6	4.3				
	27年産米	0.0	0.0	0.5	1.4	1.4	1.8	3.1	4.1				
	1年古米(26年産)	2.0	1.8	1.2	1.2	0.9	0.6	0.4	0.2				
島根	出荷＋販売段階	16.9	14.7	20.6	26.6	25.8	27.1	25.1	22.1				
	27年産米	0.0	0.4	10.9	20.7	20.7	23.1	21.8	20.0				
	1年古米(26年産)	15.8	13.5	9.0	5.3	4.5	3.5	2.8	1.8				
	出荷段階	14.7	12.9	18.4	23.6	22.7	23.8	22.3	19.4				
	27年産米	0.0	0.4	10.0	19.0	18.8	20.7	19.9	18.0				
	1年古米(26年産)	14.7	12.5	8.4	4.5	3.9	3.1	2.4	1.4				
	販売段階	2.1	1.9	2.3	3.0	3.1	3.3	2.8	2.7				
	27年産米	0.0	0.1	0.9	1.7	1.9	2.3	1.9	2.0				
	1年古米(26年産)	1.1	1.0	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4				
岡山	出荷＋販売段階	19.4	14.4	16.6	31.0	42.0	45.9	42.3	38.9				
	27年産米	0.0	0.0	6.4	23.8	37.0	42.9	40.6	37.9				
	1年古米(26年産)	18.5	14.0	10.0	7.1	4.9	2.9	1.7	1.0				
	出荷段階	15.8	11.3	12.8	24.9	35.5	38.8	35.5	32.8				
	27年産米	0.0	0.0	5.1	20.5	32.2	36.8	34.5	32.2				
	1年古米(26年産)	15.4	11.2	7.6	4.4	3.4	2.0	1.0	0.6				
	販売段階	3.5	3.1	3.9	6.1	6.4	7.1	6.8	6.1				
	27年産米	0.0	0.0	1.3	3.4	4.9	6.2	6.0	5.7				
	1年古米(26年産)	3.1	2.9	2.4	2.7	1.5	0.9	0.7	0.4				
広島	出荷＋販売段階	10.7	7.7	17.5	37.5	37.9	34.3	30.9	27.2				
	27年産米	0.0	0.1	12.6	34.3	35.5	32.5	29.4	26.1				
	1年古米(26年産)	10.1	7.2	4.5	3.0	2.3	1.8	1.4	1.1				
	出荷段階	7.3	4.9	14.0	31.7	32.2	28.9	26.3	22.7				
	27年産米	0.0	0.1	11.6	31.7	32.1	28.8	26.3	22.7				
	1年古米(26年産)	7.3	4.7	2.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	3.4	2.9	3.4	5.7	5.7	5.4	4.5	4.6				
	27年産米	0.0	0.0	1.0	2.7	3.4	3.6	3.1	3.5				
	1年古米(26年産)	2.9	2.4	2.1	2.9	2.2	1.7	1.4	1.0				
山口	出荷＋販売段階	11.4	10.7	16.4	34.2	35.6	32.5	30.1	27.6				
	27年産米	0.0	0.4	9.4	28.3	31.0	30.0	28.2	26.1				
	1年古米(26年産)	10.1	9.3	6.2	5.3	4.4	2.5	1.9	1.5				
	出荷段階	9.6	9.2	14.9	31.0	33.1	30.0	28.1	25.9				
	27年産米	0.0	0.3	9.1	27.4	30.1	28.6	27.0	25.0				
	1年古米(26年産)	8.9	8.3	5.4	3.3	2.8	1.4	1.1	0.9				
	販売段階	1.7	1.5	1.5	3.1	2.6	2.5	2.0	1.7				
	27年産米	0.0	0.1	0.3	0.9	0.9	1.4	1.1	1.1				
	1年古米(26年産)	1.1	1.0	0.8	2.0	1.6	1.1	0.8	0.6				

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑦（徳島から佐賀）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	1.9	8.3	12.2	11.1	10.0	8.9	6.9	6.1				
	27年産米	0.0	7.2	11.5	10.6	9.6	8.7	6.8	6.0				
	1年古米(26年産)	1.9	1.0	0.6	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1				
	出荷段階	0.9	6.5	9.0	7.9	6.9	6.0	4.9	4.3				
	27年産米	0.0	6.3	8.9	7.9	6.9	6.0	4.9	4.3				
	1年古米(26年産)	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	1.1	1.7	3.2	3.2	3.1	2.8	2.0	1.8				
	27年産米	0.0	0.9	2.6	2.7	2.7	2.6	1.8	1.7				
	1年古米(26年産)	1.0	0.8	0.5	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1				
香川	出荷＋販売段階	8.5	6.1	7.2	14.3	22.4	20.9	19.3	17.6				
	27年産米	0.0	0.4	3.6	12.4	21.2	20.0	18.6	17.1				
	1年古米(26年産)	7.6	5.3	3.4	1.8	1.1	0.8	0.6	0.4				
	出荷段階	6.7	4.9	6.1	12.5	20.7	19.4	18.1	16.6				
	27年産米	0.0	0.4	3.4	11.9	20.5	19.4	18.1	16.6				
	1年古米(26年産)	6.7	4.5	2.7	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	1.8	1.2	1.2	1.9	1.7	1.4	1.2	1.1				
	27年産米	0.0	0.0	0.2	0.5	0.7	0.5	0.5	0.6				
	1年古米(26年産)	0.9	0.8	0.7	1.3	1.0	0.8	0.6	0.4				
愛媛	出荷＋販売段階	5.6	6.7	8.4	13.4	16.1	14.8	13.6	12.3				
	27年産米	0.0	2.3	5.0	10.6	13.9	12.9	11.9	10.9				
	1年古米(26年産)	4.8	3.8	3.0	2.6	2.2	1.9	1.7	1.4				
	出荷段階	4.5	5.8	7.7	12.6	15.6	14.3	13.2	11.8				
	27年産米	0.0	2.2	4.9	10.3	13.6	12.5	11.6	10.6				
	1年古米(26年産)	4.5	3.6	2.8	2.3	2.0	1.8	1.6	1.2				
	販売段階	1.1	0.9	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4	0.5				
	27年産米	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3				
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1				
高知	出荷＋販売段階	2.1	8.6	8.0	9.7	9.2	8.2	7.3	6.5				
	27年産米	0.5	7.3	7.0	9.0	8.6	7.8	7.0	6.2				
	1年古米(26年産)	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1				
	出荷段階	0.8	5.0	4.9	6.0	5.9	5.4	5.0	4.5				
	27年産米	0.3	4.6	4.7	5.8	5.7	5.3	4.8	4.4				
	1年古米(26年産)	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				
	販売段階	1.3	3.6	3.1	3.7	3.3	2.8	2.4	2.0				
	27年産米	0.1	2.7	2.3	3.1	2.9	2.5	2.2	1.9				
	1年古米(26年産)	0.7	0.6	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1				
福岡	出荷＋販売段階	21.0	14.6	21.2	41.3	53.3	60.5	62.2	56.1				
	27年産米	0.0	0.3	11.7	33.4	47.0	56.2	58.4	53.5				
	1年古米(26年産)	19.2	12.8	8.2	6.8	5.5	3.7	3.3	2.3				
	出荷段階	17.9	12.0	16.8	32.7	45.3	53.8	55.6	50.9				
	27年産米	0.0	0.2	8.9	28.0	41.6	51.4	54.3	50.1				
	1年古米(26年産)	17.2	11.2	7.4	4.5	3.4	2.2	1.2	0.8				
	販売段階	3.2	2.6	4.4	8.5	8.0	6.7	6.5	5.2				
	27年産米	0.0	0.1	2.8	5.4	5.4	4.8	4.2	3.4				
	1年古米(26年産)	2.0	1.5	0.8	2.4	2.1	1.5	2.1	1.5				
佐賀	出荷＋販売段階	13.6	11.2	10.1	29.3	34.4	35.7	35.6	35.8				
	27年産米	0.0	0.9	3.1	24.9	31.0	33.6	34.0	34.8				
	1年古米(26年産)	13.4	10.2	6.9	4.4	3.4	2.1	1.6	1.0				
	出荷段階	12.2	10.1	9.0	26.5	31.9	33.6	33.5	34.0				
	27年産米	0.0	0.8	2.9	24.1	29.9	32.2	32.5	33.4				
	1年古米(26年産)	12.2	9.3	6.2	2.4	2.0	1.4	1.0	0.5				
	販売段階	1.4	1.1	1.0	2.9	2.5	2.2	2.1	1.9				
	27年産米	0.0	0.1	0.2	0.8	1.1	1.4	1.5	1.4				
	1年古米(26年産)	1.2	0.9	0.7	2.0	1.4	0.7	0.6	0.4				

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

## 産地別民間在庫の推移⑧（長崎から沖縄）

（単位：玄米千トン）

		27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
長崎	出荷＋販売段階	3.3	2.8	3.1	7.3	9.9	10.2	9.7	9.4					
	27年産米	0.0	0.4	1.6	6.0	8.9	9.4	9.2	9.0					
	1年古米(26年産)	3.3	2.4	1.4	1.3	1.0	0.8	0.5	0.4					
	出荷段階	3.0	2.6	2.8	6.3	8.9	9.4	9.1	8.8					
	27年産米	0.0	0.4	1.5	5.6	8.4	9.1	8.9	8.7					
	1年古米(26年産)	3.0	2.2	1.3	0.6	0.5	0.4	0.2	0.2					
	販売段階	0.3	0.2	0.3	1.0	1.0	0.8	0.6	0.5					
	27年産米	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3					
	1年古米(26年産)	0.2	0.2	0.1	0.7	0.6	0.4	0.3	0.2					
	熊本	出荷＋販売段階	13.3	10.9	9.6	28.3	39.7	46.7	43.3	39.5				
		27年産米	0.0	2.3	4.8	26.1	38.4	46.0	42.6	38.8				
		1年古米(26年産)	12.9	8.3	4.6	2.1	1.2	0.6	0.6	0.6				
出荷段階		10.0	7.5	6.4	20.7	30.9	37.7	34.6	31.5					
27年産米		0.0	1.6	3.2	19.7	30.3	37.4	34.3	31.1					
1年古米(26年産)		10.0	5.9	3.1	1.0	0.6	0.3	0.3	0.3					
販売段階		3.3	3.4	3.3	7.6	8.8	9.0	8.7	8.0					
27年産米		0.0	0.8	1.6	6.4	8.1	8.6	8.3	7.7					
1年古米(26年産)		2.9	2.5	1.5	1.1	0.6	0.3	0.3	0.3					
大分		出荷＋販売段階	7.8	6.1	5.2	12.0	21.4	20.8	19.7	17.9				
		27年産米	0.0	0.4	1.5	9.6	19.6	19.4	18.4	16.9				
		1年古米(26年産)	7.0	5.1	3.2	2.0	1.5	1.1	1.1	0.7				
	出荷段階	6.0	4.6	3.7	8.8	16.5	16.0	15.1	13.9					
	27年産米	0.0	0.3	1.0	7.2	15.3	15.0	14.4	13.5					
	1年古米(26年産)	5.7	4.1	2.5	1.4	1.1	0.9	0.6	0.4					
	販売段階	1.7	1.5	1.5	3.3	4.9	4.8	4.6	4.0					
	27年産米	0.0	0.1	0.5	2.4	4.3	4.4	4.0	3.5					
	1年古米(26年産)	1.3	1.1	0.7	0.6	0.4	0.2	0.5	0.3					
	宮崎	出荷＋販売段階	5.1	5.0	2.9	9.3	11.8	11.9	12.1	11.0				
		27年産米	2.5	3.3	2.2	8.9	11.5	11.5	11.8	10.8				
		1年古米(26年産)	2.4	1.5	0.6	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2				
出荷段階		3.2	2.4	0.4	6.4	8.9	9.2	9.6	9.0					
27年産米		1.8	1.7	0.2	6.4	8.8	9.1	9.5	8.9					
1年古米(26年産)		1.4	0.8	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1					
販売段階		1.9	2.6	2.6	2.9	3.0	2.6	2.5	2.0					
27年産米		0.8	1.6	2.0	2.5	2.7	2.4	2.2	1.9					
1年古米(26年産)		1.0	0.8	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1					
鹿児島		出荷＋販売段階	8.9	9.8	7.6	15.6	19.7	19.3	20.0	18.6				
		27年産米	0.8	3.4	2.8	12.6	17.3	17.3	18.4	17.1				
		1年古米(26年産)	6.7	5.2	3.7	2.1	1.6	1.2	0.9	0.9				
	出荷段階	5.8	5.1	3.6	11.2	15.2	15.0	16.3	14.9					
	27年産米	0.4	1.0	0.6	9.6	13.8	13.8	15.5	14.0					
	1年古米(26年産)	5.1	3.9	2.7	1.4	1.2	0.9	0.7	0.7					
	販売段階	3.1	4.6	4.0	4.4	4.5	4.3	3.7	3.6					
	27年産米	0.3	2.4	2.1	3.0	3.5	3.4	2.9	3.0					
	1年古米(26年産)	1.6	1.3	1.0	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2					
	沖縄	出荷＋販売段階	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1				
		27年産米	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1				
		1年古米(26年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
出荷段階		0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1					
27年産米		0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1					
1年古米(26年産)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
販売段階		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1					
27年産米		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1					
1年古米(26年産)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

注：本表の注意点は、北海道から秋田の表の脚注参照。

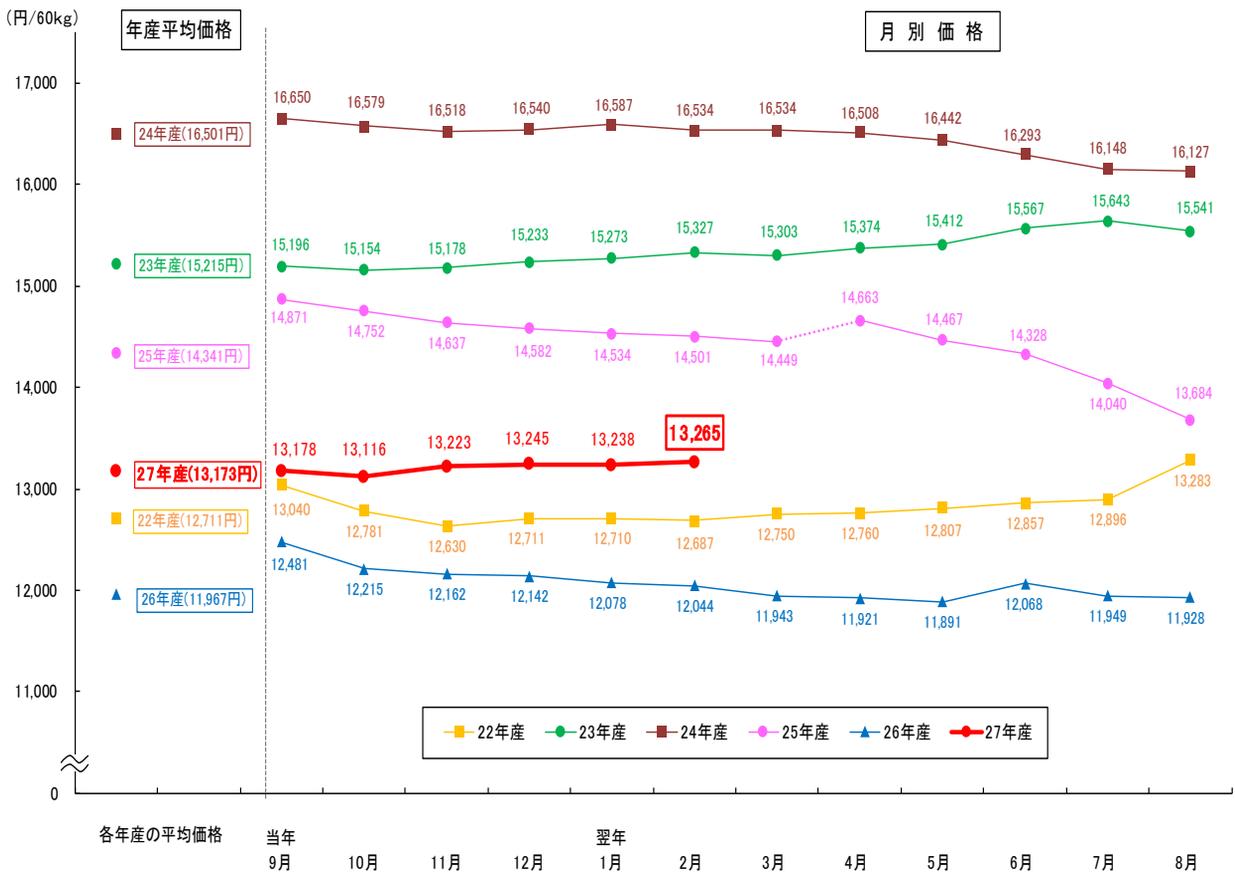
# Ⅲ 米の価格情報

## 1 相対取引価格・数量

### (1) 相対取引価格（年産別）

- 平成27年産米の平成28年2月の全銘柄平均価格は、前月より+27円の13,265円/60kg。
  - 前年産の同時期と比べ+1,221円/60kg。
- ※ 産地銘柄ごとの価格は、26頁以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）  
（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税（5%。ただし、25年産の26年4月分以降は8%）が含まれている。

3 グラフの左側は各年産の平均価格（注4）、それ以降は月ごとの価格の推移。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（27年産は翌年1月）までの通年平均価格。

## (2) 価格帯別分析結果（平成28年2月分）

- 平成26年産米と平成27年産米の価格帯別平均価格を比較したところ、平成26年産の価格が13,000円以上の銘柄は、+694円、11,000円未満の銘柄では+1,814円となっており、平成26年産米で価格を下げた銘柄ほど平成27年産米において価格が上昇している状況。
- 産地銘柄ごとでは、「群馬あさひの夢」が前年同月より最も上昇しており、次いで、「栃木あさひの夢」、「徳島コシヒカリ」という状況。

### 価格帯別相対取引価格

単位:円/60kg(税込)

		26年産の相対取引価格			
		13,000円以上の銘柄の平均	13,000円～12,000円の銘柄の平均	12,000円～11,000円の銘柄の平均	11,000円未満の銘柄の平均
26年産(27年2月)	①	15,116	12,466	11,580	10,147
27年産(28年2月) (26年産価格帯ベース)	②	15,810	13,672	12,720	11,961
価格差	②-①	+ 694	+ 1,206	+ 1,140	+ 1,814

### 平成26年産と平成27年産の価格差（相対取引価格上昇上位10銘柄）

単位:円/玄米60kg(税込)

			平成26年産 (平成27年2月) ①	平成27年産 (平成28年2月) ②	価格差 ②-①
群馬	あさひの夢		8,925	13,021	+ 4,096
栃木	あさひの夢		9,111	11,741	+ 2,630
徳島	コシヒカリ		10,574	13,075	+ 2,501
福島	コシヒカリ	中通り	9,754	12,148	+ 2,394
青森	つがるロマン		9,612	12,003	+ 2,391
高知	コシヒカリ		11,232	13,278	+ 2,046
鹿児島	ヒノヒカリ		12,543	14,566	+ 2,023
秋田	めんこいな		10,044	11,946	+ 1,902
徳島	キヌヒカリ		10,009	11,880	+ 1,871
青森	まっしぐら		9,830	11,683	+ 1,853

### (3) 相対取引価格・数量（平成27年産米、産地品種銘柄別、平成28年2月分）

#### 相対取引価格・数量①（北海道から栃木まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年2月) ①	数量 27年産米 (28年2月) ②	参 考							
				価 格				数 量			
				27年産米 (28年1月) ③	対前月比 ①/③	26年産米 (27年2月) ④	対前年比 ①/④	27年産米 (28年1月) ⑤	対前月比 ②/⑤	26年産米 (27年2月) ⑥	対前年比 ②/⑥
北海道	ななつぼし	13,305	12,582	13,181	101%	12,203	109%	33,485	38%	20,247	62%
北海道	きらら397	12,554	3,154	12,605	100%	11,259	112%	7,615	41%	17,114	18%
北海道	ゆめぴりか	17,118	8,830	16,146	106%	16,147	106%	10,377	85%	5,946	149%
青森	まっしぐら	11,683	13,705	11,823	99%	9,830	119%	6,134	223%	4,219	325%
青森	つがるロマン	12,003	4,665	11,919	101%	9,612	125%	5,655	82%	1,976	236%
岩手	ひとめぼれ	12,852	21,146	12,895	100%	11,568	111%	18,860	112%	7,903	268%
岩手	あきたこまち	12,582	5,286	12,403	101%	10,802	116%	6,642	80%	4,911	108%
岩手	いわてっこ	11,838	923	12,049	98%	-	-	782	118%	-	-
宮城	ひとめぼれ	12,946	25,208	12,929	100%	11,912	109%	43,713	58%	6,791	371%
宮城	ササニシキ	13,381	1,227	11,217	119%	12,375	108%	789	156%	453	271%
宮城	つや姫	13,372	1,299	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田	あきたこまち	12,719	14,779	12,821	99%	11,565	110%	22,160	67%	29,101	51%
秋田	めんこいな	11,946	2,212	11,952	100%	10,044	119%	982	225%	298	742%
秋田	ひとめぼれ	11,989	2,630	11,906	101%	10,420	115%	6,008	44%	3,602	73%
山形	はえぬき	12,448	9,860	12,352	101%	10,996	113%	19,792	50%	9,488	104%
山形	つや姫	18,159	2,770	17,636	103%	16,419	111%	3,297	84%	4,755	58%
山形	ひとめぼれ	12,533	1,243	14,713	85%	13,827	91%	1,659	75%	2,745	45%
福島	コシヒカリ(中通り)	12,148	10,369	12,048	101%	9,754	125%	2,629	394%	16,686	62%
福島	コシヒカリ(会津)	13,226	5,682	13,501	98%	13,199	100%	23,179	25%	7,633	74%
福島	コシヒカリ(浜通り)	10,533	2,542	11,382	93%	9,623	109%	483	526%	2,987	85%
福島	ひとめぼれ	11,250	7,067	10,842	104%	9,686	116%	5,503	128%	8,135	87%
福島	天のつぶ	9,984	2,819	10,839	92%	-	-	687	410%	-	-
茨城	コシヒカリ	12,816	7,465	12,830	100%	11,551	111%	2,983	250%	3,644	205%
茨城	あきたこまち	11,930	706	12,175	98%	10,928	109%	388	182%	134	527%
茨城	ゆめひたち	-	-	10,674	-	-	-	228	-	-	-
栃木	コシヒカリ	12,924	11,639	13,151	98%	11,760	110%	15,556	75%	4,828	241%
栃木	あさひの夢	11,741	219	11,603	101%	9,111	129%	298	73%	3,410	6%
栃木	なすひかり	12,270	409	-	-	10,890	113%	-	-	1,255	33%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。  
ただし、全農が締結する「福島、茨城、鳥取、岡山、高知」の契約では、27年産から契約方法を見直し、これまでの運賃（東京、大阪着基準）を含めた契約方法から、産地在姿での契約方法に変更したため、当該産地の相対取引価格には全農契約分の運賃が含まれていない。
- 3 価格に含む消費税は、平成26年4月分から8%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。
- 6 全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。
- 7 ④及び⑥は前年産の価格、数量である。
- 8 次々頁にある「全銘柄平均価格（出回りから翌年2月まで）」は、平成27年産米の出回りから翌年2月までの平均価格。「26年産米の全銘柄平均価格（年産平均）」は、26年産米の出回りから平成27年10月までの平均価格。
- 9 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。
- 10 斜線は、当該年産米において産地品種銘柄の報告対象でなかったもの。

相対取引価格・数量②（群馬から兵庫まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年2月)	数量 27年産米 (28年2月)	参考							
				価格				数量			
				27年産米 (28年1月)	対前月比	26年産米 (27年2月)	対前年比	27年産米 (28年1月)	対前月比	26年産米 (27年2月)	対前年比
①	②	③	①/③	④	①/④	⑤	②/⑤	⑥	②/⑥		
群馬	あさひの夢	13,021	1,005	12,105	108%	8,925	146%	300	335%	737	136%
群馬	ゆめまつり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬	ゴロビカリ	-	-	-	-	9,630	-	-	-	116	-
埼玉	彩のかがやき	11,927	1,465	11,903	100%	10,076	118%	308	476%	909	161%
埼玉	コシヒカリ	12,949	1,009	12,796	101%	11,102	117%	241	419%	804	125%
埼玉	キヌヒカリ	11,832	699	11,997	99%	-	-	196	357%	-	-
千葉	コシヒカリ	12,728	14,864	12,634	101%	11,596	110%	4,522	329%	2,692	552%
千葉	ふさこがね	11,215	3,402	11,455	98%	9,586	117%	727	468%	3,198	106%
千葉	ふさおとめ	11,164	3,413	11,024	101%	10,004	112%	415	822%	498	685%
山梨	コシヒカリ	16,429	282	16,598	99%	15,407	107%	241	117%	301	94%
山梨	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	コシヒカリ	14,212	2,581	13,701	104%	13,542	105%	8,635	30%	3,129	82%
長野	あきたこまち	12,539	631	12,715	99%	-	-	313	202%	-	-
静岡	コシヒカリ	14,238	1,542	14,216	100%	13,396	106%	185	834%	473	326%
静岡	きぬむすめ	12,691	420	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡	あいちのかおり	12,690	153	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ(一般)	16,213	6,919	16,365	99%	15,561	104%	8,875	78%	22,932	30%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,786	539	20,686	100%	19,389	107%	855	63%	3,529	15%
新潟	コシヒカリ(岩船)	-	-	16,906	-	15,999	-	441	-	663	-
新潟	コシヒカリ(佐渡)	16,542	2,465	16,566	100%	15,649	106%	1,873	132%	4,647	53%
新潟	こしいぶき	12,312	2,537	12,614	98%	11,347	109%	3,277	77%	6,805	37%
富山	コシヒカリ	14,246	3,496	13,745	104%	12,907	110%	5,833	60%	8,894	39%
富山	てんたかく	12,737	505	12,287	104%	11,825	108%	787	64%	523	97%
石川	コシヒカリ	14,317	1,416	13,891	103%	12,656	113%	6,307	22%	3,209	44%
石川	ゆめみづほ	12,183	152	12,096	101%	10,643	114%	198	77%	1,270	12%
福井	コシヒカリ	14,210	7,513	14,208	100%	12,698	112%	766	981%	1,041	722%
福井	ハナエチゼン	12,572	3,398	12,179	103%	11,161	113%	644	528%	578	588%
岐阜	ハツシモ	13,592	298	13,356	102%	11,900	114%	638	47%	999	30%
岐阜	コシヒカリ	14,047	759	14,411	97%	12,401	113%	427	178%	1,210	63%
岐阜	あきたこまち	12,666	174	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	あいちのかおり	-	-	-	-	12,748	-	-	-	891	-
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	大地の風	-	-	-	-	11,402	-	-	-	233	-
三重	コシヒカリ(一般)	13,657	3,452	13,569	101%	12,031	114%	1,200	288%	5,377	64%
三重	コシヒカリ(伊賀)	14,058	780	14,104	100%	12,624	111%	443	176%	2,132	37%
三重	キヌヒカリ	12,583	1,271	12,578	100%	10,972	115%	438	290%	915	139%
滋賀	コシヒカリ	13,785	1,022	13,970	99%	13,061	106%	1,224	83%	2,690	38%
滋賀	キヌヒカリ	12,223	2,653	12,361	99%	11,378	107%	375	707%	1,330	199%
滋賀	日本晴	12,353	282	12,093	102%	11,314	109%	121	233%	312	90%
京都	コシヒカリ	14,088	3,021	13,674	103%	12,921	109%	489	618%	780	387%
京都	キヌヒカリ	13,076	1,001	13,019	100%	12,193	107%	308	325%	101	991%
兵庫	コシヒカリ	14,501	2,614	14,494	100%	13,668	106%	695	376%	1,215	215%
兵庫	ヒノヒカリ	11,832	928	11,836	100%	11,231	105%	403	230%	320	290%
兵庫	キヌヒカリ	12,130	855	11,971	101%	11,398	106%	480	178%	387	221%

注：本表の注意点は前頁の脚注を参照

相対取引価格・数量③（奈良から鹿児島まで）

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	価格 27年産米 (28年2月)	数量 27年産米 (28年2月)	参考							
				価格				数量			
				27年産米 (28年1月)	対前月比	26年産米 (27年2月)	対前年比	27年産米 (28年1月)	対前月比	26年産米 (27年2月)	対前年比
				③	①/③	④	①/④	⑤	②/⑤	⑥	②/⑥
奈良	ヒノヒカリ	12,273	505	12,392	99%	11,426	107%	440	115%	669	75%
奈良	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	ひとめぼれ	12,159	841	11,839	103%	11,294	108%	1,591	53%	348	242%
鳥取	コシヒカリ	-	-	13,065	-	-	-	784	-	-	-
鳥取	きぬむすめ	-	-	12,004	-	-	-	986	-	-	-
島根	コシヒカリ	13,595	1,915	13,568	100%	12,295	111%	1,019	188%	3,865	50%
島根	きぬむすめ	12,607	2,167	12,576	100%	11,708	108%	929	233%	498	435%
島根	ハナエチゼン	-	-	11,992	-	-	-	109	-	-	-
岡山	アケボノ	11,495	1,533	-	-	9,946	116%	-	-	2,115	72%
岡山	あきたこまち	11,781	238	11,917	99%	11,330	104%	176	135%	1,021	23%
岡山	ヒノヒカリ	12,124	374	11,936	102%	11,308	107%	851	44%	1,301	29%
広島	コシヒカリ	12,795	1,899	12,886	99%	12,117	106%	938	202%	345	550%
広島	あきろまん	11,912	251	11,909	100%	11,500	104%	246	102%	221	114%
広島	ヒノヒカリ	11,720	465	12,174	96%	11,470	102%	123	378%	151	308%
山口	コシヒカリ	13,819	681	13,721	101%	12,753	108%	492	138%	770	88%
山口	ひとめぼれ	12,768	455	12,630	101%	11,944	107%	469	97%	219	208%
山口	ヒノヒカリ	12,670	530	12,710	100%	11,928	106%	419	126%	345	154%
徳島	コシヒカリ	13,075	189	13,519	97%	10,574	124%	180	105%	1,573	12%
徳島	キヌヒカリ	11,880	120	-	-	10,009	119%	-	-	505	24%
香川	ヒノヒカリ	12,377	903	12,395	100%	10,974	113%	725	125%	988	91%
香川	コシヒカリ	13,386	455	13,390	100%	11,780	114%	407	112%	741	61%
愛媛	コシヒカリ	12,363	289	12,386	100%	11,275	110%	310	93%	2,006	14%
愛媛	ヒノヒカリ	11,707	194	11,761	100%	10,546	111%	175	111%	2,156	9%
愛媛	あきたこまち	11,639	127	-	-	10,573	110%	-	-	1,143	11%
高知	コシヒカリ	13,278	264	13,278	100%	11,232	118%	264	100%	288	92%
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	夢つくし	15,102	1,259	15,062	100%	14,585	104%	1,264	100%	1,439	87%
福岡	ヒノヒカリ	13,447	1,002	13,602	99%	12,578	107%	424	236%	680	147%
福岡	元気つくし	15,265	893	14,852	103%	-	-	1,204	74%	-	-
佐賀	夢しずく	13,006	371	12,868	101%	12,198	107%	429	86%	471	79%
佐賀	さがびより	14,206	437	14,185	100%	12,704	112%	515	85%	695	63%
佐賀	ヒノヒカリ	12,598	485	12,712	99%	-	-	302	161%	-	-
長崎	にこまる	14,189	421	14,175	100%	13,115	108%	295	143%	373	113%
長崎	ヒノヒカリ	13,836	254	13,849	100%	12,950	107%	267	95%	228	111%
長崎	コシヒカリ	14,756	179	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本	ヒノヒカリ	13,398	1,204	13,392	100%	12,244	109%	527	228%	659	183%
熊本	森のくまさん	14,239	104	14,408	99%	12,846	111%	149	70%	338	31%
熊本	コシヒカリ	14,828	357	14,593	102%	13,465	110%	111	322%	555	64%
大分	ヒノヒカリ	13,401	1,771	13,385	100%	12,549	107%	537	330%	2,483	71%
大分	ひとめぼれ	13,745	140	13,222	104%	13,207	104%	135	104%	150	93%
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	12,539	-	-	-	146	-
宮崎	ヒノヒカリ	13,554	233	13,753	99%	12,046	113%	221	105%	230	101%
鹿児島	ヒノヒカリ	14,566	306	14,659	99%	12,543	116%	167	183%	453	68%
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	あきほなみ	14,732	468	-	-	13,914	106%	-	-	269	174%
全銘柄平均価格、合計数量		13,265	284,458	13,238	100.2%	12,044	110.1%	312,074	91.2%	288,074	98.7%

全銘柄平均価格(出回りから翌年2月まで)	13,173	26年産米の全銘柄平均価格(年産平均)	11,967	110.1%
----------------------	--------	---------------------	--------	--------

注：本表の注意点は前々頁の脚注を参照

## (4) スポット価格の状況

〔○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。〕

スポット価格① (株式会社日本農産情報、日本コメ市場株式会社、株式会社クリスタルライス、株式会社加工用米取引センター)

税抜価格

【平成27年産】

(1等、包装代込、税抜、円/60kg)

産地、銘柄		平成27年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年 1月	2月	3月
北海道ななつぼし	日本農産情報			12,400	12,100	12,100	12,100	12,500	12,500	12,600
	クリスタルライス				12,406					
北海道ゆめぴりか	日本農産情報			13,900	13,800	13,800	13,600	13,900	14,000	14,500
青森まっしぐら	日本農産情報				11,300	11,200	11,000	11,400	11,600	11,800
青森つがるロマン	日本農産情報				11,400	11,400	11,200	11,600	12,000	12,000
	日本コメ市場						11,400	1,638	11,623	11,883
岩手ひとめぼれ	日本農産情報				11,300	11,600	11,600	12,000	12,000	12,300
	クリスタルライス								12,466	12,648
岩手あきたこまち	日本農産情報				11,200	11,400	11,400	11,700	11,900	12,400
宮城ひとめぼれ	日本農産情報				11,700	11,900	11,900	12,300	12,300	12,500
	日本コメ市場						12,196			
秋田あきたこまち	日本農産情報			11,600	11,700	11,700	11,700	12,100	12,100	12,600
	日本コメ市場				11,724	11,722		12,046	12,255	12,768
	クリスタルライス					11,732		12,048		12,455
山形はえぬき	日本農産情報			11,000	11,300	11,500	11,800	12,000	12,300	12,600
福島中通コシヒカリ	日本農産情報				11,600	11,600	11,700	11,800	12,000	11,900
	日本コメ市場					11,429		12,053	12,000	12,064
福島中通ひとめぼれ	日本農産情報			10,600	11,000	11,300	11,300	11,600	11,800	11,900
	クリスタルライス						11,503			
茨城コシヒカリ	日本農産情報		11,000	11,400	11,600	11,600	11,600	12,000	12,100	12,100
	日本コメ市場			11,463	11,661	11,800	11,938		12,299	12,172
	クリスタルライス		10,861		11,766	11,650		11,917		12,135
茨城あきたこまち	日本農産情報		10,400	10,800	11,100	11,100	11,100	11,700	11,700	11,900
	クリスタルライス		10,500							
栃木コシヒカリ	日本コメ市場					11,700	11,700		12,253	12,215
栃木あさひの夢	日本農産情報			10,300	10,800	10,900	10,800	11,200	11,600	11,600
	クリスタルライス						11,200	11,214		
埼玉彩のかがやき	日本農産情報				11,000	11,000	11,000	11,500	11,800	11,800
千葉コシヒカリ	日本農産情報		11,300							
千葉ふさこがね	日本農産情報		9,800							
千葉ふさおとめ	日本農産情報		9,900	10,500	10,900	11,100	11,100	11,400	11,700	11,900
	クリスタルライス		10,134		10,851					
千葉あきたこまち	日本農産情報		10,300							
	クリスタルライス					11,500		11,581		12,152
新潟コシヒカリ (一般)	日本農産情報			14,600	14,700	15,100	15,100	15,400	15,400	15,500
	日本コメ市場					15,371	15,551		15,548	15,654
	クリスタルライス				14,971	15,363		15,479		15,568
新潟コシヒカリ (魚沼)	日本農産情報				19,600	20,300	21,800	23,500	23,500	24,500
新潟こしいぶき	日本農産情報			11,300	11,800	11,800	11,800	12,200	12,700	12,700
富山コシヒカリ (近畿着)	日本農産情報			13,300	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,700
福井ハナエチゼン	日本農産情報		11,100							
三重コシヒカリ (近畿着)	日本農産情報		11,900							
三重あきたこまち (近畿着)	日本農産情報		11,400							
	加工用米取引C		11,500							
島根ハナエチゼン (近畿着)	日本農産情報		11,200							
徳島コシヒカリ (近畿着)	日本農産情報		12,500							
宮崎コシヒカリ (近畿着)	日本農産情報	13,500	13,300							
鹿児島コシヒカリ (近畿着)	日本農産情報		12,800							
山形ヒメノモチ	日本農産情報			15,000	15,000	15,200	15,200	15,200	15,100	13,500
千葉ヒメノモチ	日本農産情報			14,700	14,700	14,700	14,500	14,500	13,700	13,500

出典：株式会社日本農産HP、日本コメ市場株式会社HP、加工用米取引センターHP

注：1 日本農産情報の価格は、特にことわりのない場合は10トン以上の取引で、東京着値基準、1等、中卸価格。

2 日本コメ市場の価格は、随時取引(取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引)の下期(16日～月末分。ただし、下期が公表されていない場合は上期)の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

3 クリスタルライスの価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会での成約価格(取引数量により加重平均)であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

4 加工用米取引センターの価格は、着地持込価格であり、包装代を含む価格。特に記載のない場合は、1等。

## スポット価格②（米穀市況速報）

単位：円/玄米60kg、包装代込み、税込み

産地品種銘柄	26年産	27年産	価格差 (②-①)
	(27年4月7日時点) ①	(28年4月5日時点) ②	
北海道ゆめぴりか	14,256	15,768	+ 1,512
北海道ななつぼし	12,420	14,040	+ 1,620
青森つがるロマン	9,720	12,852	+ 3,132
青森まっしぐら	9,396	12,636	+ 3,240
岩手ひとめぼれ	11,124	13,500	+ 2,376
宮城ひとめぼれ	11,232	13,608	+ 2,376
秋田あきたこまち	11,232	13,716	+ 2,484
山形はえぬき	10,800	13,608	+ 2,808
福島会津コシヒカリ	11,880	13,284	+ 1,404
福島中通りコシヒカリ	10,800	12,960	+ 2,160
福島会津ひとめぼれ	10,476	12,960	+ 2,484
福島中通りひとめぼれ	10,044	12,852	+ 2,808
茨城コシヒカリ	11,556	13,068	+ 1,512
茨城あきたこまち	10,692	12,852	+ 2,160
栃木コシヒカリ	11,664	13,068	+ 1,404
栃木あさひの夢	9,288	12,528	+ 3,240
千葉コシヒカリ	11,664	13,068	+ 1,404
千葉ふさおとめ	9,936	12,744	+ 2,808
千葉ふさこがね	9,720	12,636	+ 2,916
新潟魚沼コシヒカリ	20,088	26,460	+ 6,372
新潟一般コシヒカリ	15,552	16,632	+ 1,080
新潟こしいぶき	11,016	14,256	+ 3,240
富山コシヒカリ	13,176	14,580	+ 1,404
石川コシヒカリ	12,420	13,932	+ 1,512

出典：「米穀市況速報」（関東相場、東京着値基準、下限値）。

注：27年産は、資料作成時の直近価格として、平成28年4月5日時点の価格を掲載。

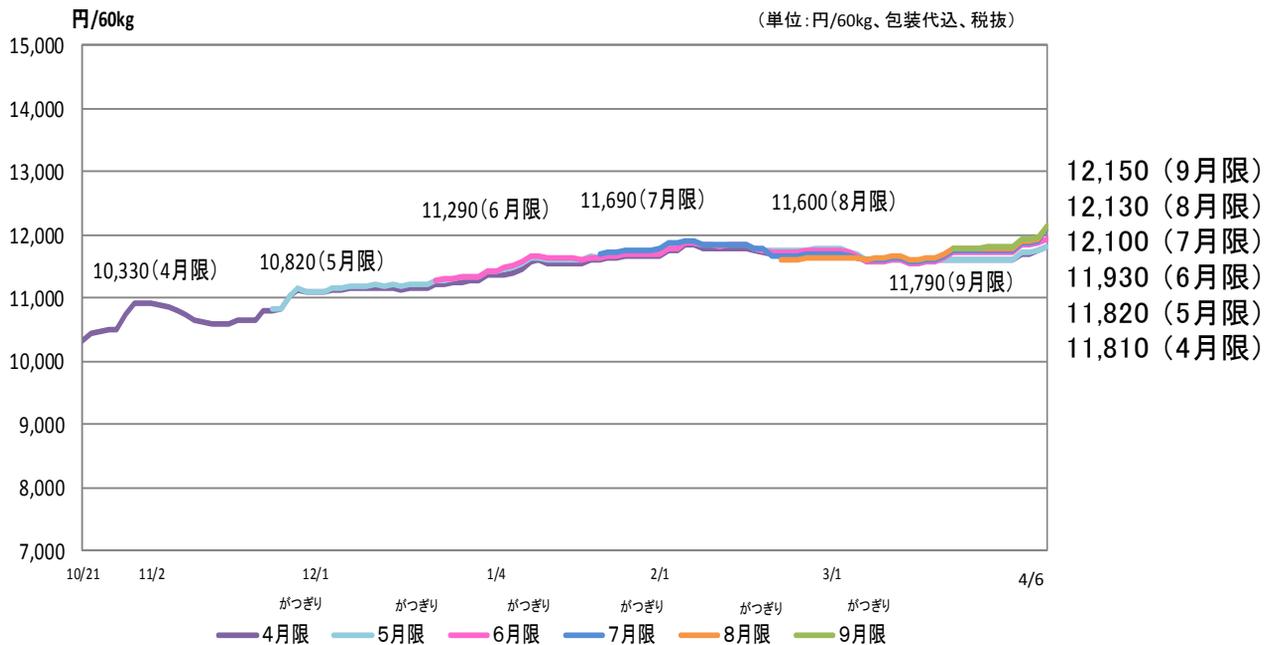
26年産は、27年産の比較対象として、同時期（1年前時点）の価格を掲載。

## 2 米の先物取引価格の推移

- 米の先物取引価格(4月6日)は、先月(3月7日)に比べ終値で、東京コメが+190円/60kg(4月限)~+510円/60kg(8月限)、大阪コメが+240円/60kg(4月限)~+360円/60kg(8月限)。

税抜価格

### ①東京コメ

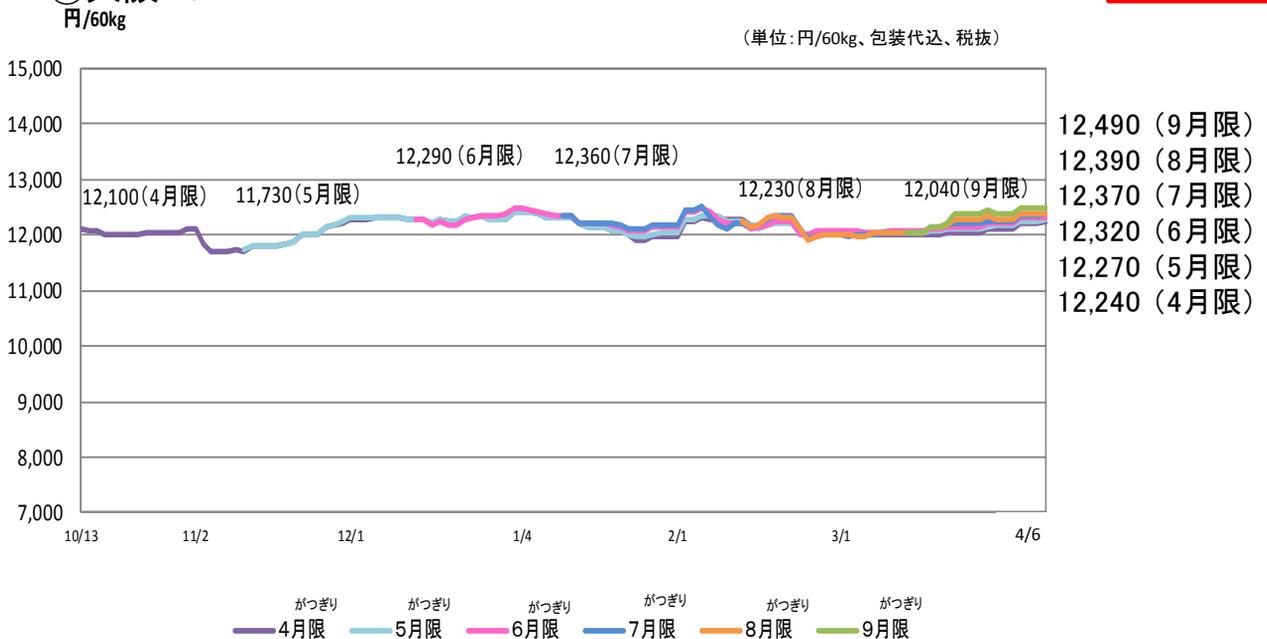


出典: 大阪堂島商品取引所

注: 取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

税抜価格

### ②大阪コメ



出典: 大阪堂島商品取引所

注: 取引開始から本レポート公表日の2日前の後場第3節までの価格の推移である。

## IV 主食用以外（輸出を含む）

### 1 27年産米の作付状況

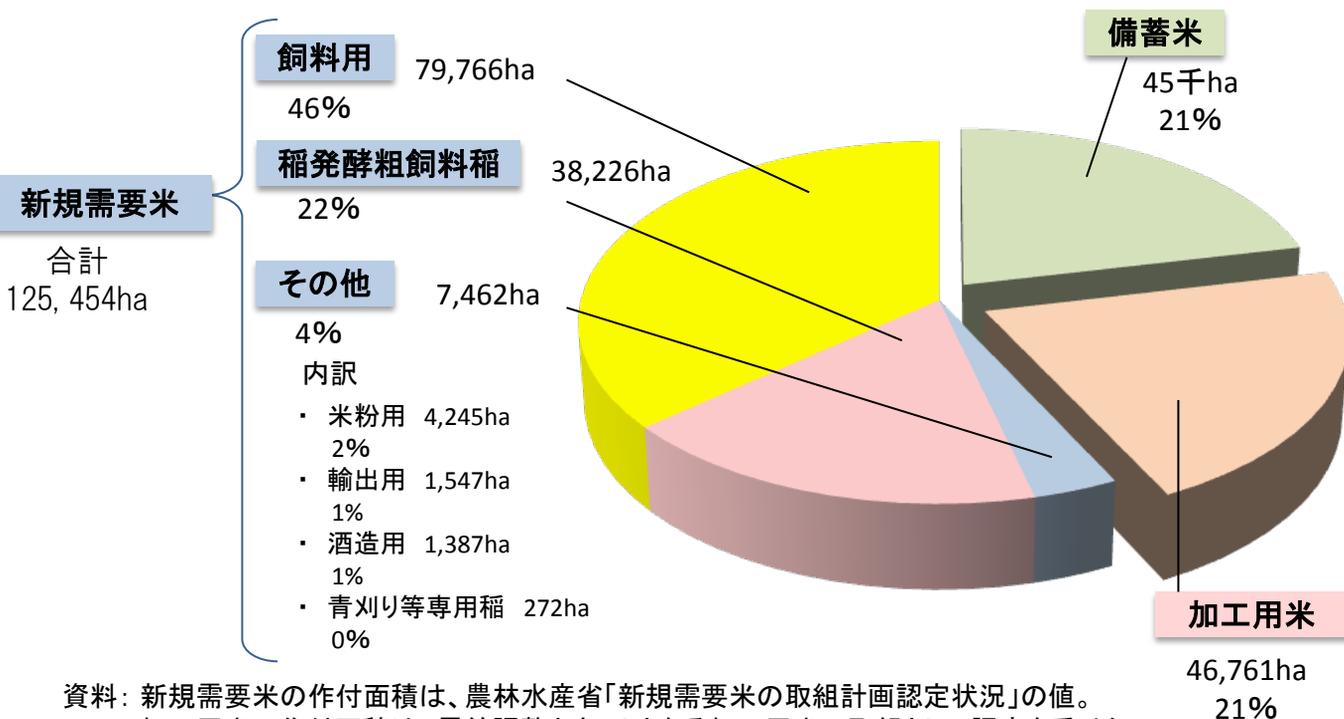
- 平成27年産米の作付面積は、主食用が141万ha、主食用以外が約22万ha。
- 主食用米以外の取組は、新規需要米12.5万ha、加工用米4.7万ha、備蓄米4.5万ha。

#### (1) 27年産米の用途別作付面積及び生産量

	計	主食用米	新規需要米	加工用米	備蓄米
作付面積 (万ha)	162.7	141	12.5	4.7	4.5
生産量 (万トン)		744	46	26	25

※WCS、青刈り等専用稲は生産量に計上していない

#### (2) 主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）



資料：新規需要米の作付面積は、農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」の値。  
加工用米の作付面積は、需給調整カウントとなる加工用米の取組として認定を受けた平成27年10月15日現在の値。

備蓄米作付面積は、都道府県農業再生協議会からの27年度報告値。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成27年9月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

#### (3) 新規需要米の用途別認定状況

	新規需要米(27年産)							
	合計	飼料用	米粉用	輸出用	酒造用	稲発酵粗飼料稲	青刈り等専用稲	その他
作付面積 (ha)	125,454	79,766	4,245	1,547	1,387	38,226	272	11
計画生産量 (ト)	459,596	421,077	22,925	8,482	7,096			15

資料：農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」。

注1：需給調整カウントとなる新規需要米の取組として認定を受けた平成27年10月15日現在の値。

注2：「酒造用」は「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。

## 2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の年間使用量は近年95万トン程度（推計）で推移。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別の使用量は、日本酒用が最も多く、次いであられ、せんべいの米菓用、和菓子等の原料となる米穀粉用となっている。

### 平成26米穀年度（平成25年11月～26年10月）における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

#### 〈うるち米〉

（単位：万トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 （米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	11 (8)	9		4			24 (8)
米菓用	1	1		5	3	2	12
加工米飯用 （無菌包装米飯除く）	5	5					10
味噌用		1		3	6		10
焼酎用 （泡盛含む）		1		6	3		9
米穀粉用		1	3	1	2	1	8
その他用	1			2	1		4
合計	18	18	3	21	14	3	77

#### 〈もち米〉

（単位：万トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 （米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	3	2				2	7
米菓用	2	1			1	2	6
米穀粉用	1					1	3
加工米飯用 （無菌包装米飯除く）	1						1
その他用						2	2
合計	7	3		1	2	7	19

注1：日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

注2：加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約7万トンを含んでいない。

注3：焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

注4：その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

注5：特定米穀とは、水稻收穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれるもの）の総称。

注6：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

#### 【推計根拠】

1 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）

焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）、米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用

その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等

2 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。

主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「農産物検査結果」（農林水産省）

加工用米・・・「需要に応じた米生産の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告

新規需要米（米粉用米）・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量

MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）

輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）

特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

### 3 飼料用米の需要量

- 畜産側の平成28年産に係る飼料用米の需要量は、
  - ① 全農グループ飼料会社：年間約56万トン（米使用可能数量約82万トンのうちMA米・備蓄米含まない数量）
  - ② (協)日本飼料工業会組合員工場：年間61万トン（MA米・備蓄米を含まない数量）
  - ③ 畜産農家の新規需要量：116件、約3万トン（平成28年3月31日現在の報告分。追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は別表のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量(平成27年12月現在)

地区	年間使用可能数量(千トン)	備考
北海道	88	ホクレンくみあい飼料
東北	217	JA全農北日本くみあい飼料
関東	146	JA東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	30	JA東日本くみあい飼料
東海	46	〃
近畿・中国	46	JA西日本くみあい飼料
四国	32	〃
北九州	49	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	162	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
<b>合計</b>	<b>817</b>	

※使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。

※実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。

※問い合わせ先：JA全農 営農販売企画部飼料用米対策課 TEL:03-6271-8279

② 日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量(平成27年11月調査)

地区	需要量	(参考)中長期需要量注2
	(千トン・単年度)	(千トン・単年度)
北海道	36	147
東北	155	305
関東	109	405
中部	49	207
関西	82	277
九州	177	623
<b>合計</b>	<b>608</b>	<b>1,964</b>

注1) 輸入トモロコシ価格以下であることが前提の需要量

注2) 新たな設備投資等を含め、中長期的にみた日本飼料工業会組合員飼料メーカーの需要量。(平成26年3月調査)

注3) 上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。

注4) 四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※(協)日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー(工場)との仲介を実施。

※問い合わせ先：「飼料用米ダイヤル」TEL:03-3583-8031 E-mail:Esamai@jafma.or.jp

③ 畜産農家の28年産飼料用米の新規需要量(平成28年3月31日現在)

都道府県	新規需要量		確保済み	
	件数	数量(トン)	件数	数量(トン)
北海道	3	1,002		
宮城県	1	2,400		
茨城県	7	272	1	60
群馬県	8	999	1	3
埼玉県	1	120		
千葉県	4	860		
山梨県	14	431	2	32
長野県	9	278		
静岡県	6	905		
愛知県	10	1,759	8	1,315
京都府	1	60		
大阪府	1	5		
兵庫県	10	1,851		
奈良県	5	1,610		
和歌山県	1	50		
島根県	1	400	1	400
広島県	2	9		
徳島県	2	2,005	1	0
香川県	4	100		
福岡県	2	1,390		
佐賀県	5	3,010		
長崎県	12	2,040		
大分県	4	2,130		
宮崎県	2	1,964		
鹿児島県	1	1,800		
<b>合計</b>	<b>116</b>	<b>27,450</b>	<b>14</b>	<b>1,810</b>

\* 供給先が確保されていない新たな需要及びマッチング状況について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載(現在とりまとめ中の都道府県もあり)

\* 追加の希望があれば随時更新

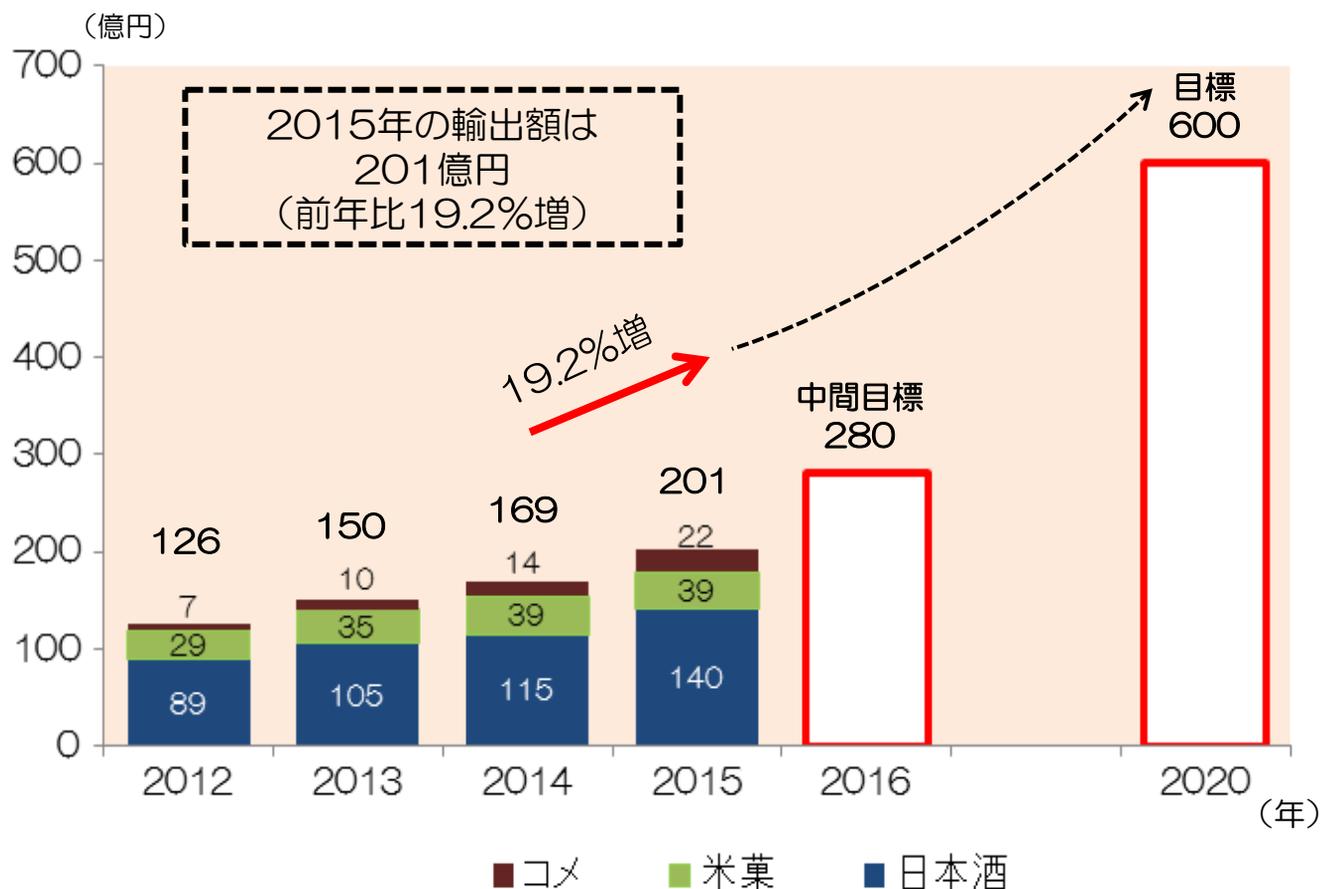
\* 確保済みの件数については、一部確保済みの場合も含む

※問い合わせ先：生産局畜産部飼料課 TEL:03-3502-5993

## 4 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を2020年（平成32年）までに600億円とすることとし、オールジャパンでの輸出拡大を推進。
- 2015年の輸出額は、201億円（前年比19.2%増）。

### コメ・コメ加工品の輸出状況



### コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

	日本酒		米菓		コメ	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
2012年	14,131	8,946	3,123	2,902	2,202	726
2013年	16,202	10,524	3,606	3,487	3,121	1,030
2014年	16,314	11,507	4,012	3,944	4,516	1,428
2015年	18,180	14,011	3,679	3,869	7,640	2,234

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）  
注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

## コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

### 2020年に向けた輸出額目標

「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を、平成32年までに600億円とすることとしている。

### 輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

#### 【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

##### ★重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール



#### 【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

##### ★重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国



#### 【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

##### ★重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港



### 輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

〈日本産米輸出の統一ロゴマーク〉



THIS IS  
JAPAN QUALITY  
日本のおいしい米。



（注）QRコードから、日本産米のPR映像が流れるHPへリンク

## V 支援事業等

### (1) 水田活用の直接支払交付金

- 水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力を向上。

### 水田活用の直接支払交付金(1)

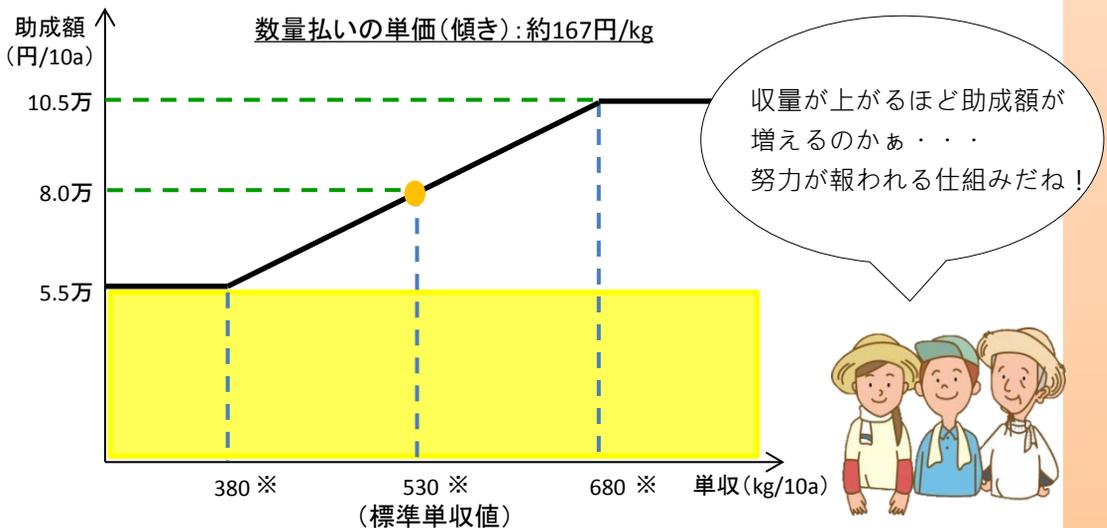
【平成28年度予算概算決定額:3,078(2,770)億円(所要額)】

#### (1) 支援内容

##### ① 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55,000円~105,000円/10a

#### <飼料用米、米粉用米の交付単価のイメージ>



- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量の確認を受けていることを条件とします。
- ※は全国平均の平年単収(標準単収値)に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収(配分単収)を適用します。

## 水田活用の直接支払交付金(2)

### ② 二毛作助成

- 水田における主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を支援します。

15,000円/10a

作付パターン(例)	交付金額(10a当たり)
主食用米 + 麦	(米の直接支払) + <u>1.5万円</u>
麦 + 大豆	3.5万円 + <u>1.5万円</u>
飼料用米 + 麦	5.5~10.5万円 + <u>1.5万円</u>
米粉用米 + 飼料用米	5.5~10.5万円 + <u>1.5万円</u>



### ③ 耕畜連携助成

- 耕畜連携の取組(飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環)を支援します。

13,000円/10a

### ④ 産地交付金

- 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援します。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容(交付対象作物・取組・単価等)を設定できます。
- また、地域の取組に応じた追加配分(下表参照)を行います。

対象作物	取組内容	追加配分単価
飼料用米 米粉用米	多収品種への取組	12,000円/10a
加工用米	複数年契約(3年間)の取組	12,000円/10a
備蓄米	平成28年産政府備蓄米の買入入札における落札 ※ 平成23年度に県別優先枠として配分した6万トンについては対象外。	7,500円/10a
そば なたね	作付の取組	20,000円/10a(基幹作) 15,000円/10a(二毛作)

なお、主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回ることとなる都道府県に対して追加配分(5,000円/10a)します。

## (2) 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

### 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

【平成28年度予算概算決定額：754(802)億円(所要額)】

米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）は、農家抛出を伴う経営に着目したセーフティネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。

#### (1) 交付対象者

支援の対象となる農業者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です（いずれも規模要件はありません）。

※ 集落営農の要件は、2要件（組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施）に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

#### (2) 対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょです。

- ※1 ビール麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象となりません。
- ※2 てん菜、でん粉原料用ばれいしょは、北海道で生産されるものが対象です。

#### 【10a当たり標準的収入額とは】

通常年に想定される収入額として、前年産以前5カ年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3カ年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

#### 【10a当たり当年産収入額とは】

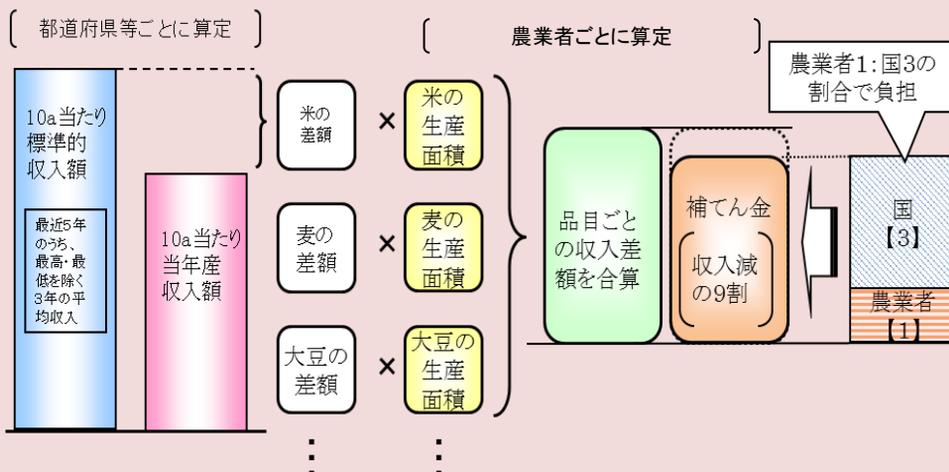
当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

#### (3) ナラシ対策の仕組み

- 農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計（当年産収入額）が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補てんします。

$$\text{補てん額} = (\text{標準的収入額} - \text{当年産収入額}) \times 0.9$$

- 補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
- このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の抛出が必要となります。
- 補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。



(参考) 平成26年産ナラシ対策の支払い実績 (平成27年7月31日現在)

全 国 都 道 府 県	加入件数 (件)	支払件数 (件)	補てん総額 (億円)	(参考1) ※ 米の10a当たり 補てん単価 (円/10a)	(参考2) ※ 米加入面積10haの 場合の補てん額の推計 (万円)	
全 国	69,741	58,375	516.42	22,157	221	
北 海 道	18,830	11,495	84.93	10,836	108	
東 北	青 森 県	2,060	1,984	21.16	22,652	226
	岩 手 県	2,003	1,945	23.36	20,533	205
	宮 城 県	2,689	2,407	24.37	20,376	203
	秋 田 県	6,177	6,044	60.49	23,535	235
	山 形 県	5,177	5,098	37.24	19,159	191
	福 島 県	2,041	1,999	18.73	22,179	221
関 東	茨 城 県	1,509	1,402	11.24	21,708	217
	栃 木 県	2,956	2,882	27.10	22,355	223
	群 馬 県	478	465	5.45	19,126	191
	埼 玉 県	377	335	3.18	19,852	198
	千 葉 県	175	164	2.04	21,645	216
	東 京 都	—	—	—	17,297	172
	神 奈 川 県	67	67	0.13	20,910	209
	山 梨 県	47	42	0.21	19,188	191
	長 野 県	605	568	10.89	25,819	258
	静 岡 県	151	149	2.40	19,932	199
北 陸	新 潟 県	9,028	8,662	54.23	14,538	145
	富 山 県	1,280	1,126	25.74	23,420	234
	石 川 県	1,145	1,068	14.35	22,075	220
	福 井 県	882	762	10.53	21,854	218
東 海	岐 阜 県	468	395	6.75	20,271	202
	愛 知 県	360	158	1.61	18,436	184
	三 重 県	585	409	4.19	20,921	209
近 畿	滋 賀 県	1,357	1,149	13.05	21,685	216
	京 都 府	178	164	1.09	20,279	202
	大 阪 府	6	5	0.01	20,836	208
	兵 庫 県	682	676	1.89	19,599	195
	奈 良 県	11	10	0.02	21,447	214
	和 歌 山 県	4	4	0.00	20,694	206
中 国 ・ 四 国	鳥 取 県	156	134	1.92	20,744	207
	島 根 県	441	436	5.26	21,315	213
	岡 山 県	304	289	2.87	20,591	205
	広 島 県	311	303	4.46	21,021	210
	山 口 県	657	529	3.87	20,097	200
	徳 島 県	32	30	0.22	19,249	192
	香 川 県	319	278	3.75	20,176	201
	愛 媛 県	290	263	1.46	19,818	198
	高 知 県	70	65	0.38	19,686	196
九 州	福 岡 県	1,069	488	2.51	15,853	158
	佐 賀 県	1,092	872	11.98	21,176	211
	長 崎 県	173	106	0.57	17,114	171
	熊 本 県	861	718	3.26	20,128	201
	大 分 県	919	670	2.40	19,842	198
	宮 崎 県	1,290	1,154	2.59	21,657	216
鹿 児 島 県	411	388	2.50	20,390	203	
沖 縄 県	18	18	0.05	11,807	118	

(注1) 加入件数は、平成26年7月31日時点の積立金納付者の件数である。

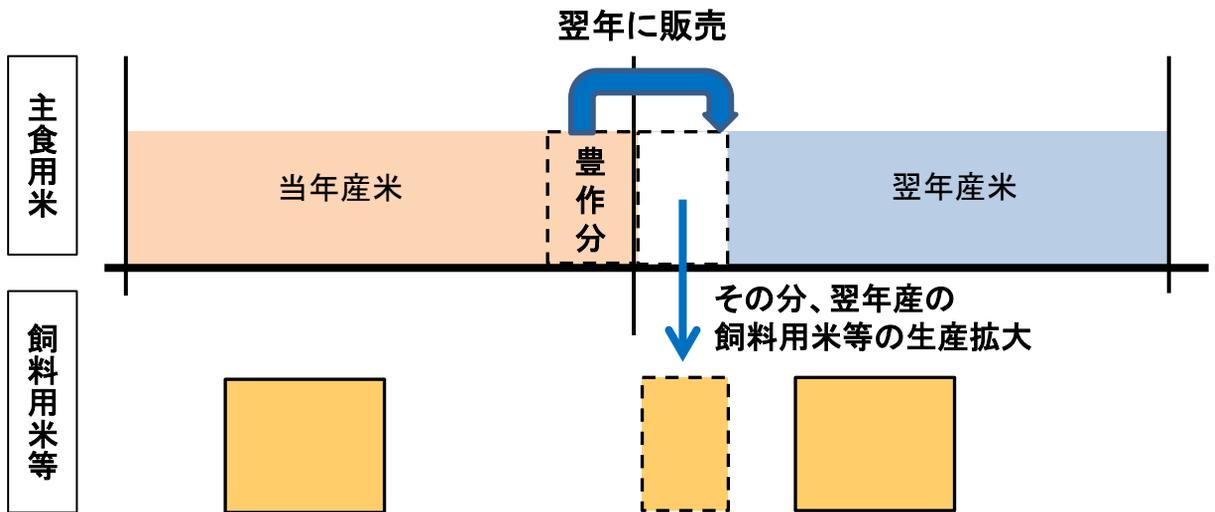
(注2) ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

※ 米の10a当たり補てん単価及び米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、20%コースの場合。米のみで試算したものであり、実際の支払では、麦・大豆等との合算相殺がある。また、(参考2)の米加入面積10haの場合の補てん額の推計は、表記上、1万円未満は切り捨てている。

### (3) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

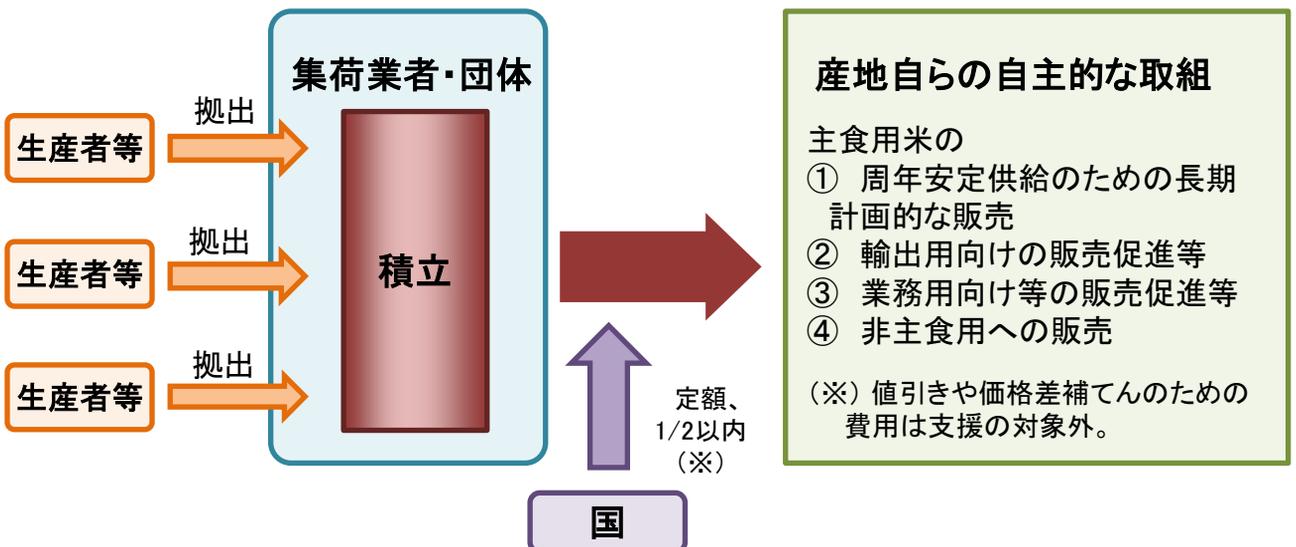
#### ① 主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：平成28概算決定 50億円（対前年同額））
- 平成30年産に向けては、必要がある場合に、この支援措置を活用して、豊作分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。  
（水田活用の直接支払交付金：28概算決定 3,078億円（対前年+307億円））



#### ② 米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム

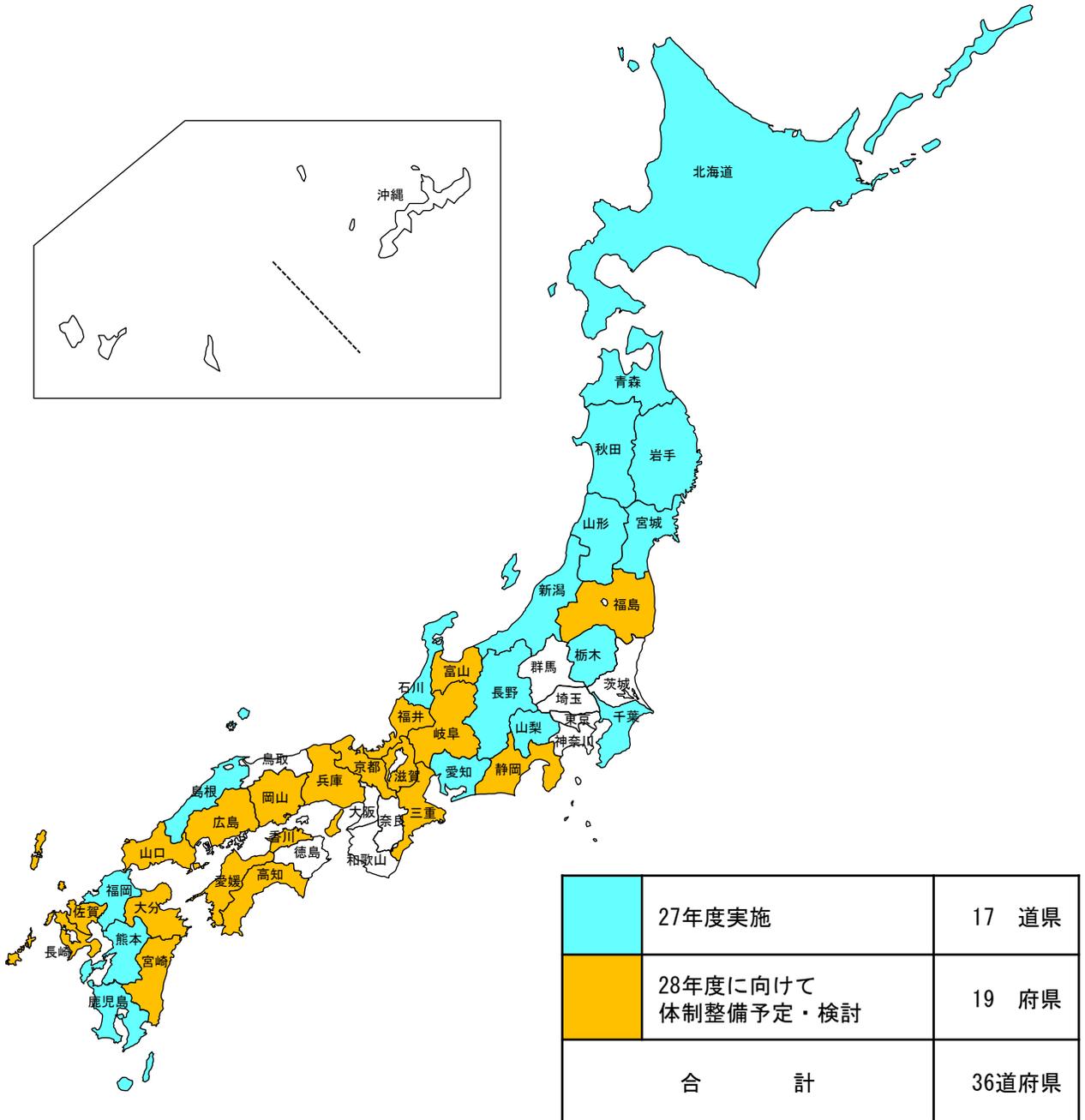
- 「米穀周年供給・需要拡大支援事業」は、産地の判断により、あらかじめ生産者等が資金を積立てる体制を構築して、以下の4つの取組を実施する場合に、国が一定の支援。



③ 米穀周年供給・需要拡大支援事業活用意向（平成28年3月末時点）

米穀周年供給・需要拡大支援事業の活用状況は、

- 平成27年度では、17道県、18事業者が活用。
- 平成28年度では、新たに19府県で検討が進められ、36道府県が活用見込み。



注) 28年度に向けて体制整備予定・検討については、  
経済連・県本部等の事務担当者からのヒアリング  
結果である。

# VI 消費動向

【平成28年3月30日訂正】

・平成28年3月25日に米穀機構が「米の消費動向調査結果」(平成27年度の5月から1月分)を修正したことに伴う訂正を行った。

## (1) 米の消費動向 (米穀機構による調査)

○ 本調査は、調査実施機関 ((株)マクロミル) のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている (インターネット調査)。

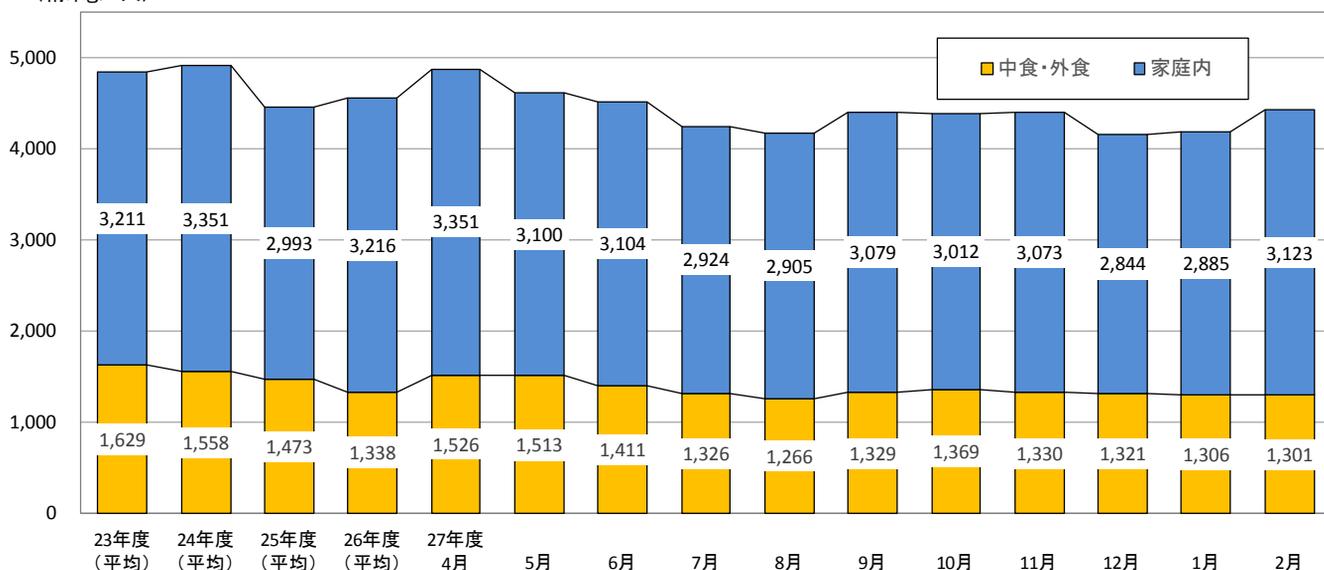
- 米穀機構が公表している「米の消費動向」(平成28年2月)によると、1人1か月当たりの精米消費量は、前年同月との比較で▲2.5%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月との比較で▲4.3%、中・外食は同+2.2%。

### ① 1人1か月当たり精米消費量の推移

	精米消費量						内訳(比率)					前年同月比(比率)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		
		中食	外食	中食	外食		中食	外食	中食	外食						
23年度	-	4,841	3,211	1,629	928	701	100.0	66.3	33.7	19.2	14.5	-	-	-	-	-
24年度	-	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	-	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	-	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	4月	4,877	3,351	1,526	908	618	100.0	68.7	31.3	18.6	12.7	▲2.2	▲5.0	4.7	5.0	4.4
	5月	4,614	3,100	1,513	...	...	100.0	67.2	32.8	...	...	▲4.6	▲8.1	3.6	...	...
	6月	4,515	3,104	1,411	...	...	100.0	68.7	31.3	...	...	▲2.8	▲4.0	0.0	...	...
	7月	4,250	2,924	1,326	...	...	100.0	68.8	31.2	...	...	▲5.6	▲7.6	▲0.8	...	...
	8月	4,171	2,905	1,266	...	...	100.0	69.6	30.4	...	...	▲4.9	▲4.8	▲5.1	...	...
	9月	4,408	3,079	1,329	...	...	100.0	69.9	30.1	...	...	▲1.9	▲3.3	1.3	...	...
	10月	4,380	3,012	1,369	...	...	100.0	68.8	31.3	...	...	▲5.3	▲8.5	2.6	...	...
	11月	4,403	3,073	1,330	...	...	100.0	69.8	30.2	...	...	▲4.9	▲6.4	▲1.2	...	...
	12月	4,165	2,844	1,321	...	...	100.0	68.3	31.7	...	...	▲3.1	▲5.7	2.8	...	...
	1月	4,191	2,885	1,306	...	...	100.0	68.8	31.2	...	...	▲4.3	▲7.8	4.3	...	...
2月	4,424	3,123	1,301	748	553	100.0	70.6	29.4	16.9	12.5	▲2.5	▲4.3	2.2	6.7	▲3.3	

(精米g/人)

1人1か月当たり精米消費量の推移(グラフ)



出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 28年2月分の有効調査世帯数は2,398世帯。

2 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

3 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

4 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

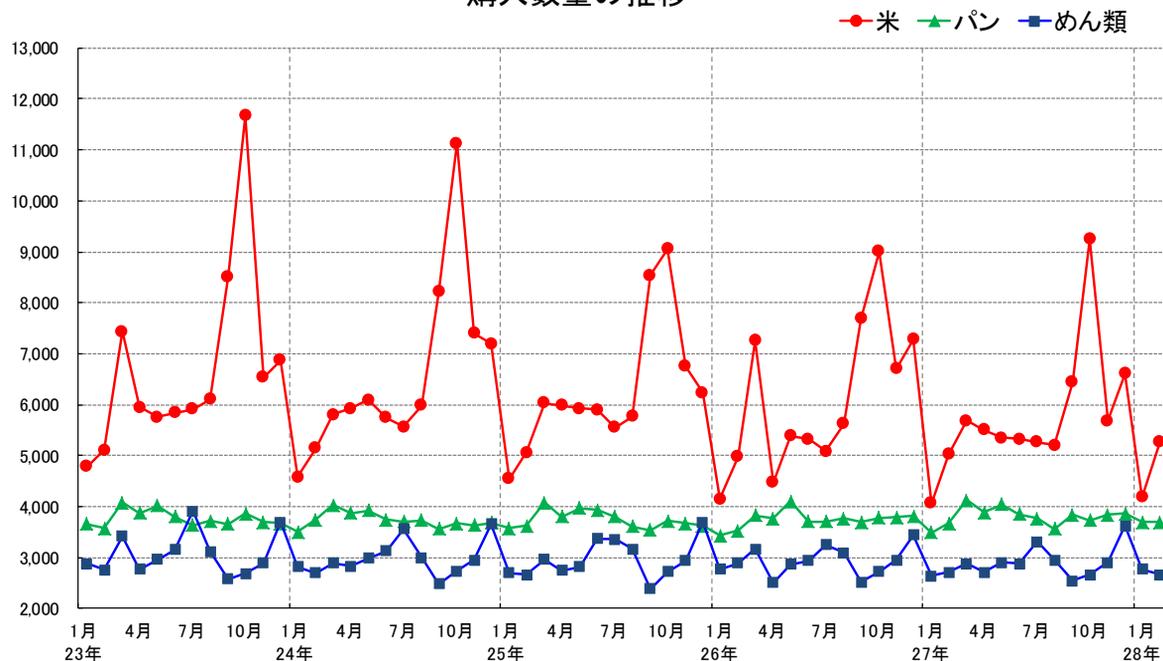
5 平成27年度の5月から1月までの「中・外食」の内訳は、修正後のデータが公表され次第掲載する。

## (2) 購入数量の推移(家計調査)

- 総務省が公表している家計調査によると、平成28年2月の米の購入数量は、前年同月との比較で+5%の5.3kg、パンについては+1%の3.7kg、めん類については▲2%の2.7kg。

単位:グラム

### 購入数量の推移



(表)購入数量の推移

(単位:グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年 (同月比)	購入数量	対前年 (同月比)	購入数量	対前年 (同月比)
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
平成27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
平成27年1月	4,060	97.8%	3,493	101.9%	2,640	95.4%
2月	5,030	101.0%	3,668	103.9%	2,710	93.8%
3月	5,690	78.4%	4,121	107.7%	2,879	90.9%
4月	5,500	123.0%	3,882	102.9%	2,714	108.4%
5月	5,350	99.4%	4,038	98.3%	2,905	101.4%
6月	5,320	99.8%	3,848	103.8%	2,873	97.9%
7月	5,260	103.5%	3,763	101.5%	3,313	101.9%
8月	5,200	92.4%	3,564	94.5%	2,950	95.4%
9月	6,440	83.7%	3,834	103.9%	2,545	101.2%
10月	9,250	102.7%	3,735	98.7%	2,662	97.8%
11月	5,690	84.9%	3,839	101.3%	2,902	98.3%
12月	6,610	90.8%	3,859	101.0%	3,621	105.2%
平成28年1月	4,180	103.0%	3,693	105.7%	2,771	105.0%
2月	5,280	105.0%	3,694	100.7%	2,661	98.2%

資料：総務省「家計調査」

注：1 二人以上の世帯の数値である。

2 平成20年から平成27年については、年間の購入数量を示す。

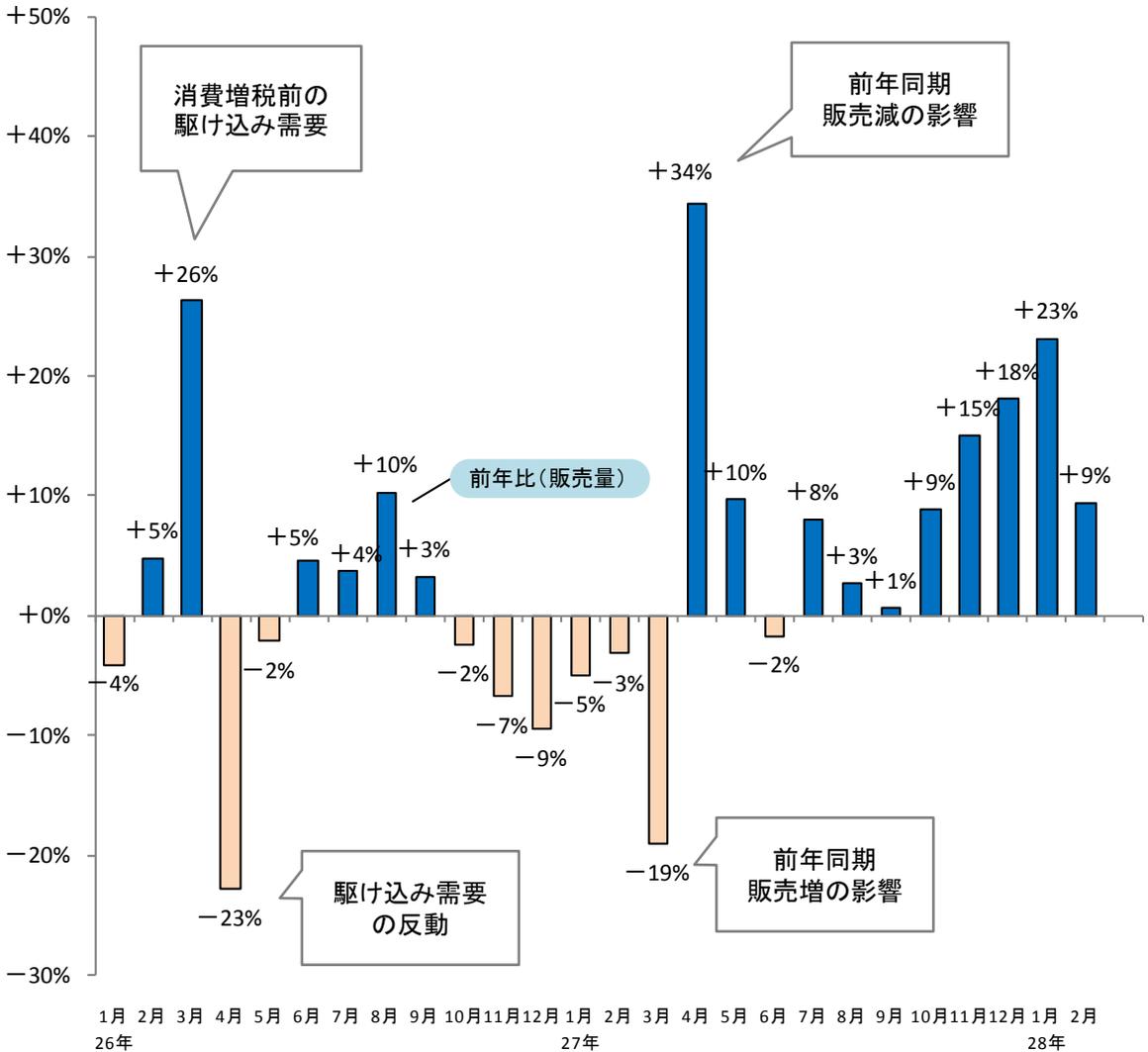
3 米は精米ベースである。

### (3) 小売店における精米販売

- 平成28年2月の小売店における精米販売量（POSデータ）は、前年同月に比べ+9%。

(参考) 小売店における精米販売の状況(POSデータ)

(前年同月比)



資料：(株) KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注：1 (株) KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約990店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

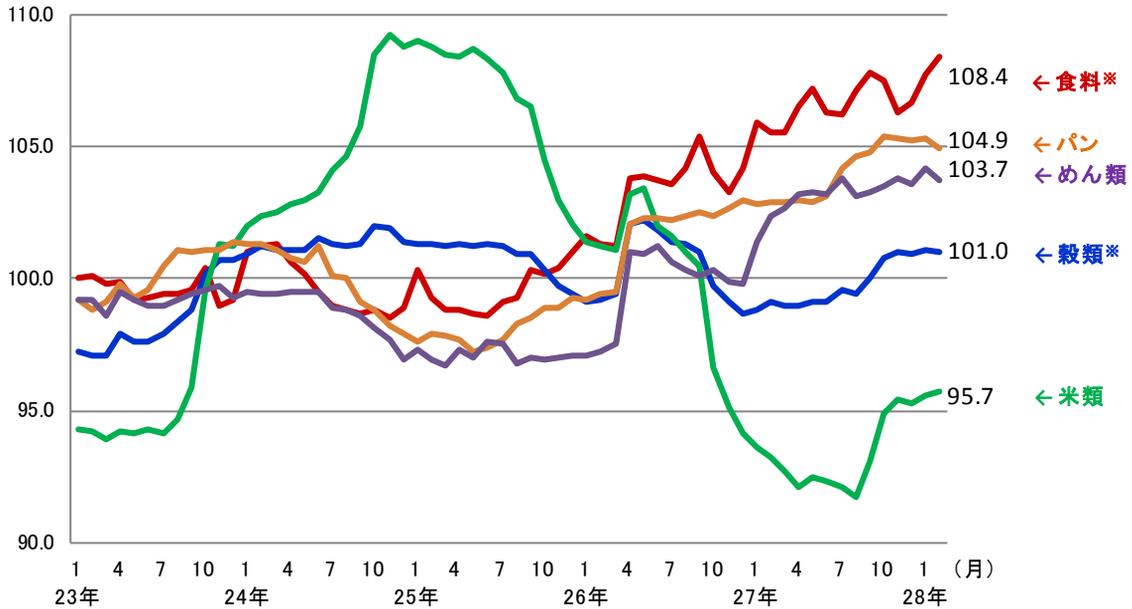
3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 POSデータで把握できる全ての精米の販売数量を基に前年比を算定している。

## (4) 消費者物価指数の推移

- ・ 総務省が公表している消費者物価指数によると、平成28年2月の米類の指数は、先月より+0.1ポイントの95.7ポイント。
- ・ なお、前年同月との比較では+2.5ポイント。

### 消費者物価指数の推移



- 注：1 図中の実線は、平成22年の平均価格を100とした数値となる。  
 2 図中の数値は、平成28年2月の消費者物価指数となる。  
 3 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

### (表) 消費者物価指数の推移 (対前年同月比)

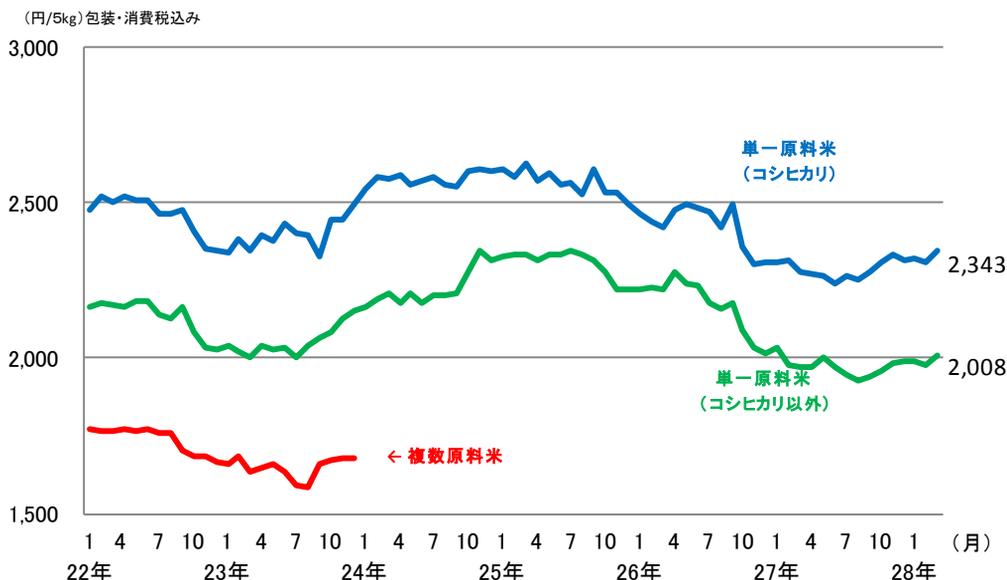
	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比	
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%	91.2	▲0.9%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%	90.1	▲1.2%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%	89.7	▲0.4%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%	100.2	11.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%	101.9	1.7%
平成22年	100.0	▲0.3%	100.0	▲3.2%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.8%	100.0	▲1.9%
平成23年	99.6	▲0.4%	98.4	▲1.6%	96.0	▲4.0%	95.9	▲4.1%	100.2	0.2%	99.2	▲0.8%
平成24年	99.7	0.1%	101.3	2.9%	104.8	9.2%	105.1	9.6%	100.0	▲0.2%	98.8	▲0.4%
平成25年	99.6	▲0.1%	100.8	▲0.5%	106.9	2.0%	107.3	2.1%	98.1	▲1.9%	97.1	▲1.7%
平成26年	103.4	3.8%	100.4	▲0.4%	100.1	▲6.4%	100.1	▲6.7%	101.7	3.7%	99.7	2.7%
平成27年1月	105.9	4.2%	98.8	▲0.3%	93.6	▲7.7%	93.3	▲8.3%	102.8	3.6%	101.4	4.4%
2月	105.5	4.1%	99.1	▲0.1%	93.2	▲7.9%	92.8	▲8.4%	102.9	3.5%	102.4	5.3%
3月	105.5	4.2%	99.0	▲0.4%	92.7	▲8.3%	92.3	▲8.9%	102.9	3.4%	102.7	5.3%
4月	106.5	2.6%	99.0	▲3.0%	92.1	▲10.8%	91.6	▲11.3%	103.0	0.9%	103.2	2.2%
5月	107.2	3.2%	99.1	▲3.0%	92.5	▲10.5%	92.1	▲11.0%	102.9	0.6%	103.3	2.4%
6月	106.3	2.5%	99.1	▲2.7%	92.3	▲9.5%	91.8	▲10.0%	103.1	0.8%	103.2	2.0%
7月	106.2	2.5%	99.6	▲1.8%	92.1	▲9.4%	91.6	▲9.9%	104.2	2.0%	103.8	3.2%
8月	107.1	2.8%	99.4	▲1.9%	91.7	▲9.2%	91.2	▲9.8%	104.6	2.1%	103.1	2.8%
9月	107.8	2.3%	100.0	▲1.0%	93.1	▲7.4%	92.6	▲7.9%	104.8	2.2%	103.3	3.2%
10月	107.5	3.4%	100.8	1.1%	94.9	▲1.8%	94.5	▲1.9%	105.4	2.9%	103.5	3.2%
11月	106.3	2.9%	101.0	1.9%	95.4	0.3%	95.0	0.2%	105.3	2.5%	103.8	3.9%
12月	106.7	2.4%	100.9	2.2%	95.3	1.3%	95.1	1.4%	105.2	2.1%	103.6	3.8%
平成28年1月	107.7	1.7%	101.1	2.3%	95.6	2.1%	95.4	2.3%	105.3	2.4%	104.2	2.8%
2月	108.4	2.4%	101.0	2.2%	95.7	2.2%	95.4	2.3%	104.9	2.0%	103.7	2.3%

- 資料： 総務省「消費者物価指数」（平成22年基準）  
 注：1 表中の数値は、平成22年の平均価格を100として指数化したものである。  
 2 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。  
 3 穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。  
 4 平成17年から平成26年のデータは年平均、平成27年1月以降は月次データを用いている。

## (5) 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、平成28年3月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、単一原料米（コシヒカリ）で、前月より+1.5%、前年同月より+2.8%の2,343円。
- 単一原料米（コシヒカリ以外）は、前月より+1.4%、前年同月より+2.0%の2,008円。

(図) 小売物価統計の推移



(表) 小売物価統計の推移

(単位：円/5kg 包装・消費税込み)

	うるち米				
	単一原料米 (コシヒカリ)	対前年 (同月)比	単一原料米 (コシヒカリ以外)	対前年 (同月)比	複数原料米
平成17年	2,804	-	2,375	-	2,040
平成18年	2,744	▲2.1%	2,341	▲1.4%	1,996
平成19年	2,670	▲2.7%	2,288	▲2.3%	1,950
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	-
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	-
平成26年	2,428	▲5.4%	2,173	▲5.8%	-
平成27年1月	2,311	▲6.3%	2,035	▲8.5%	-
2月	2,314	▲5.2%	1,981	▲11.1%	-
3月	2,279	▲5.9%	1,969	▲11.3%	-
4月	2,271	▲8.2%	1,972	▲13.4%	-
5月	2,265	▲9.3%	2,002	▲10.7%	-
6月	2,239	▲9.8%	1,970	▲11.7%	-
7月	2,263	▲8.5%	1,946	▲10.6%	-
8月	2,253	▲6.9%	1,931	▲10.6%	-
9月	2,275	▲8.9%	1,942	▲10.8%	-
10月	2,307	▲2.1%	1,961	▲6.3%	-
11月	2,331	1.2%	1,983	▲2.6%	-
12月	2,312	0.2%	1,990	▲1.4%	-
平成28年1月	2,318	0.3%	1,990	▲2.2%	-
2月	2,309	▲0.2%	1,980	▲0.1%	-
3月	2,343	2.8%	2,008	2.0%	-

資料：総務省「小売物価統計」

注1：東京都区部の数値である。

2：特売を除いた価格である。

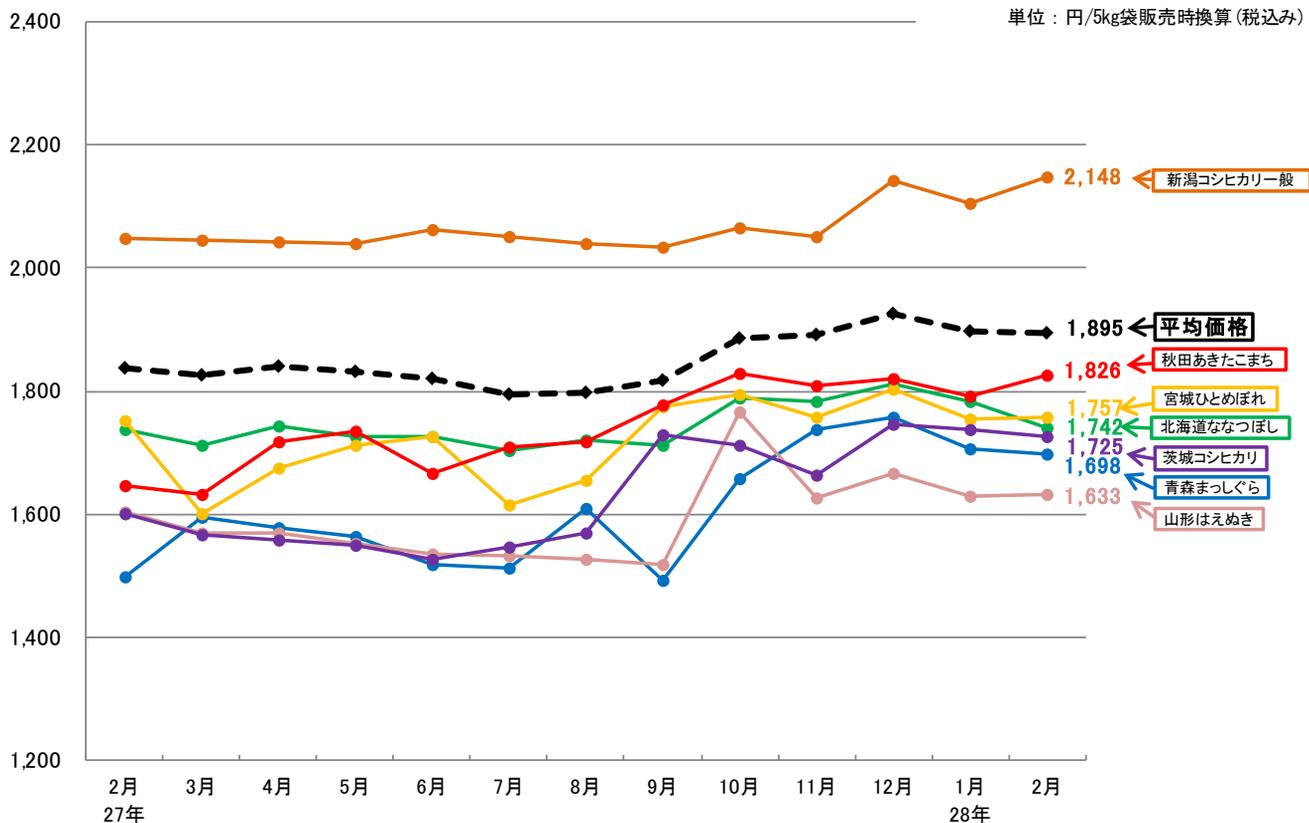
3：精米ベースである。

4：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

## (6) 小売価格の推移 (POSデータ)

平成28年1月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、前月より▲2円(▲0.1%)、前年同月より+57円(+3.1%)の1,895円。

(図)小売価格の推移



(表)小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算(消費税込み)

	品種銘柄							全POS取引 平均価格
	北海道 ななつぼし	青森 まっしぐら	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	茨城 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	
27年2月	1,738	1,498	1,753	1,646	1,605	1,601	2,047	1,838
3月	1,712	1,596	1,601	1,632	1,570	1,568	2,046	1,824
4月	1,743	1,578	1,674	1,718	1,571	1,557	2,043	1,839
5月	1,725	1,564	1,713	1,735	1,553	1,551	2,038	1,831
6月	1,725	1,517	1,726	1,665	1,535	1,528	2,061	1,819
7月	1,703	1,513	1,614	1,709	1,533	1,547	2,052	1,795
8月	1,722	1,608	1,655	1,716	1,526	1,570	2,038	1,798
9月	1,713	1,493	1,775	1,776	1,519	1,729	2,034	1,818
10月	1,789	1,658	1,794	1,829	1,765	1,713	2,064	1,887
11月	1,784	1,738	1,759	1,808	1,626	1,662	2,050	1,891
12月	1,811	1,758	1,803	1,820	1,667	1,747	2,142	1,926
28年1月	1,782	1,705	1,754	1,791	1,629	1,737	2,104	1,897
<b>2月</b>	<b>1,742</b>	<b>1,698</b>	<b>1,757</b>	<b>1,826</b>	<b>1,633</b>	<b>1,725</b>	<b>2,148</b>	<b>1,895</b>
対前月比	▲ 2.3%	▲ 0.5%	0.2%	2.0%	0.2%	▲ 0.7%	2.1%	▲ 0.1%
対前年同月比	0.2%	13.3%	0.3%	10.9%	1.8%	7.7%	4.9%	3.1%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注：1 (株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約990店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

2 POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

3 POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

4 平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

5 価格に含む消費税は8%である。

## Ⅶ MA米（一般・SBS）の動向

### （１） MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計	うち一般輸入	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	19	11	3	9	1	43	42	1
平成8年度	23	14	4	9	1	51	49	2
平成9年度	29	15	5	9	1	60	54	6
平成10年度	31	15	8	11	3	68	55	12
平成11年度	34	16	9	12	2	72	59	12
平成12年度	36	17	10	12	2	77	63	12
平成13年度	36	15	14	11	1	77	66	10
平成14年度	36	15	11	10	4	77	71	5
平成15年度	36	15	11	9	5	76	65	10
平成16年度	36	19	10	2	10	77	66	9
平成17年度	36	19	8	2	12	77	66	10
平成18年度	36	18	8	5	10	77	65	10
平成19年度	36	24	8	—	1	70	59	10
平成20年度	43	26	7	—	1	77	66	10
平成21年度	36	33	7	—	1	77	66	10
平成22年度	36	35	2	4	1	77	73	4
平成23年度	36	24	6	7	4	77	66	10
平成24年度	36	28	5	6	1	77	66	10
平成25年度	36	35	0	4	2	77	70	6
平成26年度	36	33	6	1	1	77	75	1
平成27年度	36	34	6	0	1	77	73	3

資料：農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は万実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

3 実トンと玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

## (2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位：トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち		
平成27年4～6月分	13,301	平成27年4～7月分	2,882		
4月分	522	平成27年8～11月分	2,968		
5月分	368	/			
6月分	979				
7～9月分	17,214				
7月分	488				
8月分	571				
9月分	943				
10～12月分	17,250				
10月分	498				
11月分	273				
12月分	703				
小計	53,110			小計	5,850
合計	58,960				

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

## (3) SBS輸入米の見積合わせ結果(平成27年度)

(単位：実トン)

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (平成27年9月16日)	一般米	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	砕精米	220	100	200	108	0	0	0	0	628
第2回 (平成27年10月21日)	一般米	36	434	36	0	0	0	108	0	614
	砕精米	300	100	100	144	200	0	0	0	844
第3回 (平成27年11月18日)	一般米	236	736	1,216	0	40	0	350	0	2,578
	砕精米	408	200	500	0	0	0	150	0	1,258
第4回 (平成27年12月9日)	一般米	846	670	858	72	0	0	471	0	2,917
	砕精米	608	100	660	500	200	0	0	0	2,068
第5回 (平成28年1月13日)	一般米	860	528	224	0	0	0	372	0	1,984
	砕精米	1,300	200	560	0	260	0	0	0	2,320
第6回 (平成28年1月29日)	一般米	0	430	220	0	36	0	585	0	1,271
	砕精米	800	120	400	162	0	0	0	0	1,482
第7回 (平成28年2月16日)	一般米	1,297	460	208	0	0	0	288	0	2,253
	砕精米	2,000	100	0	0	0	0	0	0	2,100
第8回 (平成28年3月2日)	一般米	976	200	0	0	0	0	70	0	1,246
	砕精米	5,304	340	0	108	0	0	0	0	5,752
合計	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	2,244	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	150	0	16,452

平成22年度計 (参考)	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620
平成23年度計 (参考)	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計 (参考)	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計 (参考)	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	1,326	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	100	0	4,316

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成22～27年度

# VIII その他

## (1) 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成28年3月分)

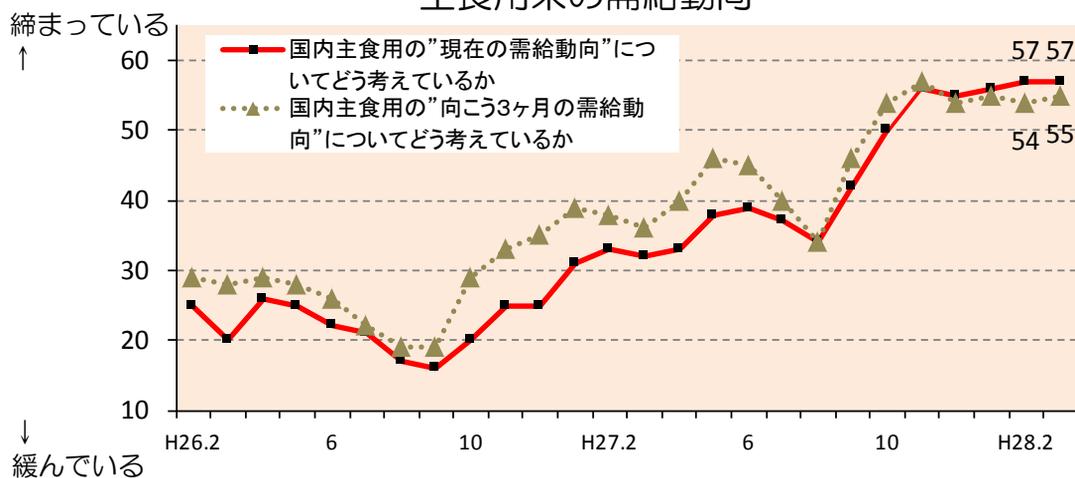
- 米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(平成28年3月分)によると、主食用米の需給動向は、前月に比べ現状判断は±0ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は+1ポイント。いずれも判断基準の50を超えており「締まっている、締まる」との見方が継続。
- 米価水準は、現状判断は▲1ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は±0ポイント。見通し判断は、判断基準の50を超えており「米価水準が高くなる」との見方が継続。

### 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

#### ① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I	前月からの増減	±0 (今月の数値 57)
(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)	前月からの増減	+1 (今月の数値 55)

#### 主食用米の需給動向

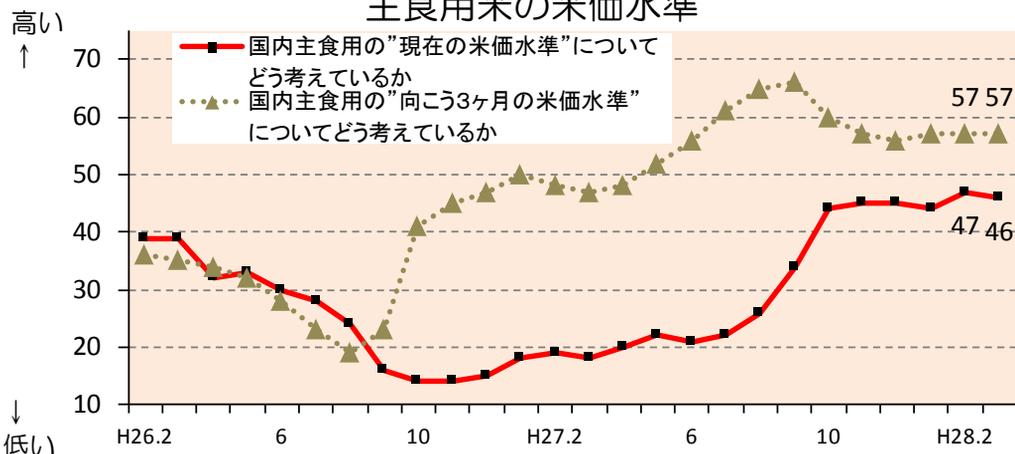


※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### ② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断D I	前月からの増減	-1 (今月の数値 46)
(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)	前月からの増減	±0 (今月の数値 57)

#### 主食用米の米価水準



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

以上の他、「自社の取引状況に関する判断(業態ごと)」など  
 詳細な情報は、米穀機構ホームページ(米ネット)を参照ください。  
 【<http://www.komenet.jp/>】  
 また、マンスリーレポート(資料編)にも掲載しております。

《アンケート方法等》

- 調査期間: 毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法: 電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者: 全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の145客体
- 有効回答数: 115客体

- 生産者.....10
- 集出荷業者／団体.....27
- 卸売業者(主に主食用米).....27
- 小売業者／中食・外食業者.....33
- その他.....18

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

《利用上の注意》

- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

《DIの算出例》

問: 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

## (2) 水稲うるち玄米の農産物検査結果

- 平成27年産水稲うるち玄米の平成28年2月29日現在の検査数量は、前年産の同月と比べ▲7%の439万トン。
- 1等米比率については、前年産より1ポイント高い83%。

### ① 検査数量の推移(累計)

単位:千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
23	11	167	1,488	3,490	3,928	4,082	4,186	4,302	4,413	4,753
24	13	223	1,732	3,750	4,156	4,313	4,411	4,532	4,657	5,041
25	23	265	1,869	3,806	4,248	4,433	4,537	4,661	4,793	5,206
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
参考:前年比	52%	86%	96%	99%	101%	101%	101%	101%	102%	101%
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385		
参考:前年比	93%	96%	86%	93%	93%	93%	93%	93%		

注: 1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

注: 1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

### ② 検査数量及び等級比率(年産別)

(単位:トン、%)

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27(注2)	4,385,378	3,618,318	636,476	74,891	55,694	82.5	14.5	1.7	1.3

資料: 農林水産省とりまとめ

注: 1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 27年産米については、平成28年2月29日現在(速報値)。

### (3) 平成27年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 都 道 府 県	作付面積 (子実用) ①	10 a 当たり 収 量 ②	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			収 穫 量 (子実用) ⑥=①×②	参 考	
			10 a 当たり 収 量 ③	10 a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④		主食用 作付面積 ⑦	収 穫 量 (主食用) ⑧=⑦×②
全 国	1,505,000	531	515	517	100	7,986,000	1,406,000	7,442,000
北 海 道	107,800	559	543	522	104	602,600	100,100	559,600
青 森	43,500	616	597	566	105	268,000	37,300	229,800
岩 手	51,400	560	545	518	105	287,800	48,100	269,400
宮 城	66,700	547	531	516	103	364,800	63,700	348,400
秋 田	88,700	589	572	553	103	522,400	71,200	419,400
山 形	65,300	614	594	578	103	400,900	57,700	354,300
福 島	65,600	557	531	526	101	365,400	61,500	342,600
茨 城	70,300	505	496	515	96	355,000	68,400	345,400
栃 木	58,300	531	518	528	98	309,600	54,100	287,300
群 馬	15,800	489	468	479	98	77,300	14,400	70,400
埼 玉	32,200	480	461	476	97	154,600	31,700	152,200
千 葉	57,000	539	529	525	101	307,200	55,200	297,500
東 京	156	405	392	402	98	632	156	632
神 奈 川	3,130	485	457	478	96	15,200	3,130	15,200
新 潟	117,500	527	509	523	97	619,200	102,400	539,600
富 山	38,600	559	542	524	103	215,800	34,200	191,200
石 川	26,100	522	509	504	101	136,200	23,600	123,200
福 井	25,600	518	495	500	99	132,600	23,900	123,800
山 梨	5,030	539	522	533	98	27,100	4,980	26,800
長 野	33,200	604	590	609	97	200,500	32,200	194,500
岐 阜	22,500	481	471	478	99	108,200	22,100	106,300
静 岡	16,300	503	493	513	96	82,000	16,100	81,000
愛 知	28,100	503	495	499	99	141,300	27,200	136,800
三 重	28,300	490	479	488	98	138,700	27,700	135,700
滋 賀	32,200	518	504	506	100	166,800	30,600	158,500
京 都	15,000	510	500	501	100	76,500	14,400	73,400
大 阪	5,440	495	477	479	100	26,900	5,440	26,900
兵 庫	37,300	501	488	491	99	186,900	35,700	178,900
奈 良	8,870	515	501	499	100	45,700	8,850	45,600
和 歌 山	6,900	499	488	484	101	34,400	6,900	34,400
鳥 取	12,900	512	501	504	99	66,000	12,400	63,500
島 根	17,900	503	492	500	98	90,000	17,500	88,000
岡 山	31,000	505	493	515	96	156,600	29,600	149,500
広 島	24,700	507	495	513	96	125,200	24,000	121,700
山 口	21,600	491	478	493	97	106,100	20,500	100,700
徳 島	11,900	457	453	469	97	54,400	11,700	53,500
早期栽培	4,580	450	447	459	97	20,600	...	...
普通栽培	7,340	461	456	475	96	33,800	...	...
香 川	13,600	470	465	493	94	63,900	13,500	63,500
愛 媛	14,600	488	482	493	98	71,200	14,600	71,200
高 知	12,000	444	440	456	96	53,300	11,900	52,800
早期栽培	6,750	462	459	478	96	31,200	...	...
普通栽培	5,290	420	415	426	97	22,200	...	...
福 岡	36,500	480	459	481	95	175,200	35,900	172,300
佐 賀	25,300	513	496	502	99	129,800	25,000	128,300
長 崎	12,500	479	460	462	100	59,900	12,500	59,900
熊 本	35,600	500	484	499	97	178,000	34,300	171,500
大 分	21,900	478	457	481	95	104,700	21,700	103,700
宮 崎	17,300	464	448	484	93	80,300	16,100	74,700
早期栽培	7,090	411	399	471	85	29,100	...	...
普通栽培	10,200	501	482	493	98	51,100	...	...
鹿 児 島	21,600	458	445	470	95	98,900	20,900	95,700
早期栽培	4,910	396	383	435	88	19,400	...	...
普通栽培	16,700	476	463	481	96	79,500	...	...
沖 縄	788	288	286	305	94	2,270	788	2,270
第一期稲	556	342	341	369	92	1,900	...	...
第二期稲	232	160	153	172	89	371	...	...

注：1 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。  
 2 主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等(備蓄米、加工用米、新規需要米等)の作付面積を除いた面積である。  
 3 全国の収穫量(子実用)及び収穫量(主食用)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。  
 4 (参考)の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a当たり収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域の農家等が使用しているふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅(北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
 5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

## (別冊)「資料編」の目次

I	在庫情報	
	25・26年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成26年7月末から27年6月末) (速報)	1
II	米の価格情報	
	業者間取引の状況	10
	① 日本コメ市場 (随時取引の結果)	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス (取引会の結果)	
	③ (株)加工用米取引センターの取引結果	
	④ (株)日本農産情報の取引結果	
	⑤ 米の現物市場の状況	
III	主食用以外 (輸出を含む)	
	(1) 加工用米及び新規需要米の取組状況等	13
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	③ 加工用米・新規需要米等の取組状況 (平成27年産、都道府県別)	
	(2) 飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	15
	(3) 政府備蓄米の運営	16
	備蓄米の買入入札の結果 (落札実績) (平成23~27年産)	
	(4) 商業用の米の輸出量及び金額の推移	17
	(5) 主な増加要因 (輸出業者等からのヒアリング結果による)	18
	(6) 米菓の輸出量及び金額の推移	19
	(7) 日本酒 (清酒) の輸出量及び金額の推移	20
IV	消費動向	
	(1) 米の消費動向 (米穀機構による調査)	21
	(2) 小売価格の推移 (POSデータ、主な銘柄)	24
V	その他	
	(1) 米取引関係者の判断 (米穀機構による調査、平成28年3月分)	25
	(2) 平成27年産水陸稲の収穫量	30
	(3) 水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移 (全国)	34
	(4) 水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量 (子実用) の年次別推移	34
	(5) 麦・大豆の需要情報	36
	① 28年産麦の産地別銘柄別入札結果	
	② 27年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
	(6) 野菜等の需給情報	42
	(7) 米の安定取引研究会報告書の概要	44

米に関するマンスリーレポート (本編・資料編) は、農林水産省のホームページからご覧いただけます。

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

# マンスリーレポートに関する問い合わせ先一覧

## 【農林水産省】

問い合わせ先	連絡先
政策統括官付農産企画課 ・企画班（加藤） ・米穀需給班（佐々木・石田・萱場）	03-6738-8973

## 【地方農政局等】

問い合わせ先	連絡先
北海道農政事務所 生産経営産業部 生産支援課	011-330-8807
東北農政局 生産部 生産振興課	022-221-6169
関東農政局 生産部 生産振興課	048-740-0100
北陸農政局 生産部 生産振興課	076-232-4302
東海農政局 生産部 生産振興課	052-223-4623
近畿農政局 生産部 生産振興課	075-414-9020
中国四国農政局 生産部 生産振興課	086-224-9411
九州農政局 生産部 生産振興課	096-300-6224
内閣府沖縄総合事務局 農林水産部 生産振興課	098-866-1653

## 【米に関する情報の公表をメールマガジンでお知らせしています！】

- 農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。
- 当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。
- メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。

### 【メールマガジン配信登録】

農林水産省ホーム>報道広報>メールマガジン

(URL) <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>